

平成 24 年度

新居浜市の教育

平成 24 年度の計 画

平成 23 年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

望ましき市民像

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「— あかがねのまち、笑顔輝く — 産業・環境共生都市」と定め、次の4つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

- 1 市民が安全・安心を実感できるまちづくり
- 2 市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり
- 3 市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり
- 4 子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

目 次

平成24年度教育基本方針	1
教育委員会の沿革	2
教育委員、歴代教育委員	6
教育委員会事務局組織図、職員数	8
事務局事務分掌	9
教育費歳出予算（目別、平成23・24年度当初予算）	10
年度別教育費歳出決算（目別、平成18～23年度）	11
社会教育課	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	12
2 社会教育委員名簿、放課後児童クラブ一覧表	14
3 公民館等一覧表	15
4 公民館事業計画	16
青少年センター	
1 重点目標、課題	34
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	35
生涯学習センター	
1 重点目標、重点事項	36
2 施設状況	36
高齢者生きがい創造学園	
1 重点目標、事業、施設状況	37
学校教育課	
1 重点目標、スローガン、最重要課題、重点事項	38
2 新居浜市教育研究所の概要	40
3 学校教育計画資料	42
4 平成24年度児童・生徒・園児・教職員数	44
5 学校等一覧	48
6 通学区域	52
7 園児・児童・生徒数の推移（平成19～28年度）	54
8 中学校卒業者の進路状況	55

発達支援課

- 1 重点目標、最重要課題、重点事項 56
- 2 発達支援システムイメージ図 58

学校給食課

- 1 重点目標、重点事項、施設状況 59
- 2 学校給食運営組織図 60
- 3 新居浜市学校給食の推移 61

スポーツ文化課

- 1 重点目標、主要事業、課題 62
- 2 体育施設一覧表 63
- 3 教育施設一覧表 63
- 4 文化施設一覧表 64
- 5 国指定文化財 65
- 6 県指定文化財 65
- 7 市指定文化財 66
- 8 登録有形文化財 67

郷土美術館

- 1 重点目標、主要事業、施設状況、資料の収集状況 68
- 2 平成24年度事業計画 69

広瀬歴史記念館

- 1. 重点目標、課題、施設状況 70
- 2. 平成24年度事業計画 71

図書館

- 1 基本方針、重点目標、重点事項、施設状況 72
- 2 蔵書冊数 73

平成23年度のあゆみ 75

平成24年度 教育基本方針

すべての市民が、健康で心豊かな人間性を自ら
養い、個性を発揮できる教育の充実に努める。

- 1 誰もが学べる環境を整備し、生涯にわたる学習機会を提供する。
- 2 学びの成果を活かし、よりよい地域づくりを推進する。
- 3 家庭・学校・地域の連携の下、子どもたちの健全な育成を支える。
- 4 基本的な生活習慣や社会規範を身につける温かい家庭教育を進める。
- 5 開かれた特色ある学校づくりを推進し、「生きる力」を育む。
- 6 国際化、情報化、環境、防災、食育等現代的課題に対応する教育を進める。
- 7 子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- 8 お互いを尊重し認め合う人権・同和教育を推進する。
- 9 自然を守り育て、郷土を学び愛する教育を進める。
- 10 伝統文化を保存・継承するとともに、芸術文化の香るまちづくりを推進する。
- 11 スポーツの振興を図り、市民の健康増進、体力向上に努める。

教育委員会の沿革

- 27年 4月 市庁舎落成
8月 「義務教育費国庫負担法」公布
11月 新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
- 28年 5月 神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併
7月 「青少年問題協議会設置法」公布
12月 市営野球場設置
- 29年 6月 「へき地教育振興法」「学校給食法」公布
- 30年 3月 泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併
泉川公民館・船木公民館設置
4月 社会教育委員会設置
6月 青年学級開校
- 31年 2月 大島公民館・惣開公民館設置
3月 「就学奨励援助法」公布
6月 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布
7月 「文化財保護条例」制定
12月 「幼稚園設置基準」告示 多喜浜公民館設置
- 32年 6月 川東支所開所
- 33年 4月 神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置
「義務教育学校施設費国庫負担法」「学校保健法」公布
5月 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」公布
- 34年 4月 郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置
12月 「日本学校安全会法」公布
- 35年 4月 市立商業高等学校設置
10月 上部支所開所
- 36年 6月 「スポーツ振興法」公布
9月 大島地域・離島振興法適用
10月 中学校全国一斉学力テスト実施
- 37年 3月 「教科書無償法」公布
11月 市民文化センター設置 中央公民館設置
- 39年 1月 東予新産業都市指定
4月 記念会館設置 重量挙練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置
奨学資金貸付基金条例制定
7月 青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
- 40年 5月 勤労青少年ホーム設置
- 42年 3月 市樹“クスノキ” 市花“ツツジ”制定
- 44年 7月 「同和対策事業特別措置法」公布
- 45年 4月 入学準備金貸付基金条例制定
10月 第1回市民体育祭開催（以後毎年開催） 口屋跡記念公民館設置
12月 山根市民グラウンド設置
- 46年 5月 「義務教育教員給与特別措置法」公布
7月 第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催
10月 テニスコート設置
12月 特別奨学基金条例制定 スポーツ振興審議会設置
- 47年 4月 川東中学校開校（神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）
市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定

6月 社会教育指導員設置
 11月 市民憲章制定
 48年 4月 桃山学院短期大学開校 別子銅山休山
 49年 2月 「教員人材確保法」公布
 5月 市立学校体育施設開放
 8月 市民福社会館設置
 50年 4月 金子公民館設置 心身障害児就学指導委員会設置
 7月 「私立学校振興助成法」公布
 50年 8月 市立商業高校夏の高校野球で準優勝
 51年 3月 泉川公民館新築
 9月 身体障害者福祉センター設置 台風17号
 12月 青野記念奨学基金条例制定
 52年 7月 市民体育館設置
 54年 2月 中央児童センター設置
 6月 滝の宮トリム公園設置 角野公民館新築
 55年 3月 新庁舎落成 惣開公民館新築 船木公民館新築
 4月 第二次長期総合計画策定 生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置
 10月 郷土美術館設置
 56年 3月 大島公民館新築
 4月 金栄公民館設置
 57年 4月 豊かな心を育てる施策推進モデル指定 若宮公民館・浮島公民館設置
 58年 4月 新居浜公民館設置
 59年 4月 青少年健全育成推進事務局設置
 12月 美術館建設推進臨時事務局設置
 60年 3月 新居浜市文化振興基金条例制定
 東中・中萩小・船木小校舎増改築
 中萩中プール増改築
 6月 市営野球場改築
 61年 2月 重量拳練習場改築 中萩小プール増改築
 3月 神郷公民館新築 生徒指導推進事務局廃止
 8月 財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立
 62年 1月 中学校柔剣道場新築（～元年度）
 2月 新居浜小学校改築 東中体育館増改築
 3月 山根総合体育館設置 多喜浜公民館増改築
 63年 3月 船木中・泉川中・北中校舎改築 宮西小プール増改築
 10月 山根屋内プール完成
 11月 銅山の里自然の家新築
 元年 1月 角野中校舎増築
 3月 若宮小校舎改築 南中体育館増改築
 10月 寺尾音楽教育振興基金条例制定
 2年 2月 部室整備（中萩中・大生院中） 大生院中体育館増改築
 3月 プール増改築（新居浜小・惣開小） 垣生公民館新築
 桃山学院短期大学閉校 市立商業高校県立移管
 2年 4月 第三次長期総合計画策定
 3年 3月 船木中体育館増改築 泉川中体育館、屋上プール増新築
 部室整備（船木中・泉川中） 中萩公民館増改築 大島教育集会所新築
 4月 生涯学習センター設置

- 12月 パソコン教室設置（西・南・北中）
- 4年 2月 川東中部室整備
- 3月 金栄小体育館増改築 金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修
銅山の里自然の家集会所棟新築 別子銅山記念図書館住友より寄贈
- 4月 広瀬記念邸設置
- 5年 3月 大生院公民館増改築 文化振興会館改築
北中プール増改築 北中部室整備
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）
- 4月 高齢者生きがい創造学園設置
- 6年 3月 部室整備（東中・西中・南中・角野中）
高津小プール増改築
- 7年 3月 高津公民館増改築
多喜浜小屋内運動場改築
泉川小プール増改築
船木小運動場造成
- 9月 小学校パソコン教室設置
- 8年 3月 若宮小プール改築
川東中屋内運動場大規模改造
- 9年 3月 広瀬歴史記念館完成
神郷小屋内運動場大規模改造
大島小プール新築
- 9月 生涯学習都市宣言制定
- 10年 2月 高津小北校舎大規模改造
- 10月 東中完全給食開始
- 11年 1月 心の教室整備（東中）
- 7月 市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）完成
- 8月 心の教室整備（中萩中、川東中）
- 10月 泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
- 12年 3月 西中北校舎棟改築
男女共同参画都市宣言制定
- 4月 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）施行
- 9月 心の教室整備（北中、泉川中）
- 13年 3月 学校給食センター完成
- 4月 西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施
船木小学校わかば分教室開設
船木中学校ひびき分校開校
- 6月 第四次長期総合計画策定
- 10月 心の教室整備（南中・角野中）
- 11月 西中南校舎棟外改築
- 14年 4月 学校週5日制の完全実施
- 15年 1月 心の教室整備（船木中・大生院中）
- 15年 3月 垣生小学校プール改築
- 4月 別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる
総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管
同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管
生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管

- 多喜浜体育館(旧勤労者体育センター)を商工観光課から体育文化課に移管
 新設校推進臨時事務局廃止
 視聴覚ライブラリー廃止
 教職員住宅保土野寮B棟焼失
- 6月 旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
- 7月 泉川公民館新築
- 16年 3月 武徳殿 国の登録有形文化財登録
- 16年 台風の被害、避難所の設置
- 17年 1月～ 子ども見守り隊結成
- 3月 角野小学校プール改築
- 18年 3月 新居浜市伝える力を育てる教育特区(英語で話そう科・表現科)認定
- 9月 新居浜市こども夢未来基金創設
- 18年 耐震補強工事の実施
 (角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小) 体育館
- 19年 耐震補強工事の実施
 (金子小・大生院小・西中・川東中) 体育館
 (船木小・金子小・泉川小・中萩中) 校舎
- 20年 4月 発達支援準備室設置
 新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイツ自然学習館」が新居浜市に帰属
 地域主導型公民館へ移行(金子公・惣開公・若宮公・泉川公)
- 20年 耐震補強工事の実施
 (金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中) 校舎
- 21年 4月 発達支援課設置
 地域主導型公民館へ移行(新居浜公・金栄公)
- 21年 耐震補強工事の実施
 (角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中) 校舎
- 22年 4月 新居浜市地域交流センター設置(金子公民館廃止)
 地域主導型公民館へ移行(口屋跡記念公・高津公・浮島公・垣生公・神郷公・多喜浜公・船木公・大生院公)
- 10月 こども発達支援センター開所
- 22年 大規模改造工事の実施(神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中)校舎
 太陽光発電設備設置工事(新居浜小外26校)
- 23年 3月 北中学校体育館改築
- 4月 生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管
 放課後児童健全育成事業の移管
 地域主導型公民館へ移行(中萩公民館・角野公民館)
 第五次長期総合計画策定
 体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置
 耐震補強工事の実施(多喜浜小・北中・角野中)校舎
- 24年 3月 新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止

教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員 長	三 木 由 紀 子	平 成 21 年 6 月 27 日	
教 育 委 員	伊 藤 嘉 秀	平 成 22 年 12 月 24 日	
教 育 委 員	宮 内 文 久	平 成 23 年 12 月 24 日	
教 育 委 員	長 野 美 和 子	平 成 23 年 12 月 24 日	
教 育 長	阿 部 義 澄	平 成 14 年 4 月 1 日	

歴 代 教 育 委 員

公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭 和 27 年 11 月 1 日	昭 和 31 年 9 月 30 日	初代教育委員長
大 場 英 雄	" 27 年 11 月 1 日	" 31 年 9 月 30 日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	" 27 年 11 月 1 日	" 31 年 9 月 30 日	四代教育委員長
加 藤 長 次	" 27 年 11 月 1 日	" 30 年 4 月 22 日	
青 野 重 馬	" 27 年 11 月 1 日	" 30 年 4 月 22 日	議会選出
黒 川 晋	" 30 年 5 月 2 日	" 31 年 9 月 30 日	
高 須 賀 佐 太 郎	" 30 年 5 月 2 日	" 31 年 9 月 30 日	議会選出

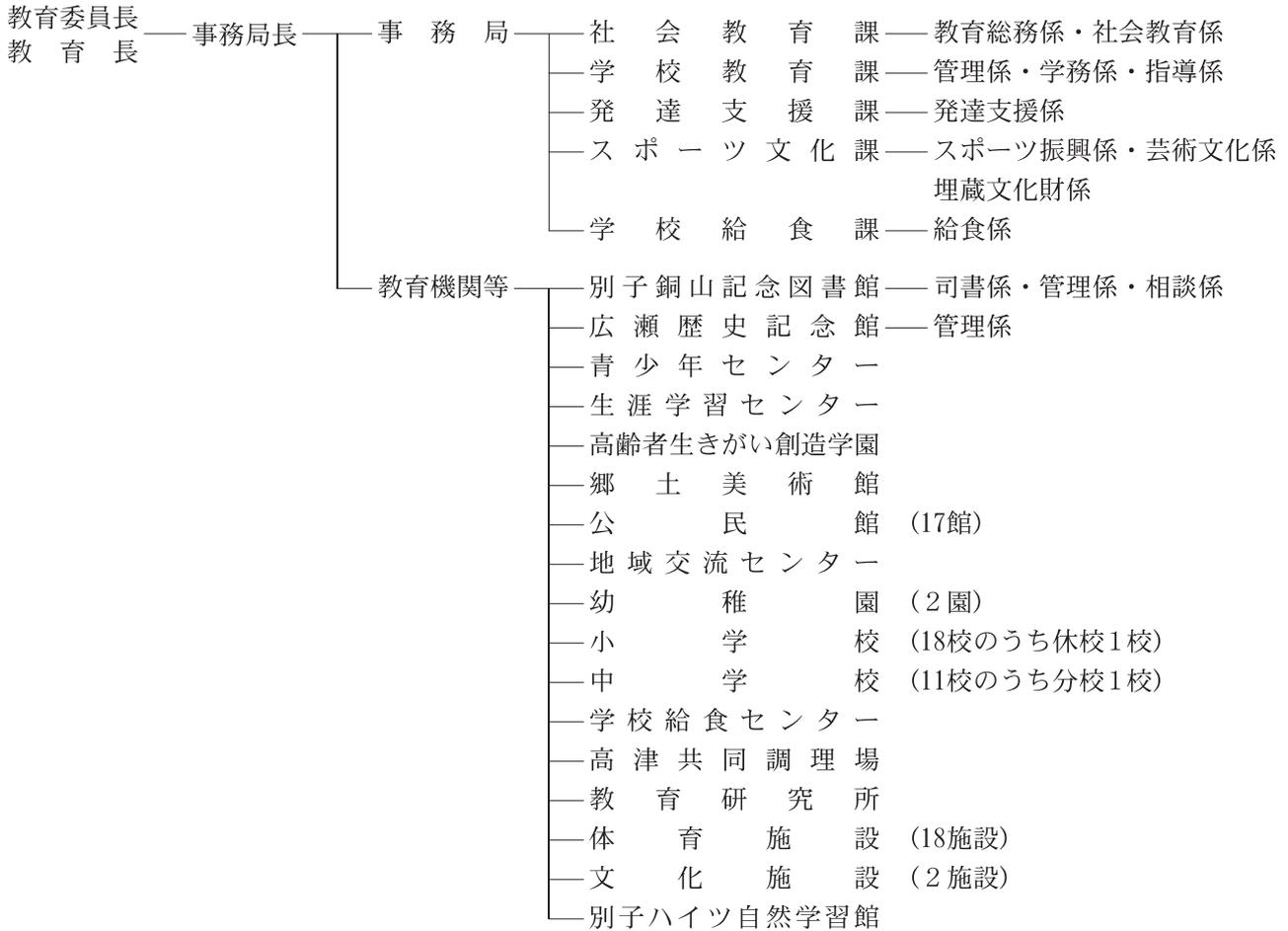
任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭 和 31 年 10 月 1 日	昭 和 33 年 9 月 30 日	五代教育委員長
久 門 英 雄	" 31 年 10 月 1 日	" 33 年 9 月 30 日	六代 "
黒 川 晋	" 31 年 10 月 1 日	" 33 年 9 月 30 日	七代 "
三 浦 義 一	" 31 年 10 月 1 日	" 35 年 9 月 30 日	八代 "
加 藤 実	" 31 年 10 月 1 日	" 39 年 7 月 10 日	教育長を兼ねる
三 野 担	" 32 年 10 月 1 日	" 34 年 4 月 3 日	
高 橋 玉 置	" 33 年 10 月 1 日	" 37 年 9 月 30 日	九代教育委員長
永 井 伊 三 郎	" 34 年 10 月 20 日	" 36 年 9 月 30 日	
山 下 桂 太 郎	" 34 年 10 月 8 日	" 38 年 10 月 7 日	十代教育委員長
久 米 申	" 35 年 10 月 1 日	" 39 年 9 月 30 日	十一代教育委員長
亀 井 清 太 郎	" 36 年 11 月 1 日	" 40 年 10 月 30 日	十二代 "
神 野 一 郎	" 37 年 10 月 11 日	" 41 年 10 月 10 日	十三代 "
山 下 桂 一 郎	" 38 年 10 月 8 日	" 42 年 10 月 7 日	十四代 "
岡 本 悦 良	" 39 年 10 月 1 日	" 43 年 9 月 30 日	十五代 "
岡 虎 義	" 40 年 12 月 3 日	" 44 年 12 月 2 日	十六代 "
神 野 一 郎	" 41 年 10 月 11 日	" 45 年 6 月 30 日	十七代 "
栗 原 利 得 喜	" 41 年 10 月 11 日	" 45 年 10 月 10 日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	" 42 年 12 月 21 日	" 46 年 12 月 20 日	十八代教育委員長
近 藤 続 行	" 43 年 12 月 21 日	" 47 年 2 月 21 日	十九代 "
斉 藤 一	" 45 年 7 月 4 日	" 49 年 7 月 3 日	二十代 "
岡 虎 義	" 45 年 12 月 21 日	" 49 年 12 月 20 日	二十一代 "
藤 田 秀 朋	" 46 年 12 月 24 日	" 50 年 12 月 23 日	二十二代 "
村 上 哲 亮	" 46 年 8 月 1 日	" 50 年 7 月 31 日	教育長を兼ねる

氏名	就任年月日	離任年月日	備考
神野 忠利	昭和48年4月2日	昭和52年4月1日	二十三代教育委員長
藤田 凶南夫	" 49年12月24日	" 53年12月23日	二十四代 "
藤田 秀朋	" 50年12月24日	" 54年12月23日	二十五代 "
坂口 勲	" 50年12月14日	" 54年12月23日	二十六代 "
村上 哲亮	" 51年3月18日	" 55年3月17日	教育長を兼ねる
神野 忠利	" 52年4月2日	" 56年4月1日	二十七代教育委員長
堀越 和衛	" 53年12月24日	" 57年12月23日	二十八代 "
印南 忠一	" 54年12月24日	" 58年12月23日	二十九代 "
坂口 勲孝	" 54年12月24日	" 58年12月23日	三十代 "
伊達 博臣	" 55年3月26日	" 59年3月25日	教育長を兼ねる
大西 博臣	" 56年6月6日	" 60年6月5日	三十一代教育委員長
堀越 和衛	" 57年12月24日	" 61年12月23日	三十二代 "
印南 忠一	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十三代 "
坂口 勲孝	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十四代 "
伊達 博臣	" 59年3月26日	" 63年3月25日	教育長を兼ねる
篠原 利光	" 60年6月6日	平成元年6月5日	三十五代教育委員長
守谷 照男	" 61年12月24日	" 2年12月23日	三十六代 "
千葉 文政	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十七代 "
田坂 富美子	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十八代 "
伊達 博臣	" 63年3月26日	" 4年3月25日	教育長を兼ねる
篠原 利光	平成元年6月27日	" 5年6月26日	三十九代教育委員長
真鍋 栄	" 2年12月24日	" 6年12月23日	四十代 "
天野 征郎	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十一代 "
田坂 富美子	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十二代 "
渡邊 健	" 4年4月1日	" 8年3月31日	教育長を兼ねる
近藤 求	" 5年6月27日	" 9年6月26日	四十三代教育委員長
千葉 昭夫	" 6年12月24日	" 10年12月23日	四十四代 "
千葉 陽三	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十五代 "
小野 卜ヨミ	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十六代 "
西原 洋昂	" 8年4月1日	" 12年3月31日	教育長を兼ねる
一色 康範	" 9年6月27日	" 13年6月26日	四十七代教育委員長
加藤 信一	" 10年12月24日	" 14年12月23日	四十八代 "
千葉 陽三	" 11年12月24日	" 15年12月23日	四十九代 "
小野 卜ヨミ	" 11年12月24日	" 15年12月23日	五十代 "
西原 洋昂	" 12年4月1日	" 14年3月31日	教育長を兼ねる
桑田 敬子	" 13年6月27日	" 17年6月26日	五十一代教育委員長
阿部 義澄	" 14年4月1日	" 16年3月31日	教育長を兼ねる
小野 正師	" 14年12月24日	" 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野 征一	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十三代 "
太田 恵理子	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十四代 "
阿部 義澄	" 16年4月1日	" 20年3月31日	教育長を兼ねる
桑田 敬子	" 17年6月27日	" 21年6月26日	五十五代教育委員長
小野 正師	" 18年12月24日	" 22年12月23日	五十六代教育委員長
宇野 征一	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十七代教育委員長
太田 恵理子	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十八代教育委員長
阿部 義澄	" 20年4月1日	" 24年3月31日	教育長を兼ねる
三木 由紀子	" 21年6月27日		五十九代教育委員長
伊藤 嘉秀	" 22年12月24日		
宮内 文久	" 23年12月24日		
長野 美和子	" 23年12月24日		
阿部 義澄	" 24年4月1日		教育長を兼ねる

組 織 図

(平成24年5月1日現在)



職 員 数

(平成24年5月1日現在)

	定 数	現 員
事 務 局	41	42
教 育 機 関	72	48

(事務局現員においては、新居浜市職員定数条例第4条第3号の規定による定数外の職員1名を含む。)

	課 所 別	職員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間再任用職員	計
事務局	社 会 教 育 課	12	1	59	2		74
	学 校 教 育 課	13		10			23
	発 達 支 援 課	7		14			21
	ス ポ ー ツ 文 化 課	7	1			1	9
	学 校 給 食 課	3	1				4
教育機関	別子銅山記念図書館	9	8	6		1	24
	広瀬歴史記念館	2		4			6
	青少年センター	1	1				2
	生涯学習センター・高齢者生きがい創造学園		3	8			11
	郷土美術館		2	2			4
	公 民 館	1		69			70
	幼 稚 園	6	5	3			14
	小 学 校 (県費教職員を除く。)	25	4	140	7		176
	中 学 校 (県費教職員を除く。)			65			65
	学 校 給 食 セ ン タ ー			21	15		36
	高 津 共 同 調 理 場	4	1	11			16
教 育 研 究 所				1		1	
計	90	48	407	9	2	556	

事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	<p>教育委員会の招集、議案作成、配布、告示及び議事の整理に関すること。 市長及び各方面との連絡協議に関すること。 教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。 職員(県費負担教職員を除く。)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生に関すること。 教育委員会職員の定数配置に関すること。 公印の管守に関すること。 教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。 情報公開の調整に関すること。 個人情報保護の調整に関すること。 事務局の庶務に関すること。 予算経理の指導助言に関すること。 社会教育施設の設置及び廃止に関すること。 社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。 社会教育委員会の庶務に関すること。 成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。 公民館、地域交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。 青少年健全育成の推進に関すること。 青少年団体指導者の育成に関すること。 放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 学校体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。 学校体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。</p>
学校教育課	<p>学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。 学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。 学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。 学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。 学校休業日の決定に関すること。 学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。 教育団体関係事務に関すること。 児童・生徒の就学事務に関すること。 通学区域の設定変更事務に関すること。 学級編制関係事務に関すること。 教科書関係事務に関すること。 県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。 就学援助事務に関すること。 奨学資金事務に関すること。 教育課程及び教育内容の編成に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 学校及び幼稚園の教育指導に関すること。 教員の現職教育研修に関すること。 児童・生徒活動の指導に関すること。 教育研究所事務に関すること。 就園奨励関係事務に関すること。 中学生等の国際交流に関すること。 児童・生徒に生活指導に関すること。 学校体育に関すること。 就学時の健康診断事務に関すること。 児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。 学校保健に関すること。 学校安全に関すること。</p>
スポーツ文化課	<p>体育文化施設の設置及び廃止に関すること。 体育文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。 市民体育の振興に関すること。 スポーツ推進審議会の庶務に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。 体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。 市民体育関係団体の育成に関すること。 文化財保護委員会の庶務に関すること。 芸術文化の振興に関すること。 文化財の保存活用に関すること。 郷土美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。 体育文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。 関係機関及び団体との連絡調整に関すること。 (財)新居浜市文化体育振興事業団に関すること。</p>
学校給食課	<p>学校給食に関すること。 共同調理場に関すること。</p>
発達支援課	<p>特別支援教育に関すること。</p>

教育費歳出予算（目別、平成23・24年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成23年度		平成24年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教 育 総 務 費	702,308	20.1 %	638,344	21.0 %	90.9 %
教育委員会費	6,725	0.2 %	6,764	0.2 %	100.6 %
事務局費	387,118	11.1 %	363,671	12.0 %	93.9 %
諸 費	308,465	8.8 %	267,909	8.8 %	86.9 %
小 学 校 費	721,119	20.6 %	560,675	18.4 %	77.8 %
学校管理費	398,270	11.4 %	410,587	13.5 %	103.1 %
教育振興費	153,042	4.4 %	150,088	4.9 %	98.1 %
学校建設費	169,807	4.8 %	0	0.0 %	0.0 %
中 学 校 費	610,167	17.4 %	354,111	11.7 %	58.0 %
学校管理費	237,545	6.8 %	257,751	8.5 %	108.5 %
教育振興費	84,153	2.4 %	96,360	3.2 %	114.5 %
学校建設費	288,469	8.2 %	0	0.0 %	0.0 %
幼 稚 園 費	107,296	3.1 %	114,063	3.7 %	106.3 %
幼稚園費	107,296	3.1 %	114,063	3.7 %	106.3 %
社 会 教 育 費	528,907	15.1 %	522,061	17.2 %	98.7 %
社会教育総務費	173,752	4.9 %	172,299	5.7 %	99.2 %
公民館費	167,341	4.8 %	197,635	6.5 %	118.1 %
図書館費	85,667	2.4 %	88,841	2.9 %	103.7 %
郷土美術館費	19,807	0.6 %	22,135	0.7 %	111.8 %
青少年教育費	2,316	0.1 %	2,286	0.1 %	98.7 %
青少年センター費	3,784	0.1 %	3,746	0.1 %	99.0 %
広瀬歴史記念館費	76,240	2.2 %	35,119	1.2 %	46.1 %
保 健 体 育 費	830,790	23.7 %	849,828	28.0 %	102.3 %
保健体育総務費	26,430	0.7 %	31,976	1.1 %	121.0 %
体育施設費	264,999	7.6 %	283,134	9.3 %	106.8 %
学校給食費	539,361	15.4 %	534,718	17.6 %	99.1 %
合 計	3,500,587	100.0 %	3,039,082	100.0 %	86.8 %
一 般 会 計 総 額	44,514,720		47,007,452		105.6 %
教 育 費 の 割 合	7.9 %		6.5 %		1.4 % 減

放課後児童クラブ運営費 …… 放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費）87,651千円

年度別教育費歳出決算（目別、平成18～23年度）

（単位：千円）

年度 費目	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
教育総務費	541,411	571,739	615,156	567,506	693,797	721,288
教育委員会費	6,589	6,684	6,648	6,640	6,622	6,655
事務局費	313,545	343,646	386,922	340,669	422,127	407,280
諸費	221,277	221,409	221,586	220,197	265,048	307,353
小学校費	602,543	955,590	1,289,633	894,607	2,167,817	645,316
学校管理費	439,241	361,836	393,817	383,784	572,912	409,111
教育振興費	124,868	123,642	134,094	144,504	405,450	136,467
学校建設費	38,434	470,112	761,722	366,319	1,189,455	99,738
中学校費	338,135	523,215	457,286	701,878	1,776,538	492,875
学校管理費	233,028	233,706	212,953	212,637	340,423	214,519
教育振興費	94,082	90,756	92,614	97,450	300,705	73,892
学校建設費	11,025	198,753	151,719	391,791	1,135,410	204,464
幼稚園費	122,958	121,838	110,212	97,742	104,981	92,760
幼稚園費	122,958	121,838	110,212	97,742	104,981	92,760
社会教育費	521,406	469,166	448,214	458,292	466,189	502,498
社会教育総務費	262,816	220,068	205,431	183,458	144,839	162,626
公民館費	106,239	109,978	113,499	136,114	156,851	160,949
図書館費	102,013	86,884	81,711	88,578	92,622	83,913
郷土美術館費	10,919	12,337	8,950	9,198	9,015	18,567
青少年教育費	1,424	1,665	1,664	1,518	2,316	1,933
青少年センター費	3,330	3,234	3,134	3,001	3,053	3,145
広瀬歴史記念館費	34,665	35,000	33,825	36,425	57,493	71,365
保健体育費	791,838	768,425	863,979	842,658	799,365	783,977
保健体育総務費	52,765	20,632	23,291	25,207	25,219	23,785
体育施設費	258,614	270,634	358,535	324,541	274,572	262,510
学校給食費	480,459	477,159	482,153	492,910	499,574	497,682
合計	2,918,291	3,409,973	3,784,480	3,562,683	6,008,687	3,238,714

ただし、繰越分含む。

平成23年度放課後児童対策費決算額（民生費、児童福祉費、児童福祉総務費）78,352千円

平成23年度保健体育施設災害復旧費決算額（災害復旧費、文教施設災害復旧費、社会教育施設災害復旧費）6,059千円

社 会 教 育 課

重点目標

- 1 市民の自ら学ぶ意欲を喚起し、市民生活に即したさまざまな活動の拠点としての公民館の機能を再構築する。
- 2 地域ぐるみで子どもたちの居場所づくりに取り組むとともに、安全・安心の確保に努める。
- 3 社会教育関係団体をはじめ市民活動のネットワークを構築し、よりよい地域づくりを推進する。
- 4 地域主導型公民館の基盤を固めるため、支援体制の整備を図る。

最重要課題

地域住民が主役になった公民館活動の推進

重点事項

I 各世代に対応した事業の推進

1 青少年を対象とした事業

- (1) 子どもの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室推進事業に取り組む。
- (2) 公民館を中心に、地域の伝統行事、自然体験、職業体験等を推進する。
- (3) 子ども会、愛護班、目的少年団体等の活動促進を図る。
- (4) 青少年の社会参加、ボランティア活動を促進する。
- (5) 地域全体で子どもの成長を見守るために指導者やボランティアの発掘、育成、人材バンクの整備に努める。

2 家庭を対象とした事業

- (1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を開設する。子育てサロンとの連携に努める。
- (2) 親の責任と家庭の役割について学習する家庭教育講座等を通じて、保護者としての意識向上を図る。
- (3) 地域において情報や学習機会の提供を行い、相談体制の充実等、地域全体で家庭教育を支えていくえひめ地域家庭教育・子育てサポート事業に取り組む。
- (4) いじめ・不登校等の問題に対して、地域・家庭・学校が連携して取り組む体制を整備する。

3 女性を対象とした事業

- (1) 女性の自主学習や社会参画の促進を図り、エンパワーメントにつなげる。
- (2) 公民館における女性を対象とする講座の開設、地域活動への参画を促進する。
- (3) 婦人会等の地域の女性団体の育成、指導者養成に努める。

4 高齢者を対象とした事業

- (1) 高齢者が地域、家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設する。
- (2) 高齢者の知識や経験を活用し、地域文化の伝承、世代間交流事業等を推進する。
- (3) 高齢者が地域で活躍する人材バンクの構築、見守り隊などのボランティア活動の推進を図る。

5 成人を対象とした事業

(1) 急激な社会の変化に対応するために、今日的な社会課題を解決する講座や事業に取り組む。出前講座の積極的活用。「役に立つ社会教育」を目指す。

環境問題・男女共同参画・国際化・安全安心・介護福祉・子育て支援・自主防災組織など

(2) 市民の多種・多様な学習ニーズに対応するために、生涯学習センター、NPO等との連携をとり、高度化・専門化した学習機会を提供する。

(3) 人権感覚を磨き、差別をしないまちづくりを推進する。

(4) 地域の各種団体との連携を密にし、心豊かなコミュニティづくり、ボランティア精神の定着に努め、市民と行政の協働のまちづくりを推進する。

(5) 情報化社会の中で、すべての市民がITを有効に活用できるよう公民館等で学習を推進する。

(6) 社会体育を推進するために、学校の体育館、グラウンド等の学校開放事業を行う。

(7) 各種団体のリーダーを対象に研修を実施し、指導者としての資質向上を図る。

II 新規事業及び強化事業

1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

従来あった委託事業を統合し、①学ぶ②活かす③創るを三本柱に、地域住民が自ら考え、学び、行う。その活動を通し、よりよい地域づくりができるような仕組みづくりへの転換を図る。

2 こども夢未来基金事業の実施

子どもたちの豊かな心の成長と夢広がる未来のふるさとづくりに資するため、平成18年9月に設置した新居浜市こども夢未来基金を活用し、3つの事業を行う。

(1) 震災を知らない子どもたちのリーダー研修

(2) 四国ものづくり探訪ツアー

(3) 新居浜こども環境キャンプ

3 『こころのことばコンクール』の実施

子どもたちが日頃抱いている悩みや将来への期待、夢など、様々な心のメッセージを綴ってもらい、子どもの表現する力を育み、大人の子どもに対する感性や受容力を高めるために「こころのことばコンクール」を行う。

4 『子ども見守り隊』活動の拡充

地域社会が子どもたちの安全と安心を確保するために平成17年度に結成した子ども見守り隊の地域への浸透、定着を図るために、見守り活動に関する講習会や各地域の活動実態を情報交換する研修会を開催する。

5 放課後児童クラブ

就労等により昼間家庭に保護者がいない児童(小学校1年～3年)を対象に、その児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを開設する。

社会教育委員名簿

(平成24年7月1日 現在) 50音順

氏名	性別	備考
有吉 瑞穂	女	女性連合協議会代表
安藤 進一	男	体育協会代表
石川 隆文	男	企業代表
石崎 学	男	高等学校校長会代表
伊藤 謙司	男	市議会福祉教育委員長
遠藤 敦子	女	公民館連絡協議会代表
大橋 勝英	男	新居浜市医師会代表
尾崎 伸興	男	青年会議所代表
片桐 丈雄	男	P T A 連合会代表
篠原 雅士	男	文化協会代表
野村 大介	男	愛媛新聞社新居浜支社長
秦 栄子	女	ボランティア連絡協議会代表
秦 博文	男	小学校校長会代表
日野 幸彦	男	連合自治会代表
横井 敏行	男	中学校校長会代表

任期 平成23年7月1日～平成25年6月30日

放課後児童クラブ一覧表

クラブの名称	設置場所	クラブの名称	設置場所
たねっこクラブ	高津小学校	ひまわりクラブ	垣生小学校
たねっこクラブ2	同上	のぞみクラブ	惣開小学校
ひかりクラブ	中萩小学校	あじさいクラブ	多喜浜小学校
ひかりクラブ2	同上	さくらクラブ	泉川小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	こねこクラブ	若宮小学校
たんぼぼクラブ	金栄小学校	かがやきクラブ	金子小学校
こぼとクラブ	角野小学校	かがやきクラブ2	同上
うずいクラブ	大生院小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ	船木小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
あひるクラブ	神郷小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵
すみれクラブ	宮西小学校		

公民館等一覽表

(平成24年5月1日現在)

施設名	所在地	設 立 年月日	新改築 年度	人 口 24. 3. 31	世帯数	構 造	建 築 延 面積(㎡)	敷地面積 (㎡)	施設長氏名
新 居 浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58. 4. 1	昭57年度 新築	4,700	2,261	鉄 筋 2階建	535.50	1,586.00	青野 久夫
口屋跡記念 32-8430	" 西町 6番2号	" 45.10. 3	平 3 " 改築	5,162	2,559	鉄 筋 3階建	949.44	2,214.87	平野 繁市
地域交流センター 34-6320	" 庄内町 一丁目14番7号	平成 22. 4. 1	平21 " 新築	11,993	5,435	鉄 筋 2階建	945.02	2,021.40	越智 保二
金 栄 33-3212	" 高木町 6番25号	昭和 56. 4. 1	昭55 " 新築	5,469	2,495	鉄 筋 2階建	456.00	1,758.00	遠藤 敦子
高 津 32-3320	" 沢津町 二丁目3番30号	" 33. 4. 1	平 7 " 改築	12,135	5,607	鉄 筋 2階建	987.25	2,220.77	柴田晋八郎
浮 島 34-7617	" 八幡 二丁目6番52号	" 57. 4. 1	昭56 " 新築	3,853	1,707	鉄 筋 2階建	456.00	1,480.48	片村 源二
惣 開 33-1031	" 王子町 1番3号	" 31. 2. 24	昭54 " 新築	4,166	1,984	鉄 筋 2階建	456.00	1,130.81	中山 郁男
若 宮 34-7612	" 新田町 一丁目8番37号	" 57. 4. 1	昭56 " 新築	1,957	1,039	鉄 筋 2階建	456.00	1,124.96	木下 信
垣 生 45-0024	" 垣生 二丁目12番26号	" 24.12. 1	平元 " 新築	4,427	1,867	鉄 筋 平屋建	483.00	1,985.80	岡部 益夫
神 郷 46-1181	" 郷 三丁目7番20号	" 33. 4. 1	昭60 " 新築	10,111	4,392	鉄 筋 2階建	624.00	1,433.00	永易 良樹
多 喜 浜 45-0014	" 多喜浜 五丁目7番27号	" 31.12. 27	昭61 " 改築	4,045	1,833	鉄 筋 2階建	545.63	1,245.00	真鍋 淳江
大 島 45-1006	" 大島 甲128番地の1	" 31. 2. 24	昭55 " 新築	288	166	鉄 筋 2階建	414.00	515.53	矢野 秀綱
泉 川 41-6463	" 瀬戸町 12番34号	" 30. 3. 31	平15 " 新築	11,800	5,532	木 造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	今西 光昭
中 萩 41-6735	" 萩生 740番地の1	" 22.11. 1	平 2 " 改築	20,215	8,844	鉄 筋 2階建	984.00	2,024.02	衣川 裕二
船 木 41-6003	" 船木 2579番地の1	" 24. 9. 14	昭54 " 新築	7,481	3,249	鉄 筋 2階建	456.00	1,917.99	徳田 勝英
大 生 院 41-6604	" 大生院 1063番地の1	" 25. 9. 28	平 4 " 改築	4,237	1,882	鉄 筋 2階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	真鍋 耀江
角 野 41-6224	" 中筋町 二丁目4番24号	" 23.11. 3	昭54 " 新築	12,206	5,474	鉄 筋 2階建	864.00	2,963.24	稲見 弘
別 子 山 64-2211	" 別子山 甲347番地の1	" 59. 4. 1	昭59 " 新築	193	103	鉄 筋 2階建	631.00	821.54	和田 仲吉
合 計				124,438	56,429				

※ 改築は、増築・大規模改修等とする。

公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標		～夢・ロマン・感動を求めて～ 1 ボランティア活動の推進 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進 3 生涯学習の活性化と推進 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	地域の女性を対象とし、多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。(年6回) 健康教室・手芸教室・料理教室 等
	シニアネットワーク	団塊世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることの出来る学習の機会や他世代との交流を促進していく。
	小学生夏休み講座	未来を担う子どもたちを、健やかに育むため、活力ある、絵画教室・宿題デー・パソコン教室を行う。
	小・中学生料理教室	地域の方が講師となり新たな交流関係を生みだし、料理を学ぶ事により家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。(各年4回)
	なかよし教室	新小放課後児童クラブへ通う児童を対象とし、昔遊び・科学実験・自然体験活動等の事業を地域協力で行い、協調性を養う。
	小学生通学合宿	公的施設で宿泊しながら通学し、集団活動や生活活動体験を行い、自主性・協調性など心豊かな人間性を育む。
	えんぜるっこ	未就園児を対象とし、子育てに孤立、又は悩んでいる方を支援する。(年12回)
	三世代ウォークラリー	地域と地元企業がタイアップし、工場・歴史資料館の見学をし、地域間交流を図る。
	新小夜市	夏祭りを開催し、幼児・小・中学生や高齢者との交流を図り、地域の活性化を促進する。
	三世代交流事業	餅つき・しめ縄づくり・凧づくりを各種団体が共同で実施し、伝統的文化・技術の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
	地域自主防災組織の強化	新居浜校区自主防災会を再構築し、単位自治会相互の連携で、熟議に取り組み、災害時においての高齢者対策、地域課題解決を行う。また地域防災知識を高めるため、北淡震災記念公園に研修に行く。
地域活性化事業	若水の一角にある、つづら淵の湧き水を活用して「つづら淵の湧き水で、元気が湧き出る」企画を検討し、「水」を使って事業計画を熟議し、魅力ある地域づくりを行う。	
公民館部活動	広報部・健康体育部・文化部	
校区内行事	校区文化祭・校区運動会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標		～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実 2 青少年の健全育成 3 社会教育関係団体相互の連携・交流 4 人権・同和教育の推進 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育 (家庭教育講座)	親子料理教室、人権・同和教育、軽スポーツ、施設見学、手芸教室 他
	女性教育 (女性講座)	郷土料理教室、史跡探訪、軽スポーツ、人権・同和教育、防災教室、手芸教室 他
	高齢者教育 (高齢者講座)	奉仕活動、史跡探訪、防災教室、保育園児との交流、軽スポーツ、交通安全教室、人権・同和教育、健康教室 他
	高齢者・女性 合同講座	県内外から講師の先生を呼んで人権・同和教育を学ぶ
	生活文化講座	一日親子研修、凧づくり
	スポーツ健康教室	ペタンク、グラウンドゴルフ、シャフルボード、スマイルボウリング
	三世代交流講座	地域支え合いで購入した備品を活用して、口屋の歴史等を小学生に学んでもらう講座を開催する。また、健康器具を利用して、高齢者の健康維持・促進につながる講座を開催
	三世代交流福祉もちつき大会	小学6年生、PTA、老人会、自治会等でもちつき、赤飯作り及び紙ひこうきづくりを行う。その後、地域の独居老人宅に赤飯を、児童の手紙を添えて持っていく。
	先進地研修	地域の問題点が似ている先進地に出向き、どのようにして地域の活性化を図ることに成功したか等のノウハウを学び活かすための研修
	北中校区 子ども絵画展	地域の元美術の先生を中心として、子ども達(小・中学生対象)から絵を募集して展示・審査・指導等の教室を開く。この事業を通して、PTA、学校、地域が協力し合い、子ども達の文化的な活動を後押しし心を癒し、育てるための事業。
	三世代で考える 自主防災組織 づくり及び実践	宮西校区の自主防災組織を再構築し、「ワークショップ」等を取り入れ、自分の住む地域に関心をもってもらえるようなシステム作りを推進し、災害に際したときの連携を深めるための訓練を実施する。
	団塊世代の リーダー養成講座	地域の活性化の解決の為にリーダー的存在を養成することが目的である。また、次世代を担う子ども達に生活の知恵を伝授しながらお互いの交流を深める事業を展開する。5回開催予定で「ワークショップ」「熟議」を取り入れ、地域の諸問題に対しての解決策を探る。
校区内行事	文化祭、運動会	
その他特記事項	人権・同和教育お茶の間懇談会	

事業計画

地域交流センター

重点目標		～活気・笑顔あふれる地域交流センターへ～ 1 生きがいのあるふるさとづくりの推進 2 生涯学習・スポーツの推進 3 各種団体との協力体制の強化 4 地域が一体となった青少年健全育成 5 自主防災組織の充実と意識の向上
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を行う。 ・高齢者の交通安全 ・震災教訓による意識の高揚 ・健康ウォーキング等
	家庭教育講座	金子小学校PTAを中心とした、学習と親子で楽しむ講座を行う。 ・親子陶芸教室 ・救急法 ・親子科学実験教室 ・トールペイント教室等
	スポーツ健康教室	校区住民を対象に、スポーツを通して各世代間交流を図り健康づくりをする。 ・カローリング等
	宿泊合宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子ども達との関わりを大切にし、皆で協力して色々なことに挑戦する。また、地域の歴史も勉強する。
	文化講座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 ・たぬき踊りの練習 ふるさと探訪
	三世代交流	三世代交流を目的とし、地域の人たちがふれあいながら、四季を感じられる講座を行う。 ・七夕 ・しめ縄作り ・凧作り ・七草を知る会
	乳幼児講座	未就学児を持つ親どうしの交流を図り、親子で楽しめる講座を行う。 ・親子3B体操 ・英語で遊ぼう ・料理教室 ・クリスマス会等
	金子フォーラム	見守り隊の再構築について各種団体と連携しながら、子ども達が安心・安全に登下校できるような体制づくりを目指す。
	防災教室	昨年に引き続き、自治会及び各種団体の連携を図りながら熟議に取り組み、自主防災組織の強化と災害時における対策と訓練を実施する。 ・防災講演会 ・防災訓練
放課後子ども教室推進事業	金子校区に伝わる「小女郎たぬき」の民話を継承していくため、地域の大人から子供へ踊り、篠笛・太鼓の技術指導をする。また、そろばん教室や習字教室も実施する。	
交流センター部活動	総務文化部、青少年部、保健体育部、広報部	
校区内行事	ラブ金子ふるさと夏まつり、芸能発表会、文化祭、高齢者軽スポーツ大会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域の絆を深め連携を図る 3 安全・安心の校区づくりと見守りボランティアの推進 4 自主防災組織の充実と意識の向上
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育 (家庭教育講座)	子育て教室、人権学習、寄せ植え教室、ピラティス、消しゴムアート
	婦人教育 (婦人講座)	人権学習、交通安全教室、料理教室、史跡めぐり、健康体操、干支のちぎり絵、パッチワークなど
	高齢者教育 (高齢者講座)	人権学習、介護教室、史跡めぐり、交通安全教室、奉仕作業、ダーツ大会、ペタンク大会など
	料理講座	男性料理教室、郷土料理など
	文化講座	パッチワーク、押し花アート、テーブルマナーなど
	環境美化保護 実践講座	ぼかし作り、花いっぱい運動
	親子のつどい	親子のつどい
	ドリームツリー	ドリームツリー「金栄ふれあい広場」
	ドッジボール大会	ドッジボール大会
	安心まちづくり講座	地域パトロール、熟議
	芸能発表会	校区芸能発表会を行うことで世代間交流を深め親睦を図る。
	地域コミュニティ 活性化事業	地域コミュニティの場となる「金栄よりみち」の皆が使い心地の良くなるよう改善し更なる充実を図る。
	校区盆踊り大会	地域住民の夏の交流の場として、また三世代交流の場として更なる充実を図る。
ボランティアスタッフ 養成講座	ボランティアリーダースタッフの人材発掘・育成・養成のため研修等を行う。	
放課後子ども教室 推進事業	かるがもクラブ (原則月2回)	
公民館部活動	広報部、総務部、防犯防災部等	
校区内行事	文化祭 (11月11日)、盆踊り大会 (8月14日)、運動会 (5月20日)	
その他特記事項	金栄ふれあいの家 (月1回)、子育てサロン (月2回)、 金栄ふれあいの集い (年1回)	

公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

公民館重点目標		～住民が主体的に携わる公民館を目指して～ 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座 (明治大学)	健康、人権・同和学习、環境、交通安全教室、防災・防犯教室等
	女性講座 (女性セミナー)	郷土の歴史、人権・同和学习、フラワーアート、コーラス、法律講座等
	健康講座	歩け歩け大会
	スポーツ健康教室	各種軽スポーツを実施して、校区住民の親睦交流・健康づくりを推進する。
	健康ウォーキング	ウォーキングを通して自然に親しみ、親子、子どもからお年寄りまで異世代間の交流を図る。
	れんげ祭り	自然体験の少ない子どもたちのために農地を借り上げネイチャーム、昔遊び等を行うとともに三世代の交流を図る。
	たかつ納涼夏祭り	校区の夏のイベントとして、子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り・模擬店・迷路・ゲーム大会等
	たかつ花あふれるまちづくり	ボランティアによる花苗の栽培と花壇の植え込み、管理等のまちの環境美化を行うとともに、花作りを通して心豊かな人間形成を行う。
	たかつ史跡めぐり	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
	文化部発表会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
	たかつパソきっず	校区外から高津校区に通う児童・生徒も受け入れ、様々な体験学習を行い、地域行事への参加とともに地域への愛着を養う。
	たかつ防災事業	国領川・沢津垣生海岸の隣接自治会から順次、災害時への対応を啓蒙・周知を図る。
家庭教育講座	親子関係が希薄になり児童虐待等の家庭問題が頻発している昨今、親への教育も重要であることから親への講演会を実施する。	
放課後子ども教室 推進事業	地域社会の中で子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する（やんちゃクラブ）毎週土曜日開催	
公民館部活動	総務広報部（公民館報の編集、各種団体役員名簿の作成等） 文化部（文化サークル発表会の開催等） 青少年部（青少年健全育成の講演等）	
校区内行事	校区運動会、校区文化祭、文化部発表会、青少年健全育成講演会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標		<p>～明るく元気な浮島校区の構築～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進。 3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ。
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	総合講座	校区住民を対象に、人権同和教育・健康などに関する講座を開催する。
	男性料理教室	男性料理教室は校区内男性を対象に、季節の食材を使った料理や一人で手軽にできる料理などを作る。(年間12回)
	家庭教育講座	校区内小学校の児童とP T Aを対象に、家庭教育力を高めるための講座を開催する。
	婦人講座	校区内女性を対象に日常的で、興味のある教室・講座を開催し、交流を深める。(年間6回)
	高齢者講座	校区内高齢者を対象に、学ぶ・体験する講座を開催する。
	子ども教室	校区内児童を対象に学ぶ・体験する講座を開催する。(年間4回)
	軽スポーツ教室	校区住民を対象に手軽で、健康に良い軽スポーツを開催し、交流を深める。(年間3回)
	伝統を伝える講座	材料から採取する「門松」作りと七草粥や児童としめ縄作りや昔遊びを行う。
	明るく元気の出る標語看板作り	児童の「明るく元気の出る標語」を看板に作成し、校区内に設置する。
	幼児&児童の健全育成講座	幼児と児童の健全育成を目的に「まもるくん活動」などを推進する。
	防災講座	防災訓練、防災に関する講座を開催する。
	人材の育成講座	ボランティア研修や、先進地への研修を行い、人材の育成を目指す。
双子クラブ	双子及び保護者を対象とした育成指導・情報交換等	
校区内行事	校区歩け歩け大会、浮島校区文化祭、七草粥を食べる会、小学校運動会(小学校、地域と共同開催)	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○まもるくんパトロール隊による地域に根ざした防犯活動 ○学校・地域が一体となった運動会 	

公 民 館 事 業 計 画

惣 開 公 民 館

公民館重点目標		～どこまでも住民主役の公民館を目指して～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域資源を活かしたまちづくり 3 惣開協力会を結成し、まちおこしを行う。
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	交流給食、昔のあそび、カラオケ教室、高齢者交流会、健康教室、竹細工教室
	婦人講座	料理教室、人権・同和教育、男女共同参画、健康教室、七草がゆ、マナー教室
	乳幼児学級	乳幼児のための教育や、人権・同和教育など乳幼児を持つ父母が考えていく講座
	生活文化講座	観月会、子育てママのわくわく教室、夏休みお楽しみ会、防災講習会
	三世代交流事業	夕涼み会、卒業記念もちつき大会
	まちづくり事業	地域探検、親子校区めぐり、ウォークラリー、写真コンテスト 他
校区内行事	校区文化祭	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標		～家庭・学校・地域の連帯をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいまちづくり	美しい地球を未来に残すため、環境意識の高揚と実践。 美しい地域づくり。(花いっぱい運動)
	安全・安心なまちづくり	校区防災活動への支援。防災組織力の向上。防災意識の高揚。 災害時要援護者支援体制づくり支援。
	子どもが主役のまちづくり	学びの場・癒しの場を提供し、校外生活の充実を図る。 子どもの居場所づくりの推進。
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が引きこもりにならないように、活動の機会を提供する。 高齢者の軽スポーツと健康維持。
	スポーツと健康	三世代交流軽スポーツの実施。地区別対抗スポーツ大会の実施。 健康ウォーキング。
	地域の伝統・歴史の伝承	年中行事の伝承。三世代交流。 昔の遊びを子どもたちと手づくり。(竹とんぼづくり、紙飛行機づくり、凧づくり、七夕飾り、竹苗づくり、七草摘み、七草がゆ、もちつき)
	趣味と教養	産業遺産を学んだり、文学に挑戦することなど、家庭教養を学び、生活の知恵や手仕事を通して生活に潤いを得る。
	地域づくり	地域の方向性を決定するための事業として他市町村の進んだ社会教育施設・活動を研修し今後の活動に活かす。
校区内行事	校区文化祭	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり
事業名		事業内容
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	家庭教育講座 (家庭教育コース)	親の役割、健康づくり、料理、環境問題、世代間交流等の講座を実施し、家庭教育の責任者としての自覚を促し、開かれた家庭、明るい家庭づくりを図る。
	婦人講座 (婦人コース)	教養講座及び奉仕活動、健康づくり、郷土理解、料理、世代間交流等の講座を実施し、婦人の家庭や地域における役割を考える。
	高齢者講座 (高齢者コース)	輝く老人(生きがいづくり)、体の健康、心の健康づくり、奉仕活動、レクリエーション、世代間交流等の講座を実施し、社会の一員としての自覚を促すとともに、高齢社会への対応を考える。
	ふるさと文化講座 (文化コース)	郷土芸能「じょうさ節」の保存、伝承を中心に、郷土理解を図り、明るく住みよい郷土づくりを考える。
	成人講座	家庭や地域の大黒柱である成人(中高年男子)を対象に成人大学を開設し、体の健康、料理教室、史跡探訪、参禅等の学習を通して、家庭・地域の活性化を図る。
	パソコン教室	パソコン初心者を対象とし、Word・Excelなどの基本的な使い方を学ぶ。また、インターネットの正しい使い方を学ぶ。
	スポーツ健康教室	軽スポーツ、ニュースポーツの実施を通してスポーツの浸透を図り、主体的な健康管理を促進する。
	えひめA I - 2	環境微生物「えひめA I - 2」による環境美化活動等、地域全体で取り組める事業を実施し、地域連帯感、郷土愛の醸成と青少年の健全育成を図る。
	イルミネーション ファンタジー	毎年、年末年始の数日間、垣生公民館の駐車場の木々を装飾する。12月23日にイルミネーション点灯式が行われ、来館者に豚汁を振る舞う。
	農業体験教室	休耕田を利用して小学生に田植え、稲刈り、芋掘りなどの体験実習を行う。
	校区納涼祭	花火大会、盆踊り、出店等を開き、校区住民の親睦を図る。
	校区史跡めぐり ウォーキング	昨年度、作製した校区文化財ウォーキングマップを利用して、子どもからお年寄りまでがウォーキングを楽しみながら交流を図る。
	垣生山遊歩道整備	地域をあげて校区のシンボルである垣生山の環境保持作業に努めることにより、愛着を深めてもらう。また、市民の方々に健康づくりや憩いの場として利用してもらうために遊歩道整備を行う。
	自主防災	防災組織力の向上を図るとともに、今後予想される災害に備えて、防災意識を高める。
子育て支援	子育て中の母親たちの交流の場を提供する。	
校区内行事	校区文化祭・芸能祭、大運動会、納涼祭、敬老会、少年式、一日敬老の家、生き生きサロンなど。	

公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

公民館重点目標		家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で 住みよいまちづくりを目指す。								
		<table border="0"> <tr> <td>1 青少年の健全育成</td> <td>6 お茶の間懇談会の拡充・強化</td> </tr> <tr> <td>2 地域の安全と安心の推進</td> <td>7 自主防災組織づくりの拡充・強化</td> </tr> <tr> <td>3 地域福祉の拡充</td> <td>8 地域の環境美化の推進</td> </tr> <tr> <td>4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 スポーツの振興と健康づくりの推進</td> <td></td> </tr> </table>	1 青少年の健全育成	6 お茶の間懇談会の拡充・強化	2 地域の安全と安心の推進	7 自主防災組織づくりの拡充・強化	3 地域福祉の拡充	8 地域の環境美化の推進	4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援	
1 青少年の健全育成	6 お茶の間懇談会の拡充・強化									
2 地域の安全と安心の推進	7 自主防災組織づくりの拡充・強化									
3 地域福祉の拡充	8 地域の環境美化の推進									
4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援										
5 スポーツの振興と健康づくりの推進										
事業名		事業内容								
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト 推 進 事 業	婦 人 講 座	手芸教室・環境教室・健康教室・料理教室など、健康づくり、趣味や教養を高め、地域への関わりを深められるよう講座を実施。								
	高 齢 者 大 学	歴史教室・安全教室・健康教室・男性の料理教室・文化教室など、体と心共に健康であり、地域での生きがいづくりを図る。								
	乳 幼 児 期 家 庭 づ くり 教 室	防災教室・人権教室・三世代交流サマーレクリエーションなど、乳幼児を持つ父母のための情報交換の場を作り明るい家庭づくりを図る。								
	三 世 代 交 流 事 業	三世代交流おはよう体操・大凧づくり教室、軽スポーツ体験教室など、三世代交流を図り、古くからの伝統文化を継承する。								
	神 郷 夏 まつり 開 催 事 業	青少年の健全育成とふれあいのまちづくりを目標に、高齢者が幼児まで広く参加できる三世代交流の場として、地域の活性化に資するため、神郷夏まつりを実施する。								
	観 月 会	地域の方々との交流を目的とし実施する。郷土食ともいわれるいも炊きで季節感を味わう。								
	神郷まちづくり事業	熟議を重ね、住みよいまちづくりを目指し、問題を発掘し、解決に向けて地域全体で取り組む。								
校 区 内 行 事		大運動会・文化祭・芸能発表会・夏まつり・自治会対抗ソフトボール大会・自治会対抗レクバレーボール大会								
そ の 他 特 記 事 項		文化活動の推進・神郷史情保存会による神郷史情の普及を図る。								

公 民 館 事 業 計 画

多喜浜公民館

公民館重点目標		～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	青少年健全育成団体連絡協議会、スポーツ健康教室、婦人講座
	高齢者大学	防災教室、交通安全教室、人権・同和教育、軽スポーツ、演芸大会
	三世代交流事業	多喜浜焼教室、しめ縄作り、少年の日を祝う会
	大好き多喜浜夏祭り	地域の夏祭り開催
	塩田文化バンク	塩田ウォーク、塩を使ったレシピ研究、たきはま写真館
	環境講座	ゴミパトロール、環境活動、えひめA I - 2作成
	まちづくり講座	他校区との交流、塩田カルタ大会
放課後子ども教室推進事業	ボンデン広場（軽スポーツ、七夕教室、料理教室、宿泊体験教室、みかん狩り、もちつきなど）	
校区内行事	校区大運動会、夏祭り、校区文化祭、演芸大会	
その他特記事項	自治会対抗各種スポーツ大会、多喜浜塩田遺産を活かした諸活動	

公 民 館 事 業 計 画

大 島 公 民 館

公民館重点目標		～地域に根ざした公民館づくり～ 1 生涯学習の拠点として、学習の推進を図る 2 各種団体との連携と協調・課題の解決 3 潤いと生きがいのあるふるさとづくりの推進 4 奉仕活動の強化、快適で潤いのあるまちづくりの推進 5 人権・同和教育の学習
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教育講座	防災訓練・親子ものづくり教室・男性女性料理教室
	文化講座	木版画・絵手紙
	手芸講座	草木染め・ちぎり絵・ポーセラーツ・ビーズ教室
	島体験講座	白いもづくり、落づくり(佃煮づくり)体験
	とうど祭り	伝統文化の伝承と保存(念仏踊り・とうど祭り)
	ふれあい交流	異年齢体験交流サマーキャンプ
その他特記事項	市の無形民俗文化財となっている『とうど祭り』や、古来より伝わっている『念仏踊り』の保存と継承	

公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標		<p>～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 再発見事業 2 住民が総参加の事業展開 3 まちづくりの醸成
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	泉川ふるさと塾	不特定多数の人を対象にした講座は、多くの地域の住民の皆に参加して頂き、地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや地域の課題解決に向けたものとする。
	なんでも楽習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって…夜出かけるのはちょっと…近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに…等々、自治会館での学習の機会を開設する。
	子どもまつり	まちづくりの中心に子どもを位置づけるために、子どもたちの活躍する場を設けた地域の大人とのコミュニケーションを図る事業を行うことによって、「子どもは地域の宝」であることを実施する。
	シニアネット事業	地域の老人会・婦人会等々の人の輪を広げるためにネットワーク化を確立し、知識と知恵を広げ、地域内の人材の掘り起こしなどを行うことによって、地域住民総参加の地域づくりを目指す。
	公民館まつり	昨年度の検証を行い、まちづくり協議会、公民館利用グループ・サークルの発表会、児童・生徒の作品展示、その他、各種バザーなどを実施し、地域住民総参加の公民館まつりを目指す。
	家庭教育セミナー	幼・保・小・中学校等の保護者を対象とした家庭教育セミナーを開催する。幼と保、保と小(低学年)、小(高学年)と中、それぞれ区分をし、発達段階に応じたテーマを設定し、講演とディスカッションを行う。
	「防災」の時、どうする？	地域を対象とした防災意識を養うために避難訓練、防災訓練を実施する。また子どもを対象にした通学合宿(4泊5日)の際に1日を利用して、食事など生活一般の中で防災意識を養う防災宿泊研修を実施する。
	泉川感謝祭	金婚式該当者やその年にまちづくりで活躍された方、団体などを招聘し、讃える日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動へと繋げていく。
	グループ・サークルコミュニケーション事業	公民館利用者(グループ・サークル)に横の繋がりをつくるためのワークショップを行う。泉川のまちづくりに参加していただくための協議の場を設け、新たな事業を創設する。
	先進地研修とワークショップ	まちづくりのための先進地交流研修を行う中で、訪問や研修先としての受け入れなどを行い相乗効果を図る。また、実施した研修の検証をワークショップを行うなどして深めるものとする。
その他特記事項		泉川まちづくり協議会を中心とした花いっぱい運動、防災訓練、毎月第2日曜日「大好き泉川の日」の清掃ボランティアの実施、居場所づくりとして「大好き泉川っ子体操教室」の実施、その他校区内行事

公 民 館 事 業 計 画

中 萩 公 民 館

公民館重点目標		～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町日本一の中萩」	
		1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 人権・同和教育の推進 5 安心・安全な地域づくりの推進	
事業名		事業内容	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	学 ぶ	女 性 セ ミ ナ ー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動、青少年健全育成も視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
		高 齢 者 セ ミ ナ ー	軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化の継承、文化講座、地域への奉仕作業等を通じて高齢者の生きがいづくりを進める。
		文 化 講 座	篠笛教室、男女共同料理教室、門松づくり、親子料理教室
		ス ポ ー ツ 健 康 教 室	各種軽スポーツ
		ふ れ あ い セ ミ ナ ー	地元保育園、幼稚園、地域が一体となり、親と子がふれあい、ともに成長していけるような企画運営を図る。
	活 か す	萩っ子生き生き活動	子どもスポレク祭、あいさつ運動
		十 河 信 二 を 知 り 学 ぶ 活 動	十河信二についての講話等、十河信二の通学路を歩く会、十河信二展(写真・遺作品・図書等)等
	創 る	チ ャ レ ン ジ 事 業	地域に活力をもたらす様々なことにチャレンジしていく。
		次 世 代 リ ー ダ ー 養 成 講 座	地域の課題等を掘り出し、地域全体で解決していくために、リーダーとして活動する人材の育成を図る。
	校 区 内 行 事		校区運動会、ほたる祭り、校区文化祭

公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

公民館重点目標		～安全・安心して快適に暮らせるまちづくり～ 1 青少年の健全育成 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進 3 生涯学習の推進 4 人権・同和学習の推進 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	・家庭教育について
	健康講座	・男性健康料理教室 ・韓国料理教室 ・お菓子づくり教室
	環境講座	・グリーンカーテンをつくろう！ ・放射線について学ぼう
	伝統文化講座	・七夕かざり教室 ・盆踊り教室 ・昔の遊び教室 ・もちつき教室 ・七草がゆ教室 ・とうどまつり
	こども講座	・太陽エネルギーってすごい！ ・ビーズ教室 ・押し花教室
	趣味講座	・エコクラフト教室 ・ガラスアート教室 ・レカンフラワー教室
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	船木校区のシンボルである池田池の周囲一周を校区の住民を中心に2000人で囲んでラジオ体操をして手をつなごう大作戦。地域の大きな輪をつくる。
	池田池をわたる風とマンドリン	池田池公園中の島広場野外ステージで「池田池をわたる風とマンドリン14」を開催し、地域文化の向上と地域交流を図る。
地域づくり講座	校区の子どもたちが将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、先進地研修やワークショップ・熟議を開催し、地域づくりをみんなで考える。 ・防災活動	
校区内行事	・住民大運動会・池田池菖蒲まつり・夏まつり・長寿大運動会・芸能祭 ・文化祭・校区成人式・校区マラソン大会・校区徒歩探訪会	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標		～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成・発掘を図る 2 自然という地域資源を活かした特色ある事業の推進 3 放課後子ども教室推進事業への取組 4 自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	お笑い講座、カローリング・吹矢大会
	くらしのセミナー	陶芸教室、男の料理、手芸教室、篠笛演奏会等
	育ちのセミナー	体操教室、浴衣着つけ教室、ピザ焼き等
	郷土の歴史と文化	他校区の史跡巡り、講演、歴史ロマン探訪
	スポーツ健康教室	ペタンク、スマイルボウリング等
	三世代交流事業	たのも団子作り、しめ縄作り、七草がゆ、昔の遊び、ふれあいの集い
	うずい教室	放課後児童クラブに通う児童を対象に、昔あそび、科学実験、自然体験などの事業を地域の協力を図りながら行う。
	大野山プロジェクト	マス釣り大会、ほたる祭り、ウォークラリー
	自主防災組織の強化	大生院自主防災組織を再構築し、各団体の連携を図るとともに防災の視点から地域を考える機会をつくる。
	地域活性化プロジェクト	地産地消の食材を生かした活用法を研究・模索し、それを地域活性化に生かす。
放課後子ども教室推進事業	お化け屋敷、木工教室、針金細工、音楽鑑賞、パン教室 等	
校区内行事	校区町民運動会、校区文化祭	
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

公民館重点目標		～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～ 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり 5 三世代交流や人自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	合同セミナー (三世代交流)	開講式記念講演、角野ウォークラリー、おはようラジオ体操(3回)、三世代もちつき大会、しめ縄作り、七草がゆ、閉講式記念講演
	手作りセミナー	エコクラフトバック、ゆかた着付け教室、ケーキサレ、ブリザードフラワー、抹茶を楽しもう
	いき生き 生活セミナー	吹き矢大会、人生のエンディング(3回講座)、季節の料理教室(3回講座)、生き生きコーラス、らくらくヨガ
	家庭教育セミナー	水を旅して、放射能・原子力を学ぶ(2回講座)、広瀬邸を訪ねて、リベンジ別子銅山峰を訪ねて、凧づくり
	スポーツ健康教室	スマイルボーリング他
	伝統文化プラン	ちびっこ相撲、角野校区に残る近代化産業遺産めぐり、地域探訪(3回講座)、近代化産業遺産講座、内宮神社の歴史2
	未来まちづくり プラン	環境緑化推進(3回講座)、すみの郷土館、角野の民話のお話会、防災、先進地研修
校区内行事		町民大運動会、すみの夏まつり、文化祭、芸能祭、地域清掃、とうどおくり
その他特記事項		

公 民 館 事 業 計 画

別子山公民館

公民館重点目標		～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～ 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る 3 人権・同和教育の推進 4 青少年の健全育成を図る 5 世代間交流の充実強化
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	レクバレーボール教室・バドミントン教室
	教養講座	民話教室
	まちづくり支援事業	生活環境支援研修
	ふれあい体験学習	出羽神楽公演会・独居高齢者配布用餅つき
	いきいきまちづくり	秋季大運動会、三世代交流敬老会
校区内行事		校区運動会、別子校区産業文化祭
その他特記事項		

青少年センター

重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

課 題

1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)の推進
- (2) 青少年善行表彰

2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 未成年者喫煙、飲酒防止の推進

5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) センターだよりの発行

6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等(支部長会)の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

施設状況

所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和37.11	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 403.68	m ² 403.68	33-4152	神野盛雄

地区別少年補導委員の状況

(平成24年4月1日現在)

地区別	補導委員数		
	男(人)	女(人)	計(人)
川西地区	36	23	59
川東地区	36	20	56
上部地区	47	27	74
計	119	70	189

生涯学習センター

重点目標

生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

重点事項

1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
- (2) 市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
- (3) 市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
- (4) 生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
- (3) 生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
- (3) 市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 対象別の指導者養成講座の開設を図る。
- (2) 生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

5 視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) 自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者の育成を図る。

施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物延面積(m ²)	電話	館長等氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	所長 藤田恭一

高齢者生きがい創造学園

重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

事業

1 講座の開設

概ね50歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

2 サークル活動

講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。

- (1) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (2) 各サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・図書のいずれかの委員会に属する。

4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m ²)	建物面積(m ²)	電話	園長氏名
上原二丁目8番1号	平成5.4.1	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	園長 新居健二

学 校 教 育 課

重点目標

基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成をめざし、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。

スローガン 愛情と信頼・深めよう 絆

最重要課題 いじめや不登校を生まない楽しい学校づくり

重点事項

※ 〈 〉は各種推進事業の実施事項

基本方針

1 開かれた学校づくりの推進

- (1) 児童生徒及び地域の実態や課題を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
※〈夢広がる学校づくり推進事業〉
- (2) 学校評価システムの改善を図るとともに、自己評価・学校関係者評価を実施し、家庭や地域の人々に説明責任を果たすと同時に理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりに努める。
※〈えひめ教育の日 11/1、学校へ行こうデー(日) 小学校 10/4・中学校 9/25、学校評価等の活用、グランドデザインの活用〉

2 教職員の資質と指導力の向上

- (1) 分かる楽しい授業の充実に努めるなど、実践的指導力と人間的魅力を備えた教職員となるよう、専門的・実践的な研修に努める。
- (2) 学校の教育目標の具現化を図るため、組織的・計画的な研修に努める。
- (3) 学習指導要領の理念に基づいた指導内容の充実に努める。

具体目標

1 確かな学力の定着と向上

- (1) 「全国学力・学習状況調査」の結果等を基に学力向上に係る検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。
- (2) 主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの資質や能力を育てるため、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努める。
- (3) 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
- (4) 基本的な学習習慣や学習規律を確立すると同時に、家庭学習の充実に努める。

2 生徒指導の徹底と健全育成

- (1) いじめ・不登校・非行については、全教職員が一致協力して早期発見、早期解決、また未然防止に全力を尽くす。 ※〈校内生徒指導委員会・不登校対策検討委員会の充実、不登校チェックシートの活用、小・中学校連携の実施〉
- (2) 小・中学校の連携を深め、各中学校区において義務教育9か年を見通したグランドデザインを構築し、実践する。
- (3) 教育相談を充実させ、児童生徒を多面的、総合的に理解する。
- (4) 家庭や地域社会及び関係機関（適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー、中1ギャップ対応非常勤講師等も含む。）との連携を密にし、開かれた生徒指導の推進に努める。
- (5) 基本的な生活習慣の徹底を図り、規範意識を育てることによって、積極的な生徒指導を推進する。
- (6) 「教育懇談会」「子ども会議」等の実施により、保護者・地域・市民への啓発を図る。

3 人権・同和教育の推進

- (1) 一人一人の教職員が、同和問題をはじめとする様々な人権問題解決の力を確立するための研修に努め、差別解消に取り組む児童生徒を育成する。
- (2) 学力・進路を保障する教育を実践する。
- (3) 小・中学校の連携を図りながら、計画的な人権・同和教育の推進を図る。
- (4) 仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (5) 家庭や地域等と連携し、「身元調査お断り運動」の推進を図る。

4 健康教育・安全教育の推進

- (1) 生涯を通じて、健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う。
※〈AED講習の実施：中学2年生全員〉
- (2) 学校安全に関する校内の体制を整備し、教職員一人一人の危機管理意識を高める。
- (3) 防犯に関する実践的な研修や訓練の充実に努める。 ※〈CAP講習の実施：小学4年生全学級〉
- (4) 交通安全に関する校内の指導体制を整備し、組織的・計画的な指導に努める。
- (5) 家庭や地域社会及び警察等との連携を深め、児童生徒の安全を守る「地域ぐるみの取組」に努める。
- (6) 防災教育を推進し、児童生徒の生きる力を育てる。 ※〈10時間以上の実施〉
- (7) 性教育、薬物乱用防止教育(禁煙教育を含む。)等の指導を充実し、児童生徒の健全育成に努める。
- (8) 食育の充実に努め、望ましい食習慣の形成に努める。 ※〈食農と健康に関する実践研究推進事業〉
- (9) 体育的活動の推進と運動の生活化を図ることにより、健康な心身を育てる。
※〈中学校スポーツトップアスリート事業〉
- (10) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を活用し、児童生徒の運動能力、体力等の向上に努める。

5 国際理解教育の推進

国際社会に主体的に対応できる能力や態度を育てる。 ※〈中学生海外派遣事業〉

6 環境教育の推進

環境と人間との関わりについて理解を深め、環境を大切にする意識や自ら行動する実践的な態度及び資質・能力を育てる。 ※〈学校版ISO、にいはま子ども環境サミットの開催〉

7 キャリア教育の充実

望ましい職業観・勤労観を育むとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、小・中の連携を図ったキャリア教育の充実に努める。 ※〈職場体験活動〉

8 福祉教育の充実

高齢者や障がいのある人、地域の人々との触れ合いを深め、互いに認め合い、共に生きていこうとする実践的な態度を育てる。

9 学校図書館の活用 ※〈学校図書館支援〉

- (1) 児童生徒の望ましい読書習慣を形成するため、創意工夫を生かした読書活動の充実に努める。
- (2) 学校図書館機能の充実に努め、児童生徒のより良い学習活動の糧となるよう努める。

10 情報教育の推進 ※〈教職員のパソコン整備〉

- (1) 全教員のICT活用能力を向上させ、授業への効果的な活用に努める。
※〈ICT活用推進リーダーの育成〉
- (2) 学校の情報公開を一層推進するため、学校のホームページを適時更新する。
- (3) 情報モラル教育の充実に努める。
- (4) 個人情報等の情報管理を的確に行う。

11 幼児教育の充実

- (1) 教育内容の充実と教員の資質の向上を図る。
- (2) 幼・保・小の連携を密にし、教育活動の充実に努める。

12 教育研究所の充実

- (1) 現職教育の充実に努め、確かな研究を推進する。
- (2) 教科・教科外研修会等の充実に努め、実践的研究を推進する。
- (3) 所員を中心として、時宜に応じた教育的課題について調査・研究を行う。
※〈「ふるさと学習」の推進〉

新居浜市教育研究所の概要

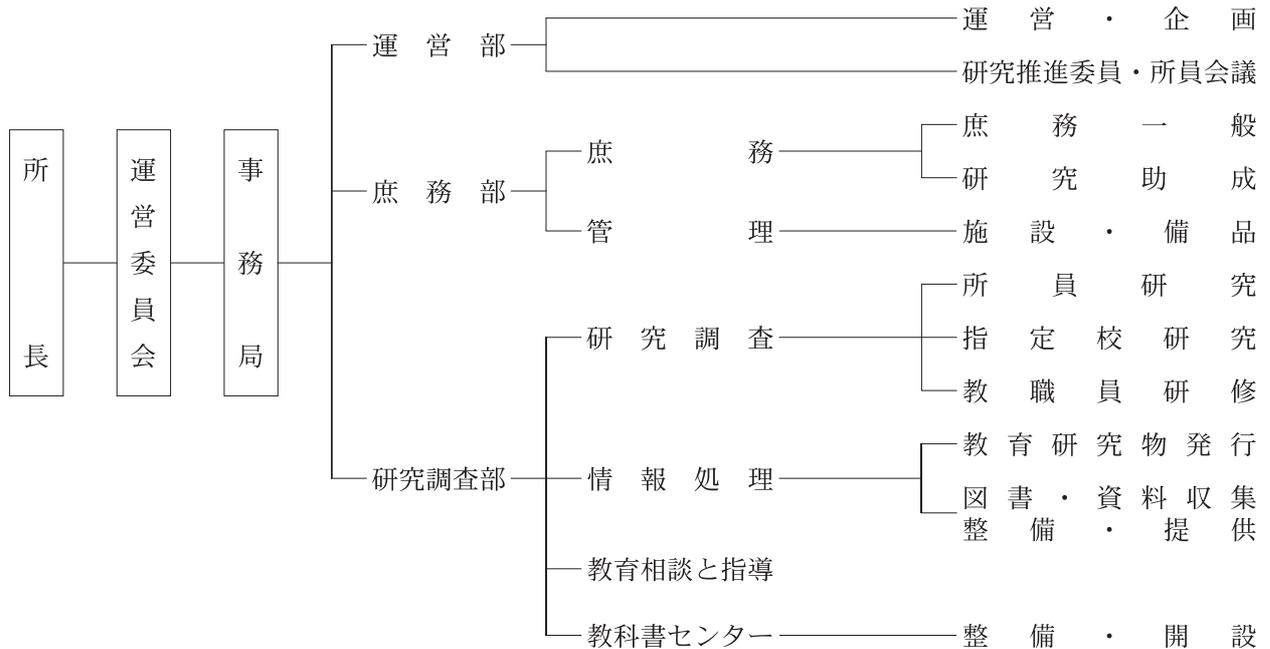
1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

平成22年度 第19期新居浜市教育研究所の発足

2 機構・組織



3 事業内容

(1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究

ア 研究所員による「テーマ研究」

イ 研究指定校との連携による「共同研究」

ウ 第19期新居浜市教育研究所

(2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有(データ)

ア 教育研究物の発行

- 3・4年生用社会科副読本
- 外国語活動自主教材
- 研究紀要
- 所報

イ 教育に関する調査と資料の作成

(3) 教育関係職員の研修

教科研修等

(4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営

ア 図書の整備、閲覧、貸出し

イ 各種資料の収集、整理、提供

ウ 教科書センターの整備と開設

4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年4月1日	昭和37年3月31日	第1期 第2期 科学技術教育研究会
河野 貫	昭和37年4月1日	昭和40年3月31日	第3期 授業分析の研究
岡田 信秋	昭和40年4月1日	昭和43年3月31日	第4期 授業分析の研究
尾崎健次郎	昭和43年4月1日	昭和46年3月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年4月1日	昭和48年3月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年4月1日	昭和52年3月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年4月1日	昭和56年3月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年4月1日	昭和58年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永井 弘	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久米 浩	昭和59年4月1日	昭和60年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年4月1日	昭和62年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮崎 弘	昭和62年4月1日	昭和63年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年4月1日	平成元年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡邊 健	平成元年4月1日	平成3年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮崎 弘	平成3年4月1日	平成5年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成5年4月1日	平成7年3月31日	第13期 子どもの可能性を拓く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成7年4月1日	平成9年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成9年4月1日	平成10年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成10年4月1日	平成11年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年4月1日	平成12年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年4月1日	平成14年3月31日	第15期 第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
藤本 博文	平成14年4月1日	平成16年3月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年4月1日	平成18年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年4月1日	平成19年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年4月1日	平成21年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本 司	平成21年4月1日	平成23年3月31日	第18期 第19期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 学力の向上を図る実践研究
坪本 道夫	平成23年4月1日		第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究

学校教育計画資料

1 研究指定校(発表校)・訪問指導校・研修会会場等予定校

小学校

学校名	内 容	指定年度
新居浜小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
宮西小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	新居浜市 ハートなんでも相談員設置事業	24
金子小学校	国指定 「魅力ある学校づくり」調査研究事業	24・25
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
金栄小学校	国指定 「魅力ある学校づくり」調査研究事業	24・25
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
高津小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
	国指定 いじめ対策総合推進事業	24
浮島小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	国指定 いじめ対策総合推進事業	24
惣開小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	新居浜市 ハートなんでも相談員設置事業	24
	県指定 幼・小関連訪問	24
	新居浜市 「食農と健康」実践研究推進事業	24
若宮小学校	新居浜市 「食農と健康」実践研究推進事業	24
	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
垣生小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	新居浜市 「食農と健康」実践研究推進事業	24
神郷小学校	県指定 学校力アップ実践研究事業(キャリア教育)	23・24
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
多喜浜小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
泉川小学校	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
	県指定 環境教育推進事業	23・24
	国指定 いじめ対策総合推進事業	24
船木小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	県指定 「森はともだち」推進事業	24・25
中萩小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	県指定 特別支援学級担任者等研修会・特別支援教育学校訪問	24
	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
大生院小学校	新居浜市 夢広がる学校づくり推進事業	24
	新居浜市 「食農と健康」実践研究推進事業	24
角野小学校	県指定 ハートなんでも相談員設置事業	24
	協会指定 N I E実践校	24・25

中学校

学 校 名	内 容		指定年度
東 中 学 校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	24
	国指定	いじめ対策総合推進事業	24
西 中 学 校	新居浜市	「食農と健康」実践研究推進事業	24
	新居浜市	学校保健研究大会	24
	県指定	人権・同和教育訪問	24
	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	24
南 中 学 校	国指定	「魅力ある学校づくり」調査研究事業	24・25
	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	24
北 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24
	県指定	義務教育課一般訪問	24
泉 川 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24
	国指定	いじめ対策総合推進事業	24
	県指定	2年目フォローアップ研修	24
船 木 中 学 校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	24
中 萩 中 学 校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	24
	県指定	免許外教科担任教員研修会	24
大 生 院 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24
	協会指定	金銭教育研究校	24・25
	新居浜市	夢広がる学校づくり推進事業	24
角 野 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24
	国指定	ジュニアスポーツ・フロンティアスクール支援事業	23・24
	県指定	授業のエキスパート養成事業	23・24
	県指定	2年目フォローアップ研修	24
川 東 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24
新 居 浜 市	国指定	不登校対策総合推進事業	24
	国指定	スクールソーシャルワーカー活用事業	24
	国指定	スクールカウンセラー等活用事業	24

2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
校区別人権・同和教育懇談会運営委員会											13(水)		
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 20(火)					小学校8校 中学校3校
愛媛県人権・同和教育研究大会								14(水)					松山市
四国地区人権教育研究大会				5(木) 6(金)									高知県
全国人権・同和教育研究大会									1(土) 2(日)				岡山県

平成24年度 児童・生徒・園児・教職員数

小学校

学校名	学年 性別	1			2			3			4		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	16	16	32	17	8	25	28	24	52	25	11	36
	学級数	1			1			2			1		
宮西小学校	児童数	19	24	43	22	22	44	23	17	40	18	27	45
	学級数	2			2			2			2		
金子小学校	児童数	67	48	115	56	47	103	60	60	120	65	64	129
	学級数	4			3			4			4		
金栄小学校	児童数	37	27	64	27	41	68	35	18	53	33	19	52
	学級数	2			2			2			2		
高津小学校	児童数	51	61	112	55	68	123	69	50	119	65	65	130
	学級数	4			4			4			4		
浮島小学校	児童数	6	5	11	6	11	17	15	11	26	5	6	11
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	20	29	49	28	22	50	25	26	51	29	30	59
	学級数	2			2			2			2		
若宮小学校	児童数	5	3	8	6	7	13	7	10	17	11	10	21
	学級数	1			1			1			1		
垣生小学校	児童数	25	22	47	27	14	41	30	23	53	24	16	40
	学級数	2			2			2			1		
神郷小学校	児童数	47	47	94	50	43	93	55	43	98	39	41	80
	学級数	3			3			3			2		
多喜浜小学校	児童数	14	13	27	14	17	31	16	15	31	17	19	36
	学級数	1			1			1			1		
大島小学校	児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	0			0			0			0		
泉川小学校	児童数	39	23	62	41	40	81	39	39	78	46	42	88
	学級数	2			3			3			3		
船木小学校	児童数	32	36	68	34	27	61	34	30	64	33	27	60
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	87	75	162	75	89	164	90	94	184	83	74	157
	学級数	5			5			6			5		
大生院小学校	児童数	17	22	39	16	22	38	21	17	38	12	25	37
	学級数	2			2			2			1		
角野小学校	児童数	49	52	101	61	57	118	54	59	113	55	53	108
	学級数	3			4			4			4		
別子小学校	児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学級数	0			0			0			0		
計	児童数	531	503	1,034	535	535	1,070	601	536	1,137	560	529	1,089
	学級数	37			38			41			36		

※ 大島小学校 …… 休校中
船木小学校 …… わかば分教室を含む。

(平成24年5月1日現在)

5			6			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
29	20	49	20	14	34	135	93	228	8	1	9	16	8
2			1			8							
24	30	54	29	25	54	135	145	280	12	2	14	21	10
2			2			12							
53	63	116	58	65	123	359	347	706	23	2	25	33	13
4			4			23							
37	32	69	25	22	47	194	159	353	12	1	13	19	9
2			2			12							
57	66	123	73	65	138	370	375	745	24	2	26	37	6
4			4			24							
13	12	25	9	6	15	54	51	105	6	3	9	14	9
1			1			6							
20	28	48	19	25	44	141	160	301	12	1	13	18	9
2			2			12							
6	4	10	11	9	20	46	43	89	6	1	7	13	6
1			1			6							
18	19	37	23	22	45	147	116	263	10	2	12	20	7
1			2			10							
48	51	99	55	58	113	294	283	577	18	2	20	27	11
3			4			18							
26	22	48	15	14	29	102	100	202	7	0	7	11	8
2			1			7							
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0			0			0							
36	45	81	46	42	88	247	231	478	16	2	18	27	12
2			3			16							
52	37	89	41	40	81	226	197	423	14	2	16	23	15
4			2			14							
102	85	187	93	83	176	530	500	1,030	32	4	36	50	23
6			5			32							
28	25	53	29	22	51	123	133	256	11	3	14	19	11
2			2			11							
53	51	104	51	64	115	323	336	659	22	2	24	33	11
3			4			22							
0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	1
1			0			1							
602	591	1,193	597	576	1,173	3,426	3,270	6,696	234	30	264	383	169
42			40			234							

中 学 校

学校名		学年 1			学年 2			学年 3	
		男	女	計	男	女	計	男	女
東 中 学 校	生徒数	68	57	125	78	53	131	67	64
	学級数	4			4			4	
西 中 学 校	生徒数	59	50	109	49	54	103	48	46
	学級数	3			3			3	
南 中 学 校	生徒数	70	93	163	83	64	147	94	77
	学級数	5			4			5	
北 中 学 校	生徒数	46	53	99	45	41	86	48	50
	学級数	3			3			3	
泉 川 中 学 校	生徒数	49	38	87	39	51	90	45	47
	学級数	3			3			3	
船 木 中 学 校	生徒数	31	37	68	35	36	71	38	38
	学級数	2			2			2	
船 木 中 学 校 ひびき分校	生徒数	0	1	1	3	0	3	10	3
	学級数	1			1			1	
中 萩 中 学 校	生徒数	87	98	185	96	98	194	89	92
	学級数	5			5			5	
大 生 院 中 学 校	生徒数	22	17	39	31	25	56	22	28
	学級数	1			2			2	
角 野 中 学 校	生徒数	57	57	114	60	50	110	42	49
	学級数	3			3			3	
川 東 中 学 校	生徒数	75	103	178	88	83	171	89	121
	学級数	5			5			6	
別 子 中 学 校	生徒数	0	0	0	0	0	0	2	1
	学級数	0			0			1	
計	生徒数	564	604	1,168	607	555	1,162	594	616
	学級数	35			35			38	

幼 稚 園

幼稚園名		年 齢 4 歳 児			年 齢 5 歳 児				
		男	女	計	男	女	計		
王 子 幼 稚 園	園児数	20	30	50	19	34	53		
	学級数	2			2				
神 郷 幼 稚 園	園児数	20	18	38	18	4	22		
	学級数	2			1				
計	園児数	40	48	88	37	38	75		
	学級数	4			3				

(平成24年5月1日現在)

計	計			学 級 数			教員数	職員数
	男	女	計	通常	特別支援	計		
131	213	174	387	12	2	14	29	3
	12							
94	156	150	306	9	2	11	23	3
	9							
171	247	234	481	14	1	15	30	3
	14							
98	139	144	283	9	1	10	21	3
	9							
92	133	136	269	9	2	11	29	5
	9							
76	104	111	215	6	1	7	17	3
	6							
13	13	4	17	3	0	3	8	1
	3							
181	272	288	560	15	2	17	33	3
	15							
50	75	70	145	5	1	6	19	3
	5							
91	159	156	315	9	2	11	22	3
	9							
210	252	307	559	16	2	18	33	5
	16							
3	2	1	3	1	0	1	5	1
	1							
1,210	1,765	1,775	3,540	108	16	124	269	36
	108							

(平成24年5月1日現在)

計	計			教 員 数
	男	女	計	
	39	64	103	6
	4			
	38	22	60	5
	3			
	77	86	163	11
	7			

学 校 等 一 覧

幼 稚 園

園 名	所 在 地	電 話 (FAX)	園 長 氏 名
王 子	王子町2番2号	32-4815 (32-4815)	高 橋 ひとみ
神 郷	郷三丁目8番16号	45-0170 (45-0170)	木 下 直 子
合		計	

小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目1番58号	37-3061 (37-3062)	青 木 時 和	菅 知 子
宮 西	宮西町5番56号	33-8940 (33-8941)	岡 野 弥 生	三 好 尊 史
金 子	久保田町一丁目3番57号	37-2221 (37-2302)	本 田 郁 代	岡 田 敏 樹
金 栄	西の土居町一丁目5番1号	37-2313 (37-2120)	鴻 上 隆 文	永 井 奈保子
高 津	宇高町二丁目13番7号	37-3754 (37-3854)	秦 博 文	岡 田 和 行
浮 島	八幡二丁目2番65号	33-1020 (33-1021)	西 原 勝 則	眞 鍋 増 雄
惣 開	王子町1番3号	37-3401 (37-3402)	片 岡 康次郎	高 橋 伸 也
若 宮	新田町一丁目8番56号	32-3987 (32-4887)	荒 井 正 隆	中 野 久
垣 生	垣生一丁目5番38号	45-0186 (45-0195)	日 野 優 子	渡 邊 健 児
神 郷	神郷一丁目1番1号	45-0082 (45-0493)	上 田 英 二	青 野 浩 之
多 喜 浜	多喜浜五丁目7番34号	45-0142 (45-0035)	眞 鍋 慶 子	高須賀 哲
大 島	大島甲589番地		休 校	
泉 川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	福 本 教 次	曾 我 亨
船 木	船木4299番地の1	41-6260 (41-6362)	栞 田 英 治	長 瀬 陽 子
わかば分教室	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町6番61号	41-6225 (41-6265)	菅 順 一	澤 井 哲 男
大 生 院	大生院1070番地の1	41-6627 (41-6694)	森 田 まゆみ	星 川 孝 徳
角 野	中筋町二丁目7番10号	43-7141 (43-7142)	小 野 健 治	加 藤 三香子
別 子	別子山甲358番地	64-2167 (64-2321)	一 色 明 繁	
合		計		

(平成24年5月1日現在)

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
6	—	1,237 ^{m²}	1,008 ^{m²}	1,130 ^{m²}	2,138 ^{m²}	185 ^{m²}	37 ^{m²}
4	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
10	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

(平成24年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
9	10	3,757 ^{m²}	10,990 ^{m²}	7,154 ^{m²}	18,144 ^{m²}	831 ^{m²}	375 ^{m²}
15	7	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
25	9	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
13	10	3,616	14,565	7,001	21,566	919	400
26	17	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
9	9	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
13	11	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
7	5	2,336	11,020	10,387	21,407	807	423
12	5	2,713	7,646	4,884	12,530	807	425
20	13	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	10	2,792	8,421	5,381	13,802	919	400
0	0	1,007	1,760	3,331	5,091	679	196
18	15	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
16	12	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
37	14	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	525
14	6	3,087	8,570	7,095	15,665	807	—
25	12	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
1	0	84	2,126	2,662	4,788	551	—
267	165	72,577	171,186	160,891	332,077	15,966	6,594

中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	中 津 博 子	森 正 男
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	神 野 康 一	河 原 英 司
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	浦 江 賢 治	高須賀 洋
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	本 宮 直 人	柿 本 正 雄
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	藤 田 裕 彦	神 野 剛
船 木	船木甲3754番地の1	41-6347 (41-6364)	伊 藤 彰 人	吉 岡 庸 夫
船 木 校 ひびき分校	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		小笠原 忠彦
中 萩	中萩町13番31号	43-5131 (43-5132)	畑 野 周 司	西 原 泰 介
大 生 院	大生院1070番地の2	41-6927 (41-6229)	横 井 敏 行	田 中 利 季
角 野	宮原町11番51号	43-6108 (43-6109)	秋 本 司	稻 見 武 仁
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	真 鍋 智 明	小 西 裕 久
別 子	別子山甲358番地	64-2115 (64-2321)	一 色 明 繁	中 村 慎 二
合 計				

(平成24年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内 運動場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
15	13	4,533	10,200	6,596	16,796	1,388	400
11	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
15	13	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
10	14	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
14	13	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
7	13	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
4	7	835	6,171	1,681	7,852	428	150
17	17	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
6	11	3,210	9,952	6,299	16,251	830	550
11	14	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
17	15	5,768	28,094	20,673	48,767	1,055	400
2	6	830	0	1,046	1,046	145	—
129	150	46,078	149,402	105,899	255,301	10,838	4,325

通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（1番から9番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（1番から3番まで、5番30号から39号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（1番から3番まで、5番、6番、8番から17番まで）、北新町（1番、2番、4番、5番）、城下町（1番から6番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（1番から7番まで、9番から17番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10番、11番）、庄内町四丁目（4番、5番（金子小学校の区域を除く。）、6番、7番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（1番地から30番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（1番から9番まで、12番、13番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（1番から8番まで）、松の木町（1番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（1番、7番）、郷五丁目（2番）、高田二丁目（1番、6番）、田の上四丁目（6番から9番まで）
浮 島	松の木町（2番から13番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10番、11番、14番、15番）、垣生六丁目（1番、15番）、八幡一丁目（9番から21番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（1番、4番4号から18号まで・36号・40号・43号、5番から8番まで、9番3号・39号から54号まで、10番38号から48号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（3番、6番から13番まで）、西の土居町二丁目（8番）、磯浦町（1番）、江口町（4番、7番、18番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）
若 宮	惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、磯浦町（2番から19番まで）、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（2番から14番まで）、八幡一丁目（1番から8番まで）、八幡三丁目（2番、3番、4番（浮島小学校の区域を除く。）、9番（浮島小学校の区域を除く。）、10番（浮島小学校の区域を除く。）、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（2番から6番まで、8番から16番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（1番、3番から9番まで）、東雲町三丁目（9番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（2番から5番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（1番から5番まで、10番から12番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（1番、3番、4番33号から46号まで・60号から62号まで・65号・66号・5番から8番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（8番1号から16号まで・56号から89号まで）、多喜浜四丁目（8番1号から11号まで・28号から53号まで、9番、10番）、多喜浜五丁目（10番1号から8号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（2番、4番（神郷小学校の区域を除く。）、多喜浜一丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、9番、10番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜五丁目（1番から9番まで、10番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島

小学校名	通 学 区 域
大 島	大島
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1番から15番まで）、中村三丁目（3番から11番まで）、中村四丁目（3番から9番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（2番、3番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味地）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（1番、2番）、中村四丁目（1番、2番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（1番、4番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味地を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、若宮小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2番18号から42号まで・100号から末号まで、3番から5番まで、6番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、大島小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。)
別 子	別子小学校区

園児・児童・生徒数の推移（平成19～28年度）

（毎年度5月1日現在）

学校 \ 年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
新居浜小学校	287	290	263	264	250	228	(見込)234	(見込)218	(見込)219	(見込)199
宮西小学校	301	307	311	298	297	280	274	257	268	274
金子小学校	766	753	751	740	721	706	686	707	703	718
金栄小学校	267	294	304	328	345	353	355	350	368	386
高津小学校	732	733	764	751	757	745	710	697	656	632
浮島小学校	108	110	115	121	111	105	124	142	172	183
惣開小学校	378	363	332	328	320	301	303	300	286	280
若宮小学校	86	88	94	102	95	89	83	84	79	70
垣生小学校	263	259	258	260	267	263	261	255	260	261
神郷小学校	619	633	618	584	561	577	538	534	533	522
多喜浜小学校	235	245	243	215	221	202	207	190	194	189
大島小学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泉川小学校	548	546	528	511	494	478	474	505	523	545
船木小学校	438	454	455	439	431	423	390	371	369	370
中萩小学校	1,093	1,096	1,060	1,071	1,061	1,030	1,017	1,007	1,034	1,021
大生院小学校	304	300	284	275	255	256	237	214	202	188
角野小学校	669	658	643	665	672	659	644	648	649	638
別子小学校	4	7	5	2	2	1	2	2	2	2
小学校計	7,100	7,136	7,028	6,954	6,860	6,696	6,539	6,481	6,517	6,478
東中学校	411	407	405	395	379	387	389	374	375	358
西中学校	303	309	315	302	314	306	275	236	210	222
南中学校	392	403	417	459	462	481	470	500	512	514
北中学校	262	253	244	263	272	283	280	296	282	286
泉川中学校	286	260	254	255	265	269	271	270	268	251
船木中学校	192	191	201	210	209	215	200	215	207	207
船木中学校ひびき分校	7	15	10	14	18	17	4	1	0	0
中萩中学校	531	531	571	575	589	560	575	585	569	574
大生院中学校	163	172	168	154	151	145	134	118	109	97
角野中学校	333	333	353	325	334	315	335	323	317	322
川東中学校	516	509	525	551	562	559	552	600	594	605
別子中学校	2	0	2	5	5	3	0	1	1	1
中学校計	3,398	3,383	3,465	3,508	3,560	3,540	3,485	3,519	3,444	3,437
王子幼稚園	161	164	123	121	109	103	—	—	—	—
神郷幼稚園	63	57	52	55	52	60	—	—	—	—
幼稚園計	224	221	175	176	161	163	—	—	—	—

中学校卒業者の進路状況

() 卒業者に対する百分率

区分 年度	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家 事 手 伝 等
			県 内	県 外	総 数		
23	1,194	1,166 (97.7)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	0 (0.0)	13 (1.1)
22	1,123	1,096 (97.6)	12 (1.1)	0 (0.0)	12 (1.1)	3 (0.3)	12 (1.1)
21	1,163	1,121 (96.4)	24 (2.1)	0 (0.0)	24 (2.1)	2 (0.2)	16 (1.4)
20	1,093	1,067 (97.6)	11 (1.0)	0 (0.0)	11 (1.0)	1 (0.1)	14 (1.3)
19	1,131	1,101 (97.3)	15 (1.3)	0 (0.0)	15 (1.3)	1 (0.1)	14 (1.2)
18	1,138	1,101 (96.7)	16 (1.4)	0 (0.0)	16 (1.4)	3 (0.3)	18 (1.6)
17	1,139	1,106 (97.1)	13 (1.1)	0 (0.0)	13 (1.1)	2 (0.2)	18 (1.6)
16	1,231	1,194 (97.0)	5 (0.4)	0 (0.0)	5 (0.4)	2 (0.2)	30 (2.4)
15	1,274	1,235 (96.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	37 (2.9)
14	1,319	1,274 (96.6)	3 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.2)	0 (0.0)	42 (3.2)
13	1,376	1,321 (96.0)	2 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	1 (0.1)	52 (3.8)
12	1,410	1,362 (96.6)	4 (0.3)	1 (0.1)	5 (0.4)	1 (0.1)	42 (3.0)
11	1,469	1,429 (97.3)	9 (0.6)	0 (0.0)	9 (0.6)	1 (0.1)	30 (2.0)
10	1,473	1,428 (96.9)	5 (0.3)	0 (0.0)	5 (0.3)	0 (0.0)	40 (2.7)
9	1,511	1,452 (96.1)	21 (1.4)	1 (0.1)	22 (1.5)	4 (0.3)	33 (2.2)
8	1,516	1,455 (96.0)	5 (0.3)	1 (0.1)	6 (0.4)	2 (0.1)	53 (3.5)
7	1,599	1,550 (96.9)	8 (0.5)	1 (0.1)	9 (0.6)	1 (0.1)	39 (2.4)
6	1,710	1,664 (97.3)	13 (0.8)	0 (0.0)	13 (0.8)	1 (0.1)	32 (1.9)
5	1,805	1,744 (96.6)	19 (1.1)	2 (0.1)	21 (1.2)	0 (0.0)	40 (2.2)
4	1,881	1,819 (96.7)	20 (1.1)	3 (0.2)	23 (1.2)	2 (0.1)	37 (2.0)

(学校基本調査による)

発 達 支 援 課

重点目標

障がいや発達課題のある子どもが、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指す。

新居浜市の特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、乳幼児期から就労時期まで各ライフステージに対応する関係機関と連携し、子ども一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その能力を十分に伸ばし、生活上や学習上の困り感を軽減するために、一貫した支援や指導を包括的かつ継続的に実施またはコーディネートする。

最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援の推進

重点事項

I 特別支援教育の充実

1 特別支援教育を推進するための支援体制の充実と教育環境の整備

- (1) 適切な指導と必要な支援が行えるよう特別支援教育校内委員会の機能を高めるとともに、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図り、校内支援体制の充実に努める。
- (2) 巡回相談を年間計画に位置づけたり定期的に支援会議を開いたりして、教育的ニーズに応じた支援を効果的に行う。また、特別支援学校のセンター的機能等を積極的に活用する。
- (3) 多様な教育的ニーズに対応するために、各種研修会や講演会等に積極的に参加し、また校内研修を充実させて教職員の資質・能力の向上を図る。

2 学校・家庭・地域・関係機関の連携による特別支援教育の充実

- (1) あらゆる機会を通して、特別支援教育に対する理解啓発に努める。
- (2) 発達支援課等と連携し、長期的な視点で適切な指導と必要な支援を行うために、「個別の教育支援計画」(サポートファイル「にっこ・にこ」)を作成するとともに積極的に活用する。
- (3) 家庭や地域社会との連携を深めるとともに、学校相互の連携や交流を図ることに努める。また、特別支援学級と通常の学級双方の児童生徒の教育的ニーズを充分把握し、特別支援学級の弾力的運用等の校内協力体制を構築し、交流及び共同学習を積極的に推進する。

3 一人一人の障がいの状態や発達の段階等、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- (1) 児童生徒の障がいの状態等に応じたきめ細やかな指導・支援を行うために、創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に努める。
- (2) 授業形態や集団の構成の工夫、それぞれの教師の専門性を生かした協力的な指導などにより、効果的な学習活動の展開に努める。
- (3) 一人一人の実態を的確に把握し、「個別の指導計画」を作成、積極的に活用することにより、個に応じた指導・支援の充実に努める。
- (4) 児童生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択できるようキャリア教育の充実に努める。

II 発達支援の推進

1 関係機関の連携による継続した支援

発達支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働、地域の各関係機関を構成メンバーとする地域発達支援協議会において、関係機関相互の効果的なネットワーク方策と総合的な支援システムの構築を図る。

2 早期発見、早期支援体制の充実

(1) 乳幼児健康診査時における障がいや発達課題の早期発見のためのスクリーニング強化方策(M-C HAT)の導入とフォローアップの充実など就学前の早期発見体制の強化を図る。

(2) 個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業(親子通園事業)の運営を充実し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導、療育を行い早期療育体制の強化を図る。

(3) 専門研修等を通じて保健師、保育士、指導員、教職員等関係職員の専門性の向上を図り、早期発見、支援体制の充実と人材育成を図る。

3 相談支援体制の充実

(1) 心理専門家等による保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校での巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもの早期発見、早期対応及び継続支援の充実を図る。

(2) 障がいや発達課題のある子どもだけでなく、その兄弟姉妹や家族に対しても適切な情報の提供と相談や助言など必要な支援を行うため、実効性のある相談支援体制の整備を図る。

4 個別の支援計画(サポートファイル)の作成、活用

多様な関係機関からの支援を総合的に調整していくためのツールとして、保護者と協働で個別の支援計画、個別の教育支援計画を作成し、効果的な運用と定期的な見直し、確実な引き継ぎを実施する。

5 ボランティア、地域との連携

住み慣れた身近な地域で療育やサービスが受けられるように、地域で様々な活動を行っている親の会や子育てサークル、NPOなどに対して必要な支援を行い地域資源の充実を図る。

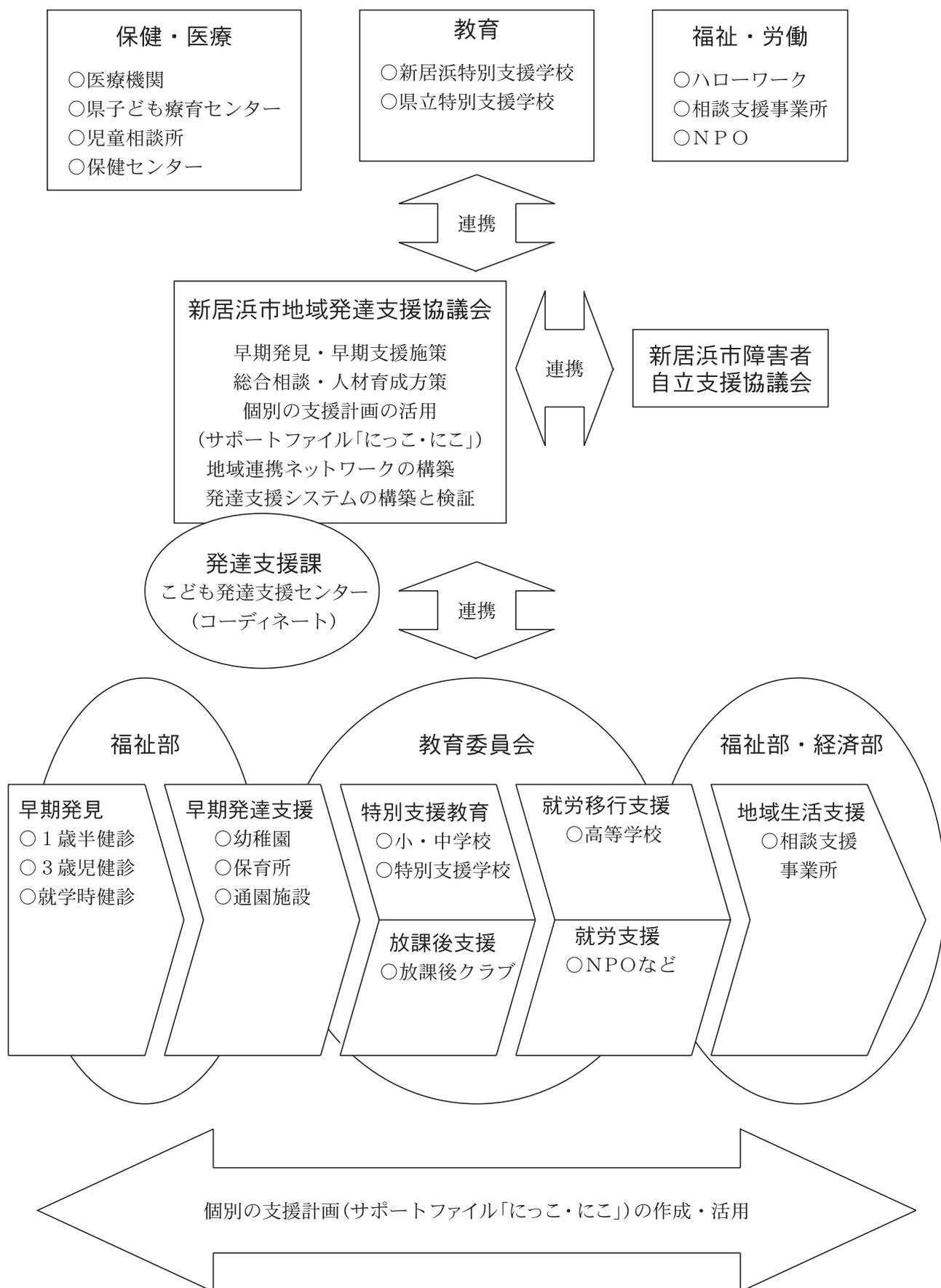
6 専門的知識を有する人材の確保

障がいや発達課題の子どもたちへの適切な支援を確保していくために、医療、保健、福祉、教育、労働等の分野において、専門的知識を有する人材の確保に向けた取り組みを進める。

7 障がいに対する啓発の推進

発達障がいなどに対する理解を深めるとともに、障がい者が生き生きと安心して生活できる地域づくりを目指して広報、講演会や研修会など普及、啓発活動を積極的に行う。

発達支援システムイメージ図



学 校 給 食 課

重点目標

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

重点事項

- 1 食中毒予防対策の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。
- 2 学校給食設備・備品の整備充実に努める。
- 3 適正な物資の調達に努める。
- 4 地域農産物の活用に努める。
- 5 学校・家庭・地域が連携し、食生活の改善を図るとともに食文化の継承等に努める。
- 6 心のふれ合う楽しい学校給食の展開に努める。
- 7 学校の教育活動全体を通して、実践的・総合的な食に関する指導に努める。
 - ア 発達段階に即した指導
 - イ 個人に応じた指導（アレルギーに対応した給食等）
 - ウ 献立を通じた指導
 - エ 多様な経験ができる指導
- 8 学校給食施設の老朽化への対応を検討する。

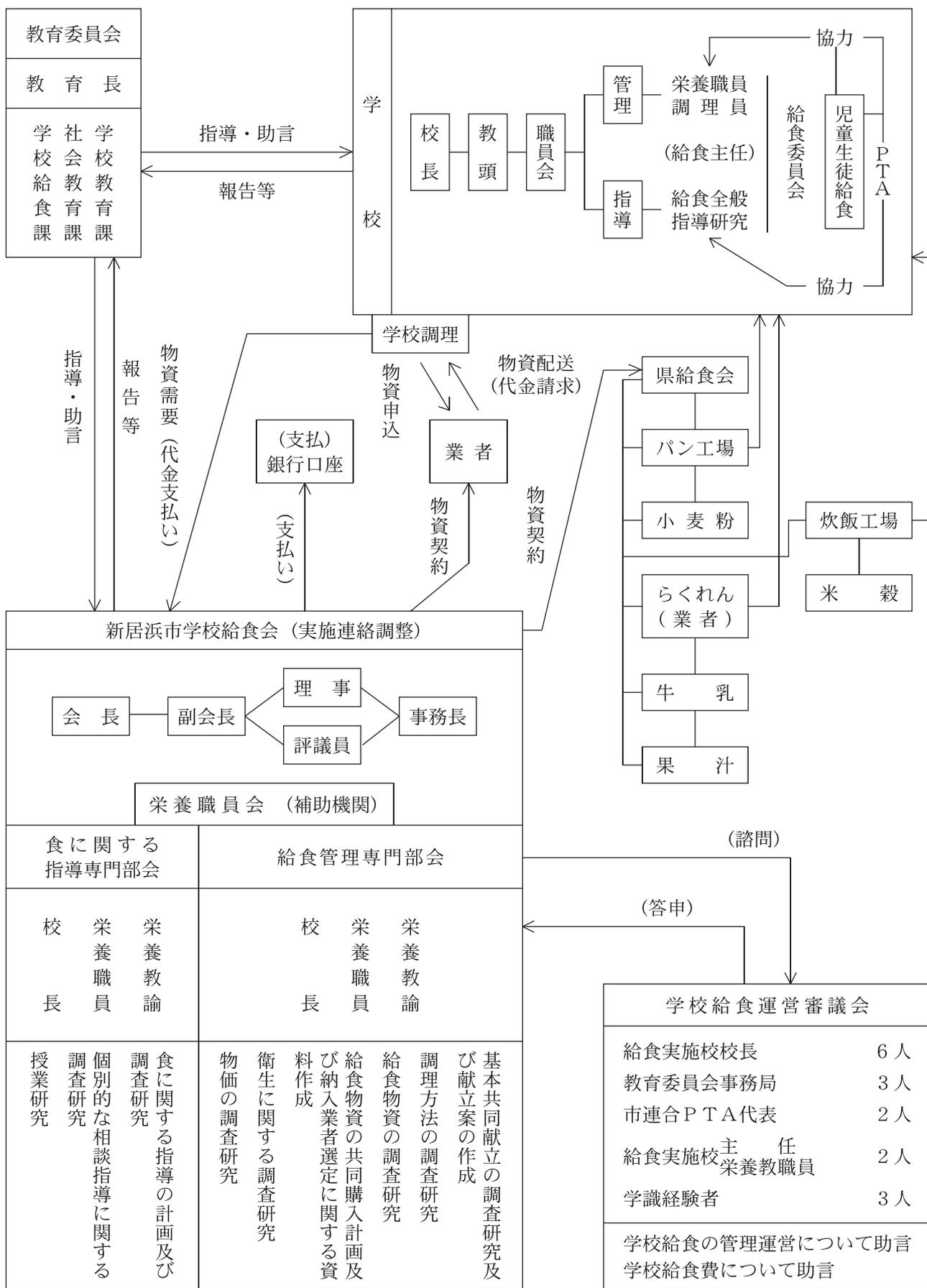
施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町12番38号	平成 13. 3	鉄骨造2階建 外	4,597m ²	(本体) 2,232m ² (その他) 84m ²	31-7470	伊藤繁次郎
高津共同調理場	宇高町二丁目 13番7号	昭和 57. 2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建 外 (平成10.8 増築)	—	(本体) 260m ² (その他) 12m ²	37-3797	伊藤孝嗣

※ 小学校給食室省略

[対象校] 学校給食センター 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中
愛媛県立新居浜特別支援学校・泉川小(米飯のみ)
高津共同調理場 高津小学校・東中学校

学校給食運営組織図



新居浜市学校給食の推移

年度	給食の形態		1食当たりの給食費(円)	献立等	購入	
	ミルク給食	還元牛乳				完全給食
S22	市内全小学校					
23～			小1校			
25			小2校			
26～			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案	
33			小7校		市教委栄養職員指導	
34			小8校		各校へ栄養職員配置	↓
35			小12校			準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
36	↓		小13校	↓		
37～		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		
40				↓		↓
41～				40	準共同献立	(卵追加)
43				46	完全共同献立	
44			↓	↓		完全共同購入
45		↓	小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳	↓	65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49～				130	11月栄養職員県費切替	
51		↓		150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器	金子、船木			
53			改築(小学校) 泉川、垣生	↓		
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜	↓	2学期から米飯週2回実施	
56～			高津	180	全校へおはし導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース 5, 6, 7, 9月実施	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61～			新居浜			
H1				↓	学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化 事業モデル校(大生院小)	
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)	
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)	
5				↓	”	
6～				小220 中260		
10			↓		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14			↓			
15			小18校・中11校			
16						
17						
18						
19						
20				↓		
21				21.9～ 小240 中280		
22						
23		↓	↓	↓	地元産米を地元業者納入	↓

※ 平成20年度～大島小学校 休校

ス ポ ー ツ 文 化 課

重点目標

1 体育・スポーツ活動の推進・充実

すべての市民が親しめる社会体育の推進と競技スポーツの振興を図り、「健康でスポーツの盛んなまち」づくりを目指す。

2 芸術・文化活動の推進・充実

地域の芸能・文化活動をより一層発展させるため、市民の自主的な参画を促進し、すそ野の拡大と質の向上を図る。

主要事業

1 市民体育・スポーツ振興

- (1) 市民体育スポーツの振興と社会教育団体等の組織の充実を図るため、市体育協会等の団体を支援する。
- (2) スポーツ関係指導者の資質の向上と育成を図るため、講習会、研修会を開催する。
- (3) 競技スポーツ振興の基盤となる青少年のスポーツ活動の促進を図るための各種スポーツ教室・スポーツ大会を実施する。
- (4) 各種スポーツ大会への選手派遣の助成を行う。

【主な年行事】

市民体育祭

少年スポーツ大会

スポーツ指導者講習会

2 芸術文化活動の奨励

- (1) 地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図るための発表・展覧会を実施する。
- (2) 文化協会その他のグループ・サークルの活動の促進を図るため芸術文化事業を支援する。
- (3) 中央の優れた芸術鑑賞、機会の拡充を図るため、公演会を開催する。

【主な年行事】

にいほま春の市民文化祭

秋の芸術祭

市美術展覧会

3 文化財の保存活用

- (1) 市民の文化財に対する理解と認識を深めるため、文化財・史跡めぐり等を開催する。
- (2) 文化財の調査研究記録・遺跡台帳の整備を図るため、文化財パトロール、現地調査を実施する。
- (3) 公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書を作成する。

【主な年行事】

文化財めぐり

4 総合文化施設建設の推進

- (1) 資金の確保
文化振興基金の計画的管理

5 総合体育施設建設の推進

- (1) 資金の確保
体育施設建設基金の計画的蓄積

課 題

- 1 体育・文化施設の老朽化への対応
- 2 体育・文化施設の借地解消
- 3 総合型地域スポーツクラブの構築
- 4 愛媛国民体育大会に向けた国体種目の育成・強化

体 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 4,863	m ² 6,163	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合 体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 5,358	m ² 3,252	43-2905	"
多喜浜 体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 1,953	m ² 1,179	46-2466	"
東雲 市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	m ² 10,744	524m ² 水面積 2,840m ²	32-3595	"
山根公園 屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	m ² 7,400	1,527m ² 水面積 395.5m ²	43-1411	"
別子山 市民プール	別子山甲 335番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	m ² 1,430	m ² 200		別子校区 連合自治会
市営 野球場	新須賀町三丁目 2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 15,269	m ² 4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 14. 10	木造瓦葺平家建	m ² 2,362	m ² 584		"
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	m ² 546	m ² 103		"
重量 練習場	徳常町4番6号	昭和 61. 2	鉄骨造平家建	m ² 297	m ² 228		"
文化 振興 会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 456	m ² 993	36-0800	"
山根市民 グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			m ² 13,403			"
別子山市民 グラウンド	別子山乙 304番地の8	昭和 57. 3		m ² 1,470			新居浜市
市民 テニスコート	庄内町二丁目地先	昭和 59. 10	軟式6面	m ² 6,600	80m ² コート 4,314m ²	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	セミアンツーカー 硬式4面	m ² 4,400	コート 2,885m ²	"	"
		昭和 57. 3	全天候性ウレタンコー ト硬式4面	m ² 4,000	コート 2,885m ²	"	"
山根公園 テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝生6面 練習コート3面(壁打)	m ² 5,117	317m ² コート 5,117m ²	43-2151	"
東雲 競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	m ² 13,000	m ² 70		"
市営 サッカー場	観音原町乙 109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建)	m ² 22,220	m ² 168	66-2522	"

教 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
銅山の里 自然の家	立川町654番地の3	昭和 63. 7	木造コロニアル葺 2階建外	m ² 17,050	m ² 1,446	32-1300	文化体育 振興事業団

文化施設一覽表

名 称	市 民 文 化 セ ン タ ー	管理者	文化体育振興事業団
所 在 地	繁本町8番65号 ☎ 33-2180		
敷 地 面 積	18,337 m ²		
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階	
建 物 面 積	3,713 m ²	2,166 m ²	
延 床 面 積	5,064 m ²	4,620 m ²	
ホ ー ル	大ホール (1,181席)	中ホール (固定486席 車いす席3)	
会 議 室		洋室10、和室2	
教 室		料理・茶華各1、視聴覚1	
プラネタリウム		プラネタリウム室 (72席)	
展 示		展示室1	
そ の 他	老人社交室	相談室、保育室	
駐 車 場	駐車可能台数 170 台		
工 事 費	3億5,000万円	5億4,400万円	
完 成	昭和37年11月3日	昭和49年8月9日	
改 修	【工 期】 昭和61年12月18日 ～ 昭和62年4月25日 【工 事 費】 4億500万円 【工事概要】 せり舞台を新設 (約100m ²) 舞台天井・側面に音響反射板 の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置		
名 称	別 子 山 ふ る さ と 館	管理者	別子校区連合自治会
所 在 地	別子山甲345番地 ☎ 64-2305	完成年月日	H2.7.31
施 設 内 容 等	資料館 1階 86.64 m ² 2階 146.87 m ² 管理棟 2階 127.17 m ² 展示 銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係		

国 指 定 文 化 財 (5)

(H 24. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
旧広瀬家住宅	建 造 物	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	H15. 5. 30
太刀銘守次革包太刀拵	工 芸		個 人 蔵	S 30. 2. 2
太刀銘行秀	工 芸		個 人 蔵	S 30. 6. 22
剣銘国永	工 芸		個 人 蔵	S 31. 6. 28
一宮神社のクスノキ群	天然記念物	一宮町一丁目 3 番 1 号	一 宮 神 社	S 26. 6. 9

県 指 定 文 化 財 (15)

(H 24. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
経堂「大転輪蔵」	建 造 物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 45. 3. 27
木造薬師如来坐像	彫 刻	高木町 3 番 21 号	河 内 寺	S 54. 9. 14
太刀銘国継	工 芸		個 人 蔵	S 30. 11. 4
短刀銘井上真改延宝三年八月日	工 芸		個 人 蔵	S 34. 3. 31
太刀無銘	工 芸		個 人 蔵	S 39. 3. 27
銅銭承和昌宝	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
金銅密教法具	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
太刀銘正恒	工 芸		個 人 蔵	S 43. 3. 8
金子山古墳出土品	考 古 資 料	西の土居町二丁目 16 番 47 号	慈 眼 寺	S 63. 4. 19
別子銅山口屋跡	史 跡	西町 6 番 2 号	新 居 浜 市	S 24. 9. 17
別子ライン	名 勝	立川山、大永山	新 居 浜 市	S 30. 11. 4
広瀬公園	名 勝	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	S 43. 3. 8
瑞応寺のイチョウ	天然記念物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 31. 11. 3
赤石山の高山植物	天然記念物	赤石山系	新 居 浜 市 新 四 国 中 央 市	S 32. 12. 14
久貢山のソテツ	天然記念物	多喜浜六丁目 4 番 55 号	天 野 市 三	S 32. 12. 14

市 指 定 文 化 財 (72)

(H 24. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
大元神社本殿	建 造 物	大島字宮山	大 島 八 幡 神 社	S 52. 4. 7
金胎両界曼荼羅	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
弘法大師御影像	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
絵馬〔渡辺綱鬼女退治図〕	絵 画	新須賀町三丁目4番5号	堀 江 神 社	S 60. 10. 3
釈尊誕生仏	彫 刻	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
十二神将	彫 刻	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
木造聖観世音菩薩立像	彫 刻	萩生2635番地	萩 生 寺	S 52. 4. 7
随神	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
牛王宝印	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
蛙股	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
仏海上人作仏像	彫 刻	大島143番地	吉 祥 寺	S 53. 4. 6
木造阿弥陀如来立像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造大日如来坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造聖観音菩薩坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
宝篋印塔	石 造 美 術	郷四丁目	上 郷 自 治 会	S 52. 4. 7
狛犬	石 造 美 術	東田三丁目1229番地	東 台 神 社	S 52. 4. 7
太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	工 芸	一宮町一丁目3番1号	一 宮 神 社	S 40. 6. 3
仏舎利塔と舎利器	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
鉄鉢と二十五条麻袈裟	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
獅子王御太刀	工 芸	八幡二丁目4番69号	八 幡 神 社	S 52. 4. 7
孔雀文金銅磬	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
秘法三十二箇巻	古 文 書	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
白石家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
野田家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
銭がめと古銭	考 古 資 料		個 人 蔵	S 52. 4. 7
古宮経塚出土「経筒」	考 古 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
西条藩領地鳥瞰図屏風	歴 史 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
瓜生野御堂棟札	歴 史 資 料	別子山瓜生野	近 藤 利 枝	H 15. 11. 4
圓通寺棟札	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
石造地藏菩薩立像	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
とうどおくり	無形民俗文化財	大島	大 島 自 治 会	S 53. 4. 6
じょうさ節	無形民俗文化財	垣生	じょうさ節保存会	S 53. 4. 6
かぶと踊り	無形民俗文化財	船木	かぶと踊り保存会	H 16. 8. 5
五輪塔群	史 跡	西の土居町二丁目	西の土居自治会	S 40. 6. 3
大師泉縄文遺跡	史 跡	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S 52. 4. 7
唐津塚	史 跡	上原二丁目	新 居 浜 市	S 52. 4. 7
小山古墳	史 跡	垣生小山	太 子 堂	S 52. 4. 7
桧端住居跡	史 跡	船木4638番地の2	安 葉 誠 之 助	S 52. 4. 7
河内寺の塔礎石	史 跡	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
深尾権太輔の墓	史 跡	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
星原市	史 跡	星原町4番	矢 野 忠 俊	S 52. 4. 7
久貢屋敷	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S 53. 4. 6

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
天野喜四郎の墓	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S53. 4. 6
つづら淵	史 跡	若水町二丁目5番	つづら淵保存会	S53. 4. 6
金子城跡	史 跡	金子山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
横山古墳群	史 跡	中萩町13番	新 居 浜 市	S53. 4. 6
岡崎城跡	史 跡	上郷郷山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
金子山古墳	史 跡	金子15番地	慈 眼 寺	S58. 1. 6
三義民の碑	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
村上平兵衛の墓	史 跡	又野二丁目5番 阿弥陀堂	又 野 自 治 会	S60. 6. 6
高橋弥市左衛門の墓	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
高橋孫兵衛の墓	史 跡	宇高町二丁目1番52号 地藏堂	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
高橋孫兵衛屋敷跡地	史 跡	宇高町二丁目	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
金子備後守供養塔を中心とする墓	史 跡	西の土居町二丁目16番47号	慈 眼 寺	S60.12. 5
広瀬家墓所	史 跡	山田町217番地の1	新 居 浜 市	H16. 8. 5
銚子の滝	名 勝	大生院大野山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
樽の滝	名 勝	種子川山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
バクチノキの群生	天然記念物	大島字宮山	大 島 八 幡 神 社	S52. 4. 7
ミョウショウジザクラ	天然記念物	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S52. 4. 7
法泉寺のムクノキ	天然記念物	垣生四丁目9番12号	法 泉 寺	S52. 4. 7
大師泉のオオバタネツケバナ	天然記念物	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S52. 4. 7
ヤクシマツバキ	天然記念物	大生院大野山谷	曾 我 部 伊 与 一	S52. 4. 7
漣痕	天然記念物	荷内町2番5号	真 鍋 麻 直	S52. 4. 7
アッケシソウ	天然記念物	阿島二丁目14番1号	岡 田 秋 稔	S59. 7. 5
中央構造線小河谷断層	天然記念物	萩生1833番地～2960番地の1	伊 達 逸 司	S60. 1.10
宗像神社の参道と社叢	天然記念物	八雲町10番13号	宗 像 神 社	S60.11. 5
黒嶋神社のツバキ群生林	天然記念物	黒島779番地の1	黒 嶋 神 社	S60.12. 5
三島神社の社叢	天然記念物	船木甲5371番地	三 島 神 社	S60.12. 5
龍河神社の社叢	天然記念物	立川496番地の1.2.3 497番地の3	龍 河 神 社	S63. 5.12
保土野溪谷颯穴群	天然記念物	別子山保土野乙475番8地先ほか	国 土 交 通 省	H15.11. 4
オオモミジ	天然記念物	別子山乙551番地13	圓 通 寺	H15.11. 4
山城八幡神社社叢	天然記念物	別子山甲130番地	山 城 八 幡 神 社	H15.11. 4

登 録 有 形 文 化 財 (9)

(H24.4.1現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	登録年月日
住友化学工業愛媛工場歴史資料館	建 築 物	惣開町5番1号	住友化学株式会社	H13. 4. 24
武徳殿	建 築 物	徳常町4番6号	新 居 浜 市	H16. 3. 2
遠登志橋	土木構造物	立川町620番1地先	新 居 浜 市	H17.12.26
旧別子鉱山鉄道端出場橋(足谷川鉄橋)	土木構造物	立川町682番地先他	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8.25
旧別子鉱山鉄道端出場隧道	土木構造物	立川町682番地	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8.25
旧泉寿亭特別室棟	建 築 物	立川町707番3	(株)マイントピア別子	H21. 8.25
山根競技場観覧席	工 作 物	角野新田町三丁目2822番9	新 居 浜 市	H21. 8.25
旧山根製錬所煙突	工 作 物	角野新田町三丁目2822番1	新 居 浜 市	H21. 8.25
旧端出場水力発電所	建 築 物	立川町594番地	新 居 浜 市	H23. 1.26

郷 土 美 術 館

重点目標

見る・ふれる・創るを主題に鑑賞・創作活動を触発し、市民の文化意識の高揚と文化活動の振興を図る。

主要事業

1 文化遺産の顕現と伝承

- (1) 資料の収集
- (2) 資料の調査研究、図書充実
- (3) 資料の作成、補修
- (4) 資料の整理、保存
- (5) 学識者、協力員の確保

2 文化展等行事の実施

- (1) 常設展示の内容充実
- (2) 特別展の実施
- (3) 企画展の実施
- (4) 研究会・講習会の開催
- (5) 教室の開設
- (6) 一般展示への会場供与
- (7) 学校・公民館等への資料の貸出

施設状況

所在地	開設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
一宮町一丁目5番1号	昭和56.10	鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 1,472	m ² 2,466	33-1030	野口 憲一

資料の収集状況

(平成24年3月31日現在)

種別	人文科学資料					自然科学資料				その他の資料			合計
	美術	考古学	民俗	歴史	計	動物	植物	地学	計	図書	その他	計	
点数	933	7,584	2,423	2,067	13,007	11,491	2,213	1,285	14,989	568	542	1,110	29,106

平成24年度事業計画

(1) 常設展示

【人文科学資料】

歴史・民俗資料（むかしのくらし）

考古資料（石器・土器・瓦・郷土の出土品等）

木の玩具（世界のおもちゃ・日本のおもちゃ・郷土のおもちゃ）

太鼓台

【自然科学資料】

岩石・鉱物・鳥瞰模型地図・写真・パノラマ

(2) 主催展

- 第45回にいほま春の市民文化祭（美術の部） 4月14日（土）～ 4月26日（木）
- 〈特別企画展〉 ジブリのアニメ家 近藤勝也展 7月20日（金）～ 8月26日（日）
- 第62回新居浜市美術展覧会（秋の市展） 10月中旬～ 11月上旬予定
- 〈企画展〉 西原元展（仮称） 1月上旬予定
- 新居浜こども美術展 2月上旬～中旬予定
- 〈企画展〉 文化教室成果発表会 3月上旬予定

(3) 共催展

- 新居浜南高等学校美術書道展 7月27日（金）～ 7月29日（日）
- とっておきの新居浜ビュースポット展 9月下旬～ 10月上旬予定
- 第61回秋季県展新居浜移動展 11月中旬予定
- 第26回高齢者趣味の作品展 12月上旬予定
- 第37回東予地区高等学校美術・工芸・書道展 1月中旬予定

(4) 文化教室

- 書道教室（漢字部門） 毎月2回 年24回
- 書道教室（かな部門） 毎月2回 年24回
- 水墨画教室 毎月2回 年24回
- 銅アート教室 毎月2回 年24回
- 自然写真教室 毎月2回 年24回
- 新居浜市自然散歩の集い 年1回（5月下旬）
- 夏休み親子野外教室 年1回（夏休み期間中）

広瀬歴史記念館

重点目標

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

課 題

1 広瀬幸平と近代化遺産の顕彰と伝承

- (1) 資料の収集及び整理保存
- (2) 資料の調査研究と作成・補修
- (3) 関係機関との協調連携
- (4) 図書の実充
- (5) 学者、協力者の確保

2 企画展、行事の開催

- (1) 展示内容の充実（常設展示）
- (2) 特別企画展の実施（年1回）
- (3) 主催事業（研修会、講演）

3 市民へのPR活動

- (1) 文化協会等との連携
- (2) 学校や公民館等諸団体への活動
- (3) 各種のPR資料作成と配布

施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長等氏名
新居浜市 上原二丁目10番42号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.00	40-6333	特別顧問 末岡 照啓
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19	1,361.00	43-4667	館長 久葉 裕可
計			36,515.22	2,433.00		

平成24年度事業計画

1 特別企画展の開催

当館所蔵資料と、住友史料館など関連施設から借用した資料により特別企画展を開催する。また、特別企画展のテーマに合わせた記念講演会を開催する。

2 宰平翁セミナー(出前講座)の開催

「広瀬宰平と別子銅山の近代化」「重要文化財旧広瀬邸を訪ねる」

※ 対象は一般市民。新居浜市ホームページ、市政だより等でPRする。

3 その他

年報やパンフレットを作成し、PRする。

図 書 館

基本方針

生涯学習及び地域情報拠点として、図書館機能の充実に努める。

重点目標

市民の多様なニーズに応えるため、新鮮な資料・情報の提供、学習機会の提供、既存図書管理体制強化、さらなる子どもの読書推進事業の展開、計画的な図書館施設の改善を図り、「市民に役に立つ図書館」づくりを進める。

重点事項

- 1 市民の生涯学習活動の支援、推進と機会の提供
市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会の提供に努める。
- 2 郷土資料の保存と情報発信
郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。
- 3 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進
市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。
本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報の提供と調査研究を行う。
- 4 学校図書館支援の充実
学校図書館の本来の目的である「学校の教育課程の展開に寄与する」ために、学校図書館支援員を派遣し、学校図書館機能である「学習情報センター機能」「読書センター機能」「教材情報センター機能」の充実に努める。
- 5 図書館PR活動の充実
図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR活動の改善を図る。
- 6 移動図書館の利用促進
学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。
- 7 市民ボランティアの活動支援の推進
市民ボランティアへの活動支援や地域ボランティアの育成を図る。
- 8 資料の収集、除籍の計画的な実施
資料の有効活用を図るため、図書資料の収集、除籍の選定を迅速・計画的に行う。
- 9 施設の維持管理
計画的な図書館施設の改善を図る。

施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
市立別子銅山記念図書館(本館)	北新町10番1号	平成4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	m ² 16,534	m ² 3,072	32-1911	坂本睦美
角野分館	中筋町二丁目4番24号	昭和54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	m ² 200	m ² 162	41-6217	

蔵書冊数

(H24. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本 館				移動図書館		角 野 分 館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総 記	(290) 9,783	(40) 920	(69) 1,744	(27) 1,447	(9) 53	(25) 137	(13) 372	(10) 89	(7) 85	(490) 14,630
1 哲 学	(249) 10,579	(24) 495	(5) 114	(1) 102	(20) 105	(32) 157	(26) 216	(4) 52	(0) 2	(361) 11,822
2 歴 史	(458) 17,601	(109) 2,773	(102) 2,211	(23) 810	(48) 225	(145) 485	(55) 707	(49) 391	(2) 27	(991) 25,230
3 社 会	(745) 26,248	(118) 2,522	(112) 2,581	(36) 752	(34) 187	(26) 244	(43) 534	(24) 292	(4) 7	(1,142) 33,367
4 自 然	(570) 14,718	(224) 5,775	(37) 278	(16) 572	(42) 277	(92) 721	(48) 438	(103) 967	(0) 12	(1,132) 23,758
5 工 学	(703) 15,421	(83) 1,627	(44) 459	(40) 622	(100) 621	(16) 178	(69) 814	(41) 281	(0) 4	(1,096) 20,027
6 産 業	(142) 5,185	(36) 1,033	(27) 406	(6) 186	(12) 71	(10) 114	(11) 177	(10) 136	(1) 2	(255) 7,310
7 芸 術	(465) 21,556	(172) 3,855	(19) 380	(12) 229	(35) 321	(113) 930	(36) 646	(89) 615	(0) 4	(941) 28,536
8 語 学	(66) 3,128	(31) 714	(0) 27	(19) 382	(4) 32	(9) 152	(10) 96	(6) 125	(2) 16	(147) 4,672
9 文 学	(2,173) 71,978	(778) 26,479	(41) 921	(13) 255	(275) 2,342	(318) 4,511	(467) 7,368	(166) 2,965	(0) 3	(4,231) 116,822
C 紙芝居		(94) 1,620				(2) 184		(3) 202		(99) 2,006
E 絵 本		(857) 28,468				(335) 5,264		(273) 3,390		(1,465) 37,122
その他	(5) 802									(5) 802
計	(5,866) 196,999	(2,566) 76,281	(456) 9,121	(193) 5,357	(579) 4,234	(1,123) 13,077	(778) 11,368	(778) 9,505	(16) 162	(12,355) 326,104

(H24. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資 料	
C T (カセットテープ)	(0) 37
V T (ビデオテープ)	(0) 1,616
C D	(119) 1,757
L D	(0) 79
D V D	(112) 758
計	(231) 4,247

()内は本年度受入数

平成23年度のあゆみ

目 次

教育委員会の主な施策と実績	80
1 平成23年度決算額	80
2 主な施設の建設及び環境整備事業	83
社会教育課の主な施策と実績	84
1 青少年を対象とした事業	84
2 家庭を対象とした事業	84
3 女性を対象とした事業	84
4 高齢者を対象とした事業	85
5 成人を対象とした事業	85
6 新規事業及び強化事業	85
7 学校体育施設開放の利用状況	87
8 公民館事業報告	88
新居浜公民館	88
口屋跡記念公民館	90
地域交流センター	92
金栄公民館	94
高津公民館	96
浮島公民館	98
惣開公民館	100
若宮公民館	102
垣生公民館	104
神郷公民館	106
多喜浜公民館	108
大島公民館	110
泉川公民館	112
中萩公民館	114
船木公民館	116
大生院公民館	118
角野公民館	120
別子山公民館	122
青少年センターの主な施策と実績	124
1 運営協議会	124
2 街頭補導	124
3 相談活動	124
4 関係機関・団体との連絡連携	125
5 青少年善行表彰	125
6 青少年健全育成の活動状況	125

生涯学習センターの主な施策と実績	126
1 生涯学習センター事業報告	126
高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績	127
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	127
学校教育課の主な施策と実績	128
1 教職員研修の推進	129
2 教育研究所の歩み	130
3 適応指導教室(あすなろ教室)の歩み	131
4 教育における国際化への対応	131
5 中学生による国際交流事業	132
6 奨学金等	134
7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	136
8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	137
9 就学援助制度	137
10 幼稚園就園奨励事業	138
11 私学助成	138
12 学校保健	138
13 学校体育活動の推進	140
14 人権・同和教育実践の状況	141
発達支援課の主な施策と実績	142
1 学校特別支援教育支援員の配置	142
2 就学指導委員会の開催状況	142
3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助	142
4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況	143
5 総合相談の実施状況	143
6 巡回相談の実施状況	143
7 早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況	144
8 講演会等の開催状況	144
9 ソーシャルスキル支援事業	145
10 聴覚障がい児相談事業	146
11 特別支援教育就学奨励費	146
学校給食課の主な施策と実績	147
1 学校給食の意義	147
2 学校給食の運営等	147
3 学校給食の充実等	147
4 主な主催行事	147
5 給食の状況	147

スポーツ文化課の主な施策と実績	148
1 市民体育・スポーツの振興	148
2 市民体育振興事業	148
3 競技力向上事業	148
4 講習会・研修会事業	148
5 野外活動施設整備と運営	149
6 芸術文化活動	149
7 文化財の保存活用	149
8 体育文化施設の充実	149
9 総合文化施設建設計画	149
10 総合体育施設建設計画	149
11 総合型地域スポーツクラブ設立	149
12 (財)新居浜市文化体育振興事業団	150
13 銅山の里自然の家利用状況	150
14 体育施設・文化施設年度別利用状況	151
15 平成23年度体育施設等月別利用状況	152
16 平成23年度月別利用状況(市民文化センター)	154
郷土美術館の主な施策と実績	156
1 展示内容と開設教室	156
2 文化教室	157
広瀬歴史記念館の主な施策と実績	158
1 展示内容等	158
2 資料の収集状況	158
3 平成23年度事業実績	158
4 平成23年度月別観覧者内訳	158
図書館の主な施策と実績	159
1 図書館の利用状況	159
2 主な事業	161

教育委員会の主な施策と実績

1 平成23年度決算額

(1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,365	6,655	721,288
		委員会費	290		
	事務局費	人件費	403,066	407,280	
		事務局運営費	4,214		
	諸費	指導費	1,811	307,353	
		研究所費	1,994		
		教育振興補助金等	318		
		奨学金	159		
		教育施設防火等管理費	2,163		
		特別支援教育運営費	892		
		文化施設管理運営費	126,332		
		文化施設環境整備事業	19,413		
		学校音楽教育振興費	16		
		パソコン管理費	5,847		
		中学生海外派遣費	6,078		
		交通災害遺児修学援助費	28		
		事務用パソコン整備費	3,694		
		公共施設ごみ収集費	9,559		
		いじめ・不登校問題等対策費	10,651		
		教職員住宅管理運営費	281		
		生きた英語教育推進費	20,706		
		別子ハイツ自然学習館管理費	6,441		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	3,604		
	発達支援教育充実費	18,522			
	省エネルギー対策費	400			
	市民文化センター改修事業	58,289			
発達支援センター整備事業(繰越分)	9,788				
小学校費	学校管理費	人件費	3,308	409,111	645,316
		小学校管理運営費	274,913		
		小学校保健費	35,286		
		小学校体育費	1,091		
		小学校施設環境整備事業	94,513		
	教育振興費	小学校就学援助費	32,534	136,467	
		小学校理科教材備品購入費	1,710		
		小学校教育研究県指定校費	537		
		小学校指導図書改訂費	11,325		
		小学校教育充実費	23,100		
		小学校教育用コンピュータ整備費	10,563		
		小学校特別支援教育充実費	48,994		
		小学校夢広がる学校づくり推進事業費	3,408		
		いじめ・暴力から身を守る学習事業費	990		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	1,960		
	小学校特別支援教育就学援助費	1,346			
学校建設費	小学校耐震補強対策事業	99,738	99,738		

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計		
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	151,429	214,519	492,875		
		中学校保健費	22,878				
		中学校体育費	10,603				
		中学校施設環境整備事業	29,609				
	教育振興費	中学校就学援助費	30,983	73,892			
		中学校理科教材備品購入費	2,280				
		中学校教育研究県指定校費	300				
		中学校教育充実費	18,350				
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	2,520				
		中学校教育用コンピュータ整備費	7,917				
		中学校特別支援教育充実費	9,922				
		運動部活動競技力向上事業費	961				
		要医療行為児童看護支援費	0				
		中学校特別支援教育就学援助費	659				
学校建設費	中学校耐震補強対策事業	201,817	204,464				
	中学校耐震補強対策事業(繰越分)	2,647					
幼稚園費	幼稚園費	人件費	45,719	92,760	92,760		
		王子幼稚園管理運営費	2,397				
		神郷幼稚園管理運営費	2,035				
		幼稚園保健費	698				
		就園奨励補助費	30,116				
		私立幼稚園私学助成費	4,678				
		幼稚園県研究指定費	300				
		幼稚園特別支援教育充実費	5,498				
		幼稚園施設環境整備費	1,319				
		社会教育費	社会教育総務費			人件費	96,269
社会教育振興費	2,503						
文化教育費	3,180						
生涯学習まちづくり推進費	30						
文化振興基金積立金	50						
文化財保護費	2,609						
高齢者生きがい創造学園充実費	10,122						
高齢者生きがい創造学園管理運営費	11,052						
生涯学習センター管理運営費	4,242						
生涯学習センター充実費	9,778						
社会教育充実費	3,100						
芸術文化振興費	2,352						
生涯学習センター施設環境整備事業費	597						
こども夢未来基金積立金	4						
緊急雇用埋蔵文化財出土遺物整理事業費	6,096						
新しい公共支援事業費	0						
地域支え合い体制づくり事業費	10,642						
公民館費	公民館管理運営費			99,315	160,949		
	公民館活動費			1,476			
	公民館推進費			367			
	公民館施設環境整備事業		12,899				
	地域主導型公民館推進費		46,892				

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
	図書館費	図書館管理運営費	50,850	83,913	
		図書館充実費	22,666		
		図書館整備事業	809		
		図書館図書整備基金積立金	15		
		ブックスタート事業費	1,750		
		緊急雇用学校図書館支援推進費	7,823		
	郷土美術館費	郷土美術館管理運営費	10,609	18,567	
		郷土美術館充実費	7,958		
	青少年教育費	青少年育成強化費	1,933	1,933	
	青少年センター費	青少年センター管理運営費	2,872	3,145	
		補導活動充実費	273		
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	2,616	71,365	
		広瀬歴史記念館管理運営費	31,233		
		広瀬歴史記念館(旧広瀬邸)整備事業	37,516		
	保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	5,661	
市民体育祭費			4,017		
学校開放費			6,704		
スポーツ振興審議会費			53		
市民体育充実強化費			4,895		
体育施設建設基金積立金			290		
青少年育成スポーツ活動費			443		
国民体育大会振興費			1,607		
国民体育大会開催対策費			115		
保健体育施設管理費		夜間照明施設整備事業	0	0	
体育施設費		野外活動施設整備費	1,221	262,510	
		体育施設管理運営費	253,823		
		体育施設環境整備事業	7,466		
学校給食費		人件費	232,206	497,682	
		給食運営費	148,783		
		高津共同調理場管理運営費	2,343		
		学校給食センター管理運営費	96,515		
	給食運営改善事業	17,835			
教育費合計				3,238,714	

(2) 民生費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	78,352	78,352	78,352

(3) 災害復旧費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
文教施設災害復旧費	社会教育施設災害復旧費	保健体育施設災害復旧費	6,059	6,059	6,059

2 主な施設の建設及び環境整備事業

平成23年度に実施した主な事業は、次のとおり。

【文化センター楽屋改修及び新築工事】

内 容 大ホール既設楽屋内装改修
楽屋新築
来場者用トイレ改修（洋式化）
給排水衛生設備工事
電気設備工事

事業費 58,289千円

完 成 平成24年3月



社会教育課の主な施策と実績

住民が主体的に取り組む地域活動、公民館活動の展開を図るために、平成20年4月から「地域主導型公民館」へと移行を図っている。また、社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持つ公民館であるが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることに繋がるものとの視点から、それら地域活動を支える人材の発掘及び育成を図るべく「公民館活動リーダー(志縁人)養成塾」を開設した。ここで養成された地域活動や公民館活動に対して高い志を持ち、社会教育やまちづくりに関する知識・技術を持った人材を公民館活動に積極的に登用することによって、地域との連携を促進し、自分たちのことは自分たちで行う共助への意識転換を図り、公民館を自立した人づくりの拠点とする動きが見られた。

また、「放課後子どもプラン」が引き続き実施されるとともに、「こども夢未来基金」を活用した事業も実施され、子どもたちに様々な体験の機会を提供した。

さらに、学校を地域で支える「学校支援地域本部事業」に取り組み、これら事業を通じ、学校と地域の連携体制を整備していくなかで、教員が子どもと向き合う時間の拡充が図られたとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場として、新たな地域づくりや住民のネットワークづくりが推進される契機となった。

1 青少年を対象とした事業

(1) 子どもの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室推進事業に取り組んだ。

金子、金栄、高津、多喜浜、泉川、大生院、笑顔がいっぱい、土曜寺子屋 計8教室開設

(2) 公民館生涯学習事業、公民館いきいきプラン推進事業等において、もちつき大会やしめ縄づくり、郷土芸能保存などの地域の伝統行事、サマーキャンプなどの自然体験等、各種体験活動事業に取り組んだ。

(3) 青年協議会、子ども会、愛護班、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年団体の年間の各種行事に対する支援を行った。

(4) 地域全体で子どもの健全な成長、安全・安心を守るため、見守り隊組織の結成及び育成を図った。

(5) 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している概ね10歳未満の児童に対し、授業終了後や長期休暇等に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。

平成23年度延利用者数 計20クラブ 138,768人

(6) とっておきの新居浜ジュニア検定 平成23年8月6日(土)

児童4名受検 新居浜商工会議所との共催

4名が合格し、新居浜こども博士の認定証をもらった

2 家庭を対象とした事業

(1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を公民館生涯学習事業等において開設した。

(2) 公民館生涯学習事業において、家庭教育講座を開設するとともに、愛護班が実施する家庭教育懇談会などを通じて、保護者としての意識向上を図る事業を推進した。

3 女性を対象とした事業

女性として、地域や家庭での役割を考え、講座などを通して学ぶことにより、地域コミュニティの一員として、地域に貢献した。具体的には、女性ならではの講座(料理教室や手芸教室等)をすることにより地域コミュニティの輪を広げていき、健康教室や軽スポーツ、七草がゆ、観月会など、老若男女を問わな

い事業を行うことにより、地域活動への参画を促進していった。また、他団体（PTAや老人会等）と合同の講座を開くことにより、他団体との交流も深めた。講座は、手芸・園芸等といった趣味的な要素を含むものや健康教室・人権同和教室など教養を深める講座や校区の盆踊り教室等、校区に関係しているものや清掃活動等の奉仕作業など多岐にわたるテーマの講座を行うことにより、組織作り、社会活動への参画を促進した。

4 高齢者を対象とした事業

地域で大切にされる高齢者ではなく地域で必要とされる高齢者となるため、地域や家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設した。具体的には、輪投げや花づくり等の趣味を兼ねた体を動かす講座や介護予防教室をすることにより、生きがいや健康面での留意点を見つけた。また、人権・同和教育講座や交通安全教室等の講座によって知識を深めた。さらに、しめ縄づくり教室や校区の歴史教室、凧作り教室や昔のあそび等を通して地域文化の継承や世代間交流を図った。見守り隊や清掃活動等のボランティア活動の推進により、地域で必要とされる高齢者となるよう努めた。

5 成人を対象とした事業

- (1) 現代的課題である「環境問題」、「安全・安心のまちづくり」、「自主防災」、「介護福祉」、「子育て支援対策」等について、出前講座を活用し、公民館で開催される講座等に積極的に取り入れ、「役に立つ公民館」の推進を図った。
- (2) 人権・同和教育関係の講座の実施を各種団体へ提言するとともに、お茶の間人権教育懇談会の開催を積極的に呼びかけ、「差別のないまちづくり」の推進に寄与した。
- (3) 婦人会、愛護班、PTA、青少年団体等の各種社会教育団体との連携を密に行い、「市民と行政の協働のまちづくり」形成を図った。
- (4) 健康の増進、住民相互の親睦のため、市内小・中学校のグラウンド、体育館等の学校体育施設を広く一般に開放した。

6 新規事業及び強化事業

(1) 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域の連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を行うことで、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場を提供し、地域活動及び地域教育力の活性化を目指す事業として、文部科学省から委託を受け、平成20年度から9つの学校支援地域本部が立ち上がり、取り組んでいる。

泉川中学校支援地域本部、惣開小学校支援地域本部、垣生小学校支援地域本部、中萩中学校支援地域本部、船木中学校支援地域本部、角野中学校支援地域本部、北中学校支援地域本部、浮島小学校支援地域本部、多喜浜小学校支援地域本部
主な支援活動：登下校指導、授業補助、部活動・クラブ活動指導、環境整備など

(2) 「ファシリテーション講座」の実施

公民館職員を対象に、地域課題の洗い出し、解決、事業実施等にあたる会議、ミーティングの場で合意形成や相互理解をサポートし、参加者の活性化、協働を促進させる手法・技術・行為の習得を目的として、香川大学教授の清國祐二先生による講義、ワークショップ等を2回実施した。今後のまちづくり推進のために必要なスキルとして、ファシリテーションの手法・技術を修得することによって、これからの新たな地域づくり、組織づくりに公民館職員としての活躍が期待される。

(3) こども夢未来基金事業の実施

子どもたちの豊かな心の成長と夢広がるふるさとづくりに資するため、こども夢未来基金を活用し、以下の3つの事業を実施した。

① 新居浜防災少年団リーダーづくり事業

「震災を知らない子どもたちのリーダー研修」として、平成24年2月18日(土)、小学5年生約40人が、北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)及び人と防災未来センター(神戸市)の二つの防災関連施設を訪問し、被災者の体験談を聞き、施設見学を行った。悲惨な震災の被害、防災事業の大切さ、自分達でできる自主防災などを学んだ。

今後は、各学校における防災学習のリーダーとしての活躍が期待される。

② 四国ものづくり探訪ツアー

自分たちで考え、一つのものを作り上げる喜び、楽しさ、ものづくりを通じての人と人との関係を肌で感じてもらうことを目的に、小学校4年生以上を対象に、東かがわ市の手袋工場等の施設見学を実施した。

日程 平成24年2月18日(土) 参加者数 36名

行先 グローブミュージアム(株)ハシセン手袋工場

③ 新居浜子ども環境キャンプ

別子山地区のフィールドにおいて新居浜市内の子ども達が集い、環境をテーマに集団活動を行う機会を提供することで、新居浜市の歴史のルーツを探り、郷土への誇りを感じるとともに、真の生きる力を身に付けた青少年の育成を図ることを目的に事業を実施した。

日程 平成23年7月29日(金)～31日(日) 参加者数 52人

旧別子登山学習、自然体験学習、新居浜の歴史学習、環境学習

新居浜青年会議所との共催

新居浜南高等学校ユネスコ部生徒5名によるガイド

(4) 「こころのことばコンクール」の実施

新居浜中央ライオンズクラブとの共催事業。夏休み期間中の課題として小中学生を対象に募集した。子どもたちが日頃感じていることを正直に綴ってもらい、大人がその言葉に向き合うことで、子どもの気持ちに少しでも近づくことができればとの思いで実施した。発表式の中では、人形劇の上演も行われた。

応募総数 小学生 317作品 中学生 488作品 合計 805作品

受賞発表式 平成23年11月20日(日) 13:30～15:30

場所 ウイメンズプラザ3階多目的ホール 参加者約200人

7 学校体育施設開放の利用状況

- 開放校 小学校 17校 中学校 10校
- 照明設備使用料（運動場 710円、体育館 200円、武道場 100円）

（単位：人）

区分 年度 学校名	運 動 場			体 育 館 等		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
新 居 浜 小	11,075	9,489	10,104	13,369	12,379	14,717
宮 西 小	11,348	10,006	7,815	7,608	9,958	5,635
金 子 小	5,022	5,708	4,555	10,940	11,896	11,949
金 栄 小	3,219	3,304	3,175	16,614	15,067	16,017
高 津 小	11,861	10,408	6,693	14,920	18,098	16,646
浮 島 小	5,858	5,504	4,746	5,218	5,600	4,754
惣 開 小	5,037	4,629	3,069	8,115	8,017	7,990
若 宮 小	2,997	2,302	2,691	6,900	7,594	8,368
垣 生 小	5,786	4,156	4,552	7,264	5,812	5,462
神 郷 小	13,982	9,480	12,945	14,932	16,982	19,026
多 喜 浜 小	4,722	4,239	3,642	9,960	9,207	9,856
泉 川 小	8,087	9,157	8,185	9,749	8,596	9,224
中 萩 小	14,185	10,973	12,033	30,533	27,138	23,643
船 木 小	12,341	11,496	11,596	18,838	16,344	16,171
大 生 院 小	5,830	7,146	6,691	8,099	9,736	8,308
角 野 小	9,057	10,503	9,925	14,614	14,316	12,951
別 子 小・中	0	0	0	669	542	454
東 中	1,964	1,933	1,642	11,825	11,363	10,997
西 中	1,227	835	724	4,988	6,082	11,059
南 中	1,681	1,383	1,579	7,847	8,993	8,397
北 中	1,794	1,592	1,153	11,583	6,261	8,050
泉 川 中	0	0	0	13,828	12,205	13,484
中 萩 中	2,131	2,456	2,174	8,895	7,789	7,962
船 木 中	1,849	1,266	1,675	6,619	5,270	5,385
大 生 院 中	1,583	1,445	1,369	3,408	3,476	4,181
角 野 中	1,770	887	1,326	11,189	11,870	10,786
川 東 中	2,822	2,512	2,348	9,481	8,588	9,962
計	147,228	132,809	126,407	288,005	279,179	281,434

新居浜公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	校区内女性	H23. 5.17～H24. 1.10	24.5	1	156	157
	高齢者講座	校区内高齢者	H23. 8. 3～H23.12.27	15.0	180	194	374
	餅つき・しめ縄づくり等	校区住民	H23.12.17	7.0	90	90	180
	小学生教室	小・中学生親子	H23. 7.31～H23. 8.25	38.5	115	112	227
	小学生通学合宿	小学生	H23. 7. 6～H23. 7. 9	51.0	81	86	167
	えんぜるっこ	未就園児親子	H23. 4.18～H24. 2.20	37.0	106	344	450
	小・中学生料理教室	小・中学生	H23. 7.30～H24. 1.21	24.0	76	106	182
	新小夜市	校区住民	H23. 7.16	3.0	500	500	1,000
	新居浜校区三世代ウォークラリー	校区住民	H23. 6.4	4.0	35	35	70
	なかよし教室	新小放課後児童クラブ	H23. 8. 4～H23.12.27	45.0	119	151	270
地域自主防災組織の強化	校区住民	H23. 6.13～H23.11.28	14.0	192	155	347	
校区行事	校区文化祭(芸能祭)	校区住民	H23.11. 5～H23.11. 6				2,000
	校区運動会	校区住民	H23. 5.15				800
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 小学生通学合宿



7月6日～9日(3泊4日)の日程で新居浜小学校に通う4年生から6年生の児童を対象に開催した。家庭から離れ公民館で共同生活をしながら通学し自分たちの力で生活体験することで自立し、お互いの立場を理解し助け合う心を育むことを目的とする。また、地域の方々のご協力により、児童と共に学び、遊び、交流が深まり、今後「地域の子どもは地域で育む」機運が高まった。期間中、公民館を利用する団体に「よさこい踊り」を教えてもらい、他に太鼓の話・ソーメン流し・花火大会などのイベントも行った。

(イ) 新居浜校区三世代ウォークラリー



地元企業とタイアップしたウォークラリーを開催した。新居浜公民館から徒歩3.6キロ(1時間半)をかけ住友化学惣開工場まで行き、事務所で説明を受け歴史資料館見学、その後バスで移動し菊本工場を車窓より見学した。普段、入ることの出来ない工場内を見学した中で質問が飛び交い、何を製造しているのか、工場内の災害危険性など、地域と企業の意見交換ができ良い機会であった。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域活性化プロジェクトを立ち上げ、「つづら淵の水」で魅力ある地域づくりを行う
- (イ) 地域自主防災組織の強化
- (ウ) 団塊世代の協力体制づくり

口屋跡記念公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

- 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実
- 2 青少年の健全育成
- 3 社会教育関係団体相互の連携・交流
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の充実

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	小学生・保護者	H23. 6. 8～H24. 3. 1	17.5	15	50	65
	女性講座	女性	H23. 6. 22～H24. 3. 5	27.5	36	256	292
	高齢者講座	高齢者	H23. 6. 7～H24. 3. 12	25.5	115	160	275
	高齢者・女性合同講座	高齢者・女性	H23. 5. 28	2.5	30	40	70
	生活文化講座	小学生・保護者	H23. 8. 29	8	5	14	19
	スポーツ健康教室	校区住民	H23. 12. 27	3	34	44	78
	三世代交流福祉ももちつき大会	校区住民	H24. 1. 28	4	115	142	257
	先進地研修	運営審議会委員及び校区住民	H23. 12. 10	8.5	11	9	20
	北中校区子ども絵画展	宮西小・新居浜小・北中生徒全員	H23. 10. 1～10. 9まで展示期間 H23. 10. 8表彰式	5	118	164	282
宮西校区防災訓練	校区住民	H23. 7. 24	3.5	100	100	200	
校区行事	三世代交流大運動会	校区住民	H23. 5. 15		350	350	900
	文化祭	校区住民	H23. 11. 13		480	515	1,220
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 三世代交流福祉もちつき大会



毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を1月28日に実施した。この事業は、核家族で育つ子どもたちには地域行事への参加を通じて三世代が触れ合える貴重な体験になっている。また、女性部が作る赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問した。毎年心待ちにしてくれているお年寄りとの触れ合いを通じて人とかかわり方の大切さを肌で感じる貴重な体験が出来た。また、もちつきと並行して紙ひこうきを作り、老人会の指導を受け、作品を完成させた充実感、そしてうまく飛んだ時の達成感に笑顔があふれていた。地域が一体となる「三世代交流福祉もちつき大会」は各種団体及び地域住民の連帯感につながり、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。

(イ) 北中校区子ども絵画展



学校・PTA・地域が一体となり、児童・生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心を育成することを目的に、今年度から始めた事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いてもらった作品を公民館に展示して、その後審査、表彰式、指導の時間を設けた。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後大切に継続していきたい事業である。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域一体となった生涯学習の、より一層の充実に取り組む。
- (イ) 各種団体との連携を密にし、地域の活性化を図る。
- (ウ) ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。
- (エ) 各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

地域交流センター（ふれあい金子）

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 活気あふれる地域交流センターへ～

- 1 生きがいのあるふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツ推進
- 3 各種団体との協力体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H23. 6. 6～H24. 2. 6	23.5	217	260	477
	家庭教育講座	小学生及び 小保 生 護 者	H23. 5. 9～H24. 1. 18	14.0	105	430	535
	三世交代	一般	H23. 7. 7～H24. 1. 7	16.0	115	150	265
	文化教養講座	一般	H23. 7. 20～H24. 2. 8	8.0	42	70	112
	乳幼児講座	乳幼児及び 小保 生 護 者	H23. 4. 14～H23. 12. 21	27.0	78	249	327
	防災教室	一般	H23. 11. 18～H24. 2. 19	15.0	49	41	90
	金子フォーラム	一般	H23. 10. 17	3.0	19	21	40
放課後子ども教室推進事業	児童及び一般	H23. 5. 1～H24. 3. 27	96	211	505	716	
校区行事	高齢者軽スポーツ会	高齢者	H23. 5. 20				
	ラブ金子ふるさと夏まつり	地区住民			1,400	1,900	3,300
	校区文化祭	地区住民			800	900	1,700
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 乳幼児講座



核家族化が進む現代においては、子育ての悩みを一人で抱え奮闘している母親世代が少なくない。子育て中の母親が楽しみながら子どもの育て方、しつけ等について学習したり、疲労・ストレス解消・癒しの場として情報交流するなど、幅広い教養が身につけられる場として開設している。

(イ) ラブ金子ふるさと夏まつり



一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむと共に地域手作りの夏まつりを開催している。今回で19回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、ビンゴゲーム・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで浴衣姿の婦人やはっぴ姿の小学生が「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民主体の生涯学習の推進
- (イ) 世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる
- (ウ) 学校関係機関及び各種団体連携と円滑な事業の推進
- (エ) 自主防災組織の充実と意識の向上

金栄公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館を目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進
- 2 地域の絆を深め連携を図る
- 3 安全・安心の校区づくりと見守りボランティアの推進
- 4 自主防災組織の充実と意識の向上

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H23. 5.19～H24. 3. 5	32	172	175	347
	婦人講座	婦人	H23. 5.19～H24. 3. 8	40	0	237	237
	家庭教育講座	小学生を持つ親	H23. 5.19～H24. 3. 5	10	0	91	91
	文化講座	一般	H23.10.20～H24. 2. 6	12	3	54	57
	料理講座	一般	H23. 8. 4～H23.12. 9	6	6	12	18
	環境美化講座	一般	H23. 4. 5～H24. 3. 2	50	0	254	254
	親子の集い	児童・一般	H23. 8. 6～H23. 8. 7	—	36 (子ども117名)	60	213
	ドリームツリー	一般	H23.12.18	—	480 (子ども210名)	810	1,500
	ドッジボール大会	児童・一般	H24. 3. 3	—	3 (子ども51名)	8	62
	安心まちづくり講座	一般	H23. 8.18～H24. 2.24		111	45	163
	芸能発表会	一般	H24. 1.13	2	55	95	150
	地域コミュニティ活性化事業	一般	H23.11.15～H23.11.30	—	10	3	13
	校区盆踊り大会	一般	H23. 8.14		210 (子ども150名)	300	660
	ボランティアスタッフ養成講座	一般	H23.11.24	—	3	5	8
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H23. 6.15～H24. 3.10	49	97 (子ども536名)	181	814	
校区行事	校区運動会	一般	H23. 5.15		230 (子ども150名)	220	600
	校区文化祭	一般	H23.11.13		570 (子ども280名)	750	1,600
その他							

(3) 特色ある事業紹介

平成23年度の事業は、地域が一体となって、青少年健全育成、地域福祉の充実、安全安心の校区づくりを目標に事業を行った。

(ア) 金栄見守り安全ボランティアの会・地域防犯パトロール（安心まちづくり講座）

金栄小学校児童の登下校時を中心に地域のボランティア活動を行っている。また、2か月に1回、校区内を班ごとに分かれてパトロールし、危険箇所や街灯等のチェックも行っている。今年度はリアル熟議も開催した。



防犯パトロール



今後の防災対策についての熟議

(イ) 放課後子ども教室 ～かるがもクラブ～



大久野島で平和学習の様子

平成17年度より、放課後子ども教室を実施している。

卓球・絵手紙・書道・また郷土芸能である「トンカカさん踊り」、みかん狩りなどの野外活動などを行った。また、竹原市忠海公民館との交流活動も継続中である。

これからも、魅力ある教室づくりに取り組み、地域・保護者との連携・協力し活動していきたい。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 放課後子ども教室の充実
- (イ) 見守り隊への支援
- (ウ) 自主防災組織の更なる充実と意識の向上（安全安心のまちづくり）

高津公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 住民が主体的に携わる公民館を目指して～

- 1 住民の自治能力の向上に努める
- 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進
- 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 地域の連携を図る三世代交流とふれあい活動の充実
- 5 人権・同和教育の推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	高齢者講座 (明治大学)	高齢者	H23. 5.26～H24. 3. 1	25	24	38	628
	女性セミナー	女性	H23. 6. 9～H24. 2. 9	20	1	24	202
	スポーツ健康講座	一般	H23. 6. 2～H23. 6. 5	8.5	10	13	95
	健康ウォーキング	一般	H23.10.22	8	12	33	45
	れんげ祭り	一般	H23. 4.16	2	255	295	550
	たかつ納涼夏祭り	一般	H23. 7.17	5	650	650	1,300
	たかつ史跡めぐり	一般	H23.12. 9	3	9	4	13
	文化部発表会	一般	H23.11.27	3	80	120	200
	たかつパソきっず	子ども・一般	H23.12.11	6	90	270	360
	たかつ花あふれる まちづくり	一般	H23. 4. 5～H24. 3.15	20	45	151	196
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H23. 6. 4～H24. 3.17	29	20	22	1,276	
校 区 行 事	三世代交流大運動会	一般	H23. 5.15	7	400	600	1,000
	校区文化祭	一般	H23.11. 6	6	1,098	1,364	2,462
	青少年健全育成講演会	青少年を持つ親	H23.10. 7	2	40	50	90
そ の 他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 青少年健全育成講演会



社会福祉協議会高津支部と共催し、北中学校教諭、井上博先生に「自分づくり、仲間づくり、感謝の気持ち」をテーマに講演会を開催した。校区内の多数の老若男女の皆様の参加のもとサッカー部員も加わり、サッカーを通じて世界的名選手、長友佑都選手との生徒指導と現在の交流等、体を張った人間味あふれる真の教育をDVDを見ながら紹介された。

(イ) 健康ウォーキング



公民館事業の中でも人気行事の一つで、健康づくりを目的に親睦と交流を図っており、今年度は「ギャラリーしろかわと大洲城・大洲の街並みウォーキング」を実施した。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民の学習の要求にこたえるために、常に学習プログラムに改善を加えながら、生涯学習講座に多くの住民が参加できるよう取り組む。
- (イ) 世代交流事業、ふれあい活動を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。
- (ウ) 小・中学校、PTA、愛護班、各種団体と連携して、青少年の健全育成を図る事業を充実させる。

浮島公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 明るく元気な浮島校区の構築 ～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	パソコン初級講座	校区住民	H24. 1.26～H24. 2.24	8	15	1	16
	婦人講座	校区婦人	H23. 6.15～H23.11.25	12	23	60	83
	総合講座	校区住民	H23. 6.10～H24. 2.10	12	115	184	299
	伝統を伝える講座	校区住民	H23.12.16～H24. 1. 7	10	37	9	46
	料理教室	校区住民	H23. 4.22～H24. 2.17	30	161	74	235
	軽スポーツ教室	校区住民	H23. 7.13～H23.11.27	8	63	35	98
	子ども教室	校区児童	H23.10.30～H23.12.20	6	103	101	204
	明るく元気が出る 標語看板作り	校区住民	H23. 5.27～H23. 6.15	6	19	6	25
	校区内美化講座	校区住民	H23. 6.27～H23.11.25	6	43	38	81
	人材の育成講座	校区住民	H24. 3.11	8	10	6	16
双子クラブ	市内在住の双子 及び保護者	H23. 4.11～H24. 2.13	16	70	139	209	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H23.10.30		300	510	810
	小学校合同運動会	浮島小学校・ 校区住民	H23. 9.25		415	265	680
その他	まもるくんパトロール		H23. 4. 1～H24. 3.31		—	—	1,600

(3) 特色ある事業紹介

(ア) あいさつ励行運動



明るく元気が出る標語（標語選考委員会）

浮島公民館では、昭和60年から青少年健全育成、挨拶を通じて明るいまちづくりを推進することを目的に、地域が一体となって「あいさつ運動」を展開している。

小学生が考案した標語を記入した「明るく元気が出る標語看板」を作成・設置し、校区内に掲示している。テーマが変わっても長年親しまれている看板は地域のシンボルである。

児童の標語をきっかけに、あいさつを交わし合い、地域の連帯感が広がっている。

(イ) 門松作り



門松作り

正月の伝統的な飾り付けである門松であるが、最近は飾り付けをする家庭等も減り、見る機会も少なくなっている。門松を竹等の材料採取から制作・設置まで全ての過程を地域住民で実施している。地域住民で実施することで、住民同士の交流や地域の伝統継承につながっている。

校区内施設に設置した門松は、地域住民から好評を得ている。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 住民主体の活動を目指し、公民館活動の担い手となる人の確保に努める。
- (イ) 地域の多様化するニーズを把握し、ニーズに沿った学習情報の提供・講座を進める。
- (ウ) 「安全・安心のまちづくり」に向け、校区内諸団体と連携、活動充実に努める。

惣開公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～どこまでも住民主役の公民館を目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民参画促進
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 惣開協力会を結成し、まちおこしを行う

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育 力向上 プロジェクト 推進事業	高齢者講座	高齢者	H23. 5.27～H24. 1.12	9.0	62 (子ども)	100 (159)	321
	婦人講座	婦人・一般	H23. 5.24～H24. 1. 6	17.0	17 (子ども2)	117	136
	乳幼児学級	乳幼児をもつ親	H23. 6.18～H24. 2.14	5.75	4 (子ども16)	101	121
	生活文化	一般	H23. 5.23～H24. 2.27	17.0	35 (子ども55)	154	244
	三世代交流事業	校区住民	H23. 7.23	6.0	239 (子ども674)	446	1,359
	まちづくり事業	校区住民	H23. 5.21～H24. 3.10	28	68 (子ども134)	84	286
校区行事	校区文化祭	校区住民	H23.10.30	6.0	296 (子ども285)	369	950
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 地域の資源を活かしたまちづくり事業



惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。そうびらき「未来への鉱脈」探検マップを生かしウォークラリーや別子銅山産業遺産めぐりや子ども地域探検を行った。

(イ) 卒業記念もちつき大会 (H 24. 3. 10)



小学校6年生の卒業を記念して、毎年恒例で開催している。

P T Aや社会福祉協議会、婦人会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出をつくるとともに、古き良き日本の伝統文化にふれ、三世代交流が図られた。

また、新居浜市ではじめて「みかんもち」作りに挑戦し、子どもから大人まで好評だった。

婦人部手作りの赤飯に、6年生の手紙が添えられ、校区内の独居高齢者に配られた。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 世代間の交流のある講座の推進

(イ) 魅力があり、だれもが気軽に参加できる講座の開設

(ウ) 地域住民に対する生涯学習への認識と啓発(特に青年層)による新規参加者の増加

若宮公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域の連帯を図り、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す ～

- 1 子どもの居場所づくりと交流
- 2 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
- 3 環境にやさしいまちづくり
- 4 スポーツと健康づくり

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいづくり	校区住民	H23. 5.10～H23. 8. 4	16.5	97	142	239
	安全・安心なまちづくり	校区住民	H23. 5.24～H23.12.15	6.5	157	165	322
	子どもが主役のまちづくり	小学生・保護者	H23. 5.18～H24. 3. 9	36.5	132	256	388
	高齢者のつどい	高齢者	H23. 5.11～H24. 2.14	15	58	338	396
	スポーツと健康	校区住民	H23. 8.27～H23.11.27	17	108	157	265
	地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	H23. 5.25～H24. 2.25	28.5	152	193	345
	趣味の世界(手仕事)	校区住民	H23. 4.20～H23.11. 7	24.5	0	110	110
	趣味の世界(万葉集と俳句)	校区住民	H23. 4.19～H24. 2.21	18.5	25	60	85
	趣味の世界(韓国)	校区住民	H23. 5.18～H23. 9.21	13	1	85	86
	その他	校区住民	H23.12.12～H24. 1.18	5	0	30	30
先進地研修	校区住民	H23.11.26	8.5	10	12	22	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H23.11.13	5.5	420	500	920
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 子どもたちの居場所づくり／宿題教室

子どもの居場所づくりの一環として、放課後、子どもたちに公民館を開放している。特に、夏休みには、新居浜高専の学生を講師として、宿題教室を前半と後半に各5日間ずつ開催した。

「学校の先生とは違った身近な少し年上のお姉さんに教えてもらって、みんなと楽しく参加できた。」と好評だった。近年、共働き家庭が増える傾向にあり、今後も子どもの居場所づくりを重点課題のひとつとして取り組んでいく。



(イ) 「エネルギーと環境」／本川・西条発電所の見学

東日本大震災に起因して、東電福島第一原子力発電所が操業不能に陥り、全国規模で電力不足や節電・省エネ問題が緊急課題となっている。エネルギーに対する関心が高まったため、「エネルギーと環境問題について」と題する講座を5月～7月にかけて3回開催した。また、講座の一環として四国電力(株)のご協力をいただき、本川水力発電所や西条火力発電所を見学させていただき、いろいろ学習した。



(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 平成24年度計画は、前年度実施状況を見直し、継続する。
- (イ) 公民館活動への住民の参画を推進する。
- (ウ) 事業内容の周知の方法を検討し、新規参加者の増加を図る。
- (エ) 家庭・学校・地域の連携を一層深める。

垣生公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館 ～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域教育力 向上プロ ジェク ト推 進事 業	家庭教育講座 (家庭教育コース)	小学生及び その保護者	H23. 6.13～H24. 2.26	13	87	150	237
	婦人講座 (婦人コース)	婦人	H23. 4. 5～H24. 1.11	33	159	517	676
	高齢者講座 (高齢者コース)	高齢者	H23. 6.16～H24. 3. 9	22	45	131	176
	ふるさと文化講座 (文化コース)	小学3～6年生 及び一般	H23. 9.14～H23.12.11	8	58	42	100
	成人講座	成人男女	H23. 8. 7～H23.11.28	22	58	42	100
	パソコン講座	小学5～6年生 及び一般	H23. 8. 1～H23. 8. 4	16	39	25	64
	スポーツ健康教室	校区住民	H23. 6.13～H24. 2. 6	8	124	61	185
	農業体験教室	小学5年生	H23. 6. 7～H23. 9.16	6	83	73	156
	イルミネーション ファンタジー	校区住民	H23.12.23	3	110	140	250
	垣生山遊歩道整備	校区住民	H23. 5.29	2	77	16	93
	ウォーキングマップ	校区住民					
	納涼祭	校区住民	H23. 8.13	2	425	425	850
校区行事	校区芸能祭	校区住民	H23.11. 5	3	35	115	150
	校区文化祭	校区住民	H23.11.13	4	635	1,015	1,650
	校区大運動会	校区住民	H23. 5.15	6	855	745	1,600
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 垣生山遊歩道整備



毎年、自治会を中心に、各種団体の協力を得て、春、秋の2回、遊歩道整備を行っている。

春の展望台は、チューリップ、水仙、桜の花がきれいに咲き誇り、秋には大気が澄んで来島海峡大橋の橋脚も展望できる。

(イ) イルミネーションファンタジー



垣生公民館及び垣生山を年末年始の期間、イルミネーションで装飾している。毎年12月23日にイルミネーション点灯式を行い、カウントダウンイベントや餅つき大会などが行われ、来館者には温かい豚汁を振る舞う。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。
- (イ) より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。
- (ウ) 地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

神郷公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で住みよい地域づくりを目指す～

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 青少年の健全育成 | 5 スポーツの振興と健康づくりの推進 |
| 2 地域の安全と安心の推進 | 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 |
| 3 地域福祉の拡充 | 7 自主防災組織づくりの拡充・強化 |
| 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 | 8 地域の環境美化の推進 |

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
				男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	(家庭教育) 家庭教育講座	児童を持つ親	H23. 7.11～H23.10. 8	4.0	7 (子ども 19)	50 76
	婦人講座	婦人	H23. 4.18～H24. 1.23	36.5	3	163 166
	(高齢者講座) 老人大学	高齢者	H23. 6.15～H23.11.24	24.0	133	113 246
	乳幼児期家庭づくり教室	乳幼児を持つ親	H23. 6.11～H24. 2.15	13.0	173 (子ども 233)	395 801
	三世代交流事業	一般・子ども	H23. 7.31～H23.12.26	5.0	46 (子ども 51)	40 137
	観月会	一般	H23. 9.10	4.5	110	80 190
	子ども体力向上	児童と一般	H23.12.26	1.0	8 (子ども 36)	3 47
	史跡めぐりとウォーキング大会	一般	H23.11. 3	3.0	40 (子ども 2)	40 82
	大風づくり	児童と一般	H23.12.14～H24. 1.15	15.0	42 (子ども 43)	6 91
	先進地研修	一般	H23. 8.23～H24. 3. 5	21.0	58	32 90
	校区夏祭り	一般	H23. 8. 6	4	700 (子ども 400)	700 1,800
校区行事	校区運動会	一般	H23. 5.15	6.5	550 (子ども 150)	400 1,100
	校区文化祭	一般	H23.11.13	6	1,500 (子ども 250)	1,750 3,500
その他						

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 観月会

新居浜の郷土食と言われる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の方々との交流を目的とし実施する。



(イ) 乳幼児期家庭づくり教室

幼児を持つ保護者同士の情報交換及び交流の場の提供、そして、子育て支援を目的とする講座を開催している。講座の中には、伝統行事のおもちつきや七草がゆなどもあり、校区の方々に協力をお願いしている。



家庭で出来る応急処置



伝統行事「七草がゆ」

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
- (イ) 各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。
- (ウ) 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- (エ) 神郷史情をより多くの校区住民の方に知っていただき、保存・伝承していきたい。
- (オ) 神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

多喜浜公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 笑顔にあふれ、元気の出る公民館をめざして～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
- 5 人権・同和教育の推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	一般	H23. 5～H24. 3	47.0			543
	高齢者大学	高齢者	H23. 6～H24. 2	21.0	20	30	738
	三世代交流事業	一般・児童	H23. 7～H24. 2	19.0			290
	塩田文化バンク	一般	H23. 6～H24. 3	37.0	10	10	239
	環境講座	一般	H23. 5～H24. 3	21.5	10	8	191
	まちづくり講座	一般・児童	H23. 8～H24. 3	13.5			80
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H23. 5～H24. 3	17日			430
校区行事	校区運動会	校区住民	H23. 5. 15				880
	校区文化祭	校区住民	H23. 11. 6				1,100
	演芸大会	校区住民	H23. 11. 4				310
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 塩田文化バンク



別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していくという声が地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。「ソルティ多喜浜」を活用した塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。アツケシソウの開花に合わせた塩田ウォークには、子どもたちもたくさん参加して楽しく勉強できた。

(イ) 少年の日を祝う会



校区内で「少年の日」を迎える中学2年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を開催している。中学生、保護者、地域住民とが協力して、紅白のお餅をついたり、和太鼓演奏を体験鑑賞した。式では、中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 世代間の交流(20代・30代の活性化)と人材の育成
- (イ) 地域住民の自主性を生かせる学習内容の選択

大島公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域に根ざした公民館づくり ～

- 1 生涯学習の拠点として、学習の推進を図る
- 2 各種団体との連携と協調・課題の解決
- 3 潤いと生きがいのあふれるふるさとづくりの推進
- 4 奉仕活動の強化、快適で潤いのあるまちづくりの推進
- 5 人権・同和教育の学習、軽スポーツの普及

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教養講座	一般	H23. 5.19～H24. 3. 7	20	33	45	78
	文化講座	一般	H23. 5. 1～H23.12.17	45	27	58	85
	手芸講座	児童・一般	H23. 5.10～H24. 2.17	25	0 (子ども6)	79	85
	島体験講座	一般	H23. 5.27～H23.11.24	30	25	7	32
	とうど祭り	児童・青少年・一般	H23. 8.10～H24. 1.19	34	193 (子ども119)	167	479
	ふれあい交流	児童・一般	H23. 7.23～H23. 7.24	17	6 (子ども36)	14	56
校区行事	文化祭	児童・青少年・一般	H23.11.13	5	45 (子ども25)	180	250
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 異年齢体験交流サマーキャンプ（1泊2日）



和井田浜「すいか割り」

小学生・中学生・大学生及び社会人が集い、社会性や自立心の醸成など、感性豊かで好奇心旺盛な子ども本来の特性を見直すとともに青少年健全育成を目的として実施した。



海岸道路「清掃奉仕活動」

(イ) とうど祭り（念仏踊り）



伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 少子高齢化に向け、伝統文化の保存と継承の対策
- (イ) 豊かな自然を生かした、大島でしか出来ない交流学习の推進
- (ウ) 各種事業の見直しをし、公民館利用者の拡大を図り地域の活性化を図る

泉川公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 再発見事業
- 2 住民が総参加の事業展開

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	泉川ふるさと塾	一般	平成23年5月～平成24年2月	22時間	200	149	349
	なんでも楽習会	一般	平成23年5月～平成24年2月	18時間	56	66	122
	子どもまつり	子ども・一般	平成23年12月11日	1日	270	230	500
	シニアネット事業	高齢者	平成23年5月～平成24年2月	8時間	40	35	75
	公民館まつり	一般	平成23年11月6日	1日	1,800	1,900	3,700
	泉川感謝祭	一般	平成23年9月17日	半日	100	100	200
	グループ・サークル コミュニケーション事業	公民館利用者	平成23年5月～平成24年2月	6時間	41	44	85
	先進地研修	運営審議委員・一般	平成23年9月30日	1日	12	6	18
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	平成23年4月～平成24年3月	90日	523	508	1,031
校区行事	校区運動会		平成23年5月15日	1日	1,100	1,100	2,200
	とうどさん		平成24年1月8日	1日	150	100	250
	星原市		平成23年8月21日	1日	150	150	300
その他							

(3) 特色ある事業紹介

1) 子どもの育ちに関する事業

ア 子どもまつり

子どもの活躍する場を設けることによって、まちづくりの中心に子どもを位置づけ、「子どもは地域の宝」であることを地域に知らしめる事業として「子どもまつり」を実施。小学校・中学校の有志による実行委員会を立ち上げ、企画・運営し、子どもたちの出来ないところは、まちづくり協議会でフォローするなど地域全体で取り組んだ。「みんなでつごう ハッピーサンディ」をスローガンに、特設ステージでのオープンセレモニーをはじめとして各種体験教室などの多くのコーナーを設け、子どもから高齢者まで参加し、地域の大人とのコミュニケーションの場づくりとしても意義のあるものになった。実施後には次年度の事業発展に向けてのアンケート調査を小中全児童・生徒を対象に行った。

(実施日は平成23年12月11日)



イ わくわく合宿

家庭から離れ、泉川公民館で共同生活しながら通学し、自分たちの力で生活体験することでお互いの立場を理解し、助け合う心を育むことと、また、生活の不便さを身をもって体験し、家庭の有難みなど感謝の気持ちを醸成することなどを目的として実施する。

(実施日は平成23年9月27日～30日)



2) 公民館まつり

これまでの文化祭を検証し、住民総参加の「公民館まつり」として実施する。特設ステージを野外に設け、オープニングセレモニー、公民館利用サークル・団体の発表、参加体験型のコーナーを設けるなど今までにないこれまでの文化祭と違った取り組みを行う。小中学生、諸団体からの作品展示は従来どおり行い、日本古伝統文化であるお手玉、けん玉の演技披露など参加者による体験も盛り込んだ。反響があったのはオープニングセレモニーと子育てサークルの幼児たちによる演技などが好評を得た。

(実施日は平成23年11月6日)



(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) まちづくり理念の浸透と醸成
- (イ) 先進地研修後の検証

中萩公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す ～

「目指せ!! 住み良い町・住みたい町・行ってみたい町 日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 智慧(知恵)と慈悲の循環サイクルの構築

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
					男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性セミナー	女性	H23. 5.11～H24. 3.14	37	17	435	610	
	高齢者セミナー	高齢者	H23. 6. 6～H24. 2. 6	21	332	48	1,060	
	文化講座	校区住民	H23. 4. 8～H24. 3. 8	47	74	241	315	
	スポーツ健康教室	校区住民	H23. 7.29～H23. 8.24	6	70	31	115	
	ふれあいセミナー	校区住民	H23. 4. 9～H24. 3.24	58	550	479	1,694	
	チャレンジ事業	校区住民	H23. 6.16～H24. 2.19	23	59	59	914	
	活かす	歴史探究活動	校区住民	H24. 2.19	6	8	34	42
		萩っ子生き生き活動	校区住民	H23.12. 3	5	28	30	220
		中萩住民ふれあい事業	校区住民	H23. 5.15～H23.11.20	13	2,900	2,700	6,800
		環境と健康づくり事業	校区住民	H24. 1.21～H24. 3.10	6	30	107	137
創る	十河信二を知り学び 顕彰する活動	校区住民	H24. 1.23	3	120	90	210	
校区行事								
その他								

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 萩っ子生き生き活動

この萩っ子生き生き活動は、子どもたちの活動・活躍ができる事業を展開し、地域の大人とのコミュニケーションを図る中で、子どもたちの健全な育成を図ることを目的として実施している。

ペットボトルのキャップを使った交通標語看板を作成し、公民館前に掲示した。



(イ) チャレンジ事業



地域で問題意識の高い環境問題(特に水質浄化)について、環境浄化微生物えひめA I - 2を製造し取り組んでいる。

地域の方が、流し・洗面所・風呂・排水口・トイレ等に日常的に使用し、その結果も好評で、ホテルの放流を行うなど成果をあげている。

この活動を通して中萩校区が一丸となり取り組み、水質浄化活動の輪を広げている。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。

(イ) 萩っ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。

(ウ) 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。

(エ) 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もが繋がっている公民館にしていくことを目指す。

船木公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全・安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 生涯学習の推進
- 4 人権・同和学習の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数
					男	女	
地域 教育 力 向 上 プ ロ ジ エ ク ト 推 進 事 業	人権講座	校区住民	H23. 8.18～H23.12. 5	5.0	35	47	82
	健康講座	校区住民	H23. 6.27～H23. 8. 5	4.0	15	12	27
	伝統文化講座	校区住民	H23. 7. 6～H24. 2.17	22.0	459	937	1,396
	こども講座	校区住民	H23. 6.12～H24. 1.23	9.0	90	104	194
	趣味講座	校区住民	H23. 5.24～H23. 9.27	7.5	0	41	41
	スポーツ健康教室	校区住民	H23. 6.16～H23. 6.18	6.0	110	57	167
	池田池をわたる 風とマンドリン	校区住民	H23. 7. 9	3.0	325	425	750
	地域づくり講座	校区住民	H23.10.25～H24. 3.20	15.0	145	70	215
校 区 行 事	長寿大運動会	高齢者	H23.10.23		197	303	500
	校区マラソン駅伝大会	小・中学生	H24. 2. 4		138	132	270
	校区夏まつり	校区住民	H23. 8.15	4.5	1,650	1,850	3,500
	校区住民大運動会	校区住民	H23. 5.15		400	460	860
	池田池菖蒲まつり	一般	H23. 6.12	5.0	210	290	500
	校区文化祭	校区住民	H23.11. 6	6.0	1,150	1,350	2,500
	校区防災訓練	校区住民	H23.11.20	3.0	189	67	256
	校区徒歩探訪会	校区住民	H24. 2.19	5.0	85	79	164
校区成人式	成人者等	H24. 1. 3	2.0	57	45	102	
校区とうど祭り	校区住民	H24. 1.15	3.0	74	56	130	

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 池田池をわたる風とマンドリン13



毎年、新居浜マンドリンクラブの協力を得て、開催されている。

船木小学校金管バンド部の演奏で始まり、船木中学校音楽部、船木和太鼓クラブ、大正琴琴衛会の演奏、フラ・マヒナのフラダンス、そして、神野匡崇さんによる魅惑的な奄美シマ唄が披露された。最後に、熱気あふれた新居浜マンドリンクラブの演奏は、多くの観衆の心をとらえ、盛況のうちに終了した。なお、司会は中学生が担当している。

(イ) かぶとっ子見守り隊



子どもたちの通学時の見守りとして、かぶとっ子見守り隊90名が児童の行き来を見守っている。

毎週水曜日、揃いの帽子とベストを着用したかぶとっ子見守り隊が出動する。

(ウ) 船木ふるさと夏まつり



第18回船木ふるさと夏まつりが盛大に開催された。毎年8月15日に船木小学校グラウンドで開催されていて、地域の人やお盆に帰省した人たちで大賑わいとなる。メイン行事ともなっており、約3,000名の人が集まる。

子どもたちによる太鼓台の運行、そして、太鼓台を囲んでの盆踊りは地域の人たちの踊りの輪が広がる。太鼓台の差し上げで一気まつりが盛り上がる。バザーも大勢の人で大繁盛である。

たくさんの人出で華麗で賑やかな夏まつりとなった。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 子どもの参加者が減少している。

(イ) 事業がマンネリ化しているため、新しい事業の展開や内容の再検討が必要である。

大生院公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域住民が集まり、共に進む公民館 ～

- 1 事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成・発掘を図る
- 2 自然という地域資源を活かした特色ある事業の推進
- 3 放課後子ども教室推進事業への取り組み
- 4 自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	希望者一般 児童・保護者	H23. 8. 4～H24. 3.13	9	150	145	295
	くらしのセミナー	希望者一般 児童・保護者	H23. 5.13～H23.11.28	21.5	23	188	211
	育ちのセミナー	希望者一般 児童・保護者	H23. 7.21～H24. 2.12	15	9 (子ども127)	57	193
	郷土の歴史と文化	希望者一般 児童・保護者	H23. 4.19～H24. 1.16	11.5	24 (子ども40)	63	127
	スポーツ健康教室	希望者一般 児童・保護者	H23. 5.15～H23. 6. 5	4	60 (子ども10)	60	130
	通学合宿	希望者一般 児童・保護者	H23.10. 5～H23.10. 8	3泊4日	35 (子ども114)	55	204
	サマーキャンプ	希望者一般 児童・保護者	H23. 8.11～H23. 8.12	1泊2日	6 (子ども60)	6	72
	三世代交流事業	希望者一般 児童・保護者	H23. 8.19～H24. 2. 6	10	77 (子ども200)	110	387
	うずい教室	希望者一般 児童・保護者	H23. 8. 2～H24. 1.21	14.5	14 (子ども209)	46	269
	大野山プロジェクト	希望者一般 児童・保護者	H23. 4.16～H23.12.11	22	355 (子ども461)	315	1,131
	大野山フォーラム	希望者一般 児童・保護者	H24. 1.17	3	15	15	30
	自主防災組織の強化	希望者一般 児童・保護者	H23.10. 8～H23.11.13	12	80 (子ども370)	60	510
放課後子ども教室推進事業	希望者一般 児童・保護者	H23. 4～H24. 3	82	100 (子ども793)	71	993	
みどりの少年団	希望者一般 児童・保護者	H23. 4～H24. 3	22	100 (子ども1,500)	100	1,700	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H23.11. 6	9	400 (子ども200)	400	1,000
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 歩いてゆく大野山ツアー



平成16年の台風被害で銚子の滝の吊り橋が崩落していたが、昨年の夏に違った形で生まれ変わり、このツアーも4回目を迎えることとなった。

名木探訪コースでは目通り5.8mのコガノキに魅了され、銚子の滝コースでは流れ落ちる雄大な滝に感動した歩きであった。歩いた後の手作り昼食、竹細工作り、大野山の自然を堪能し、環境について考えた一日であった。

また、本年度は昼食後ミニコンサートを催し、角野からせつとう節保存会の皆さんが来てくださった。

(イ) 第1回 ふれあい生き生きサロン



独居高齢者40名と放課後児童クラブ「うずいクラブ」の子どもたち40名が参加し、子どもたちが結成したうずいAKBのダンス発表、寸劇、民謡体操などが行われ、楽しい交流の場となった。

昼食は女性の会の皆さんが衛生面にも気をつけて当日の朝早くから手作りしてくれ、愛情たっぷりのお弁当を食べながら自然と会話が弾むひとときであった。

また、少しでも多くの独居高齢者の皆さんに参加していただくために、民生委員が送迎を行った。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 事業後、参加数が増加し、地域住民が公民館に集う元気な公民館に近づきつつある。

(イ) 地域住民が主体性をもって活動できるような場面を企画し、運営に参画できる人を更に増やす。

角野公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 共に学び、話し、喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー (三世代交流)	子ども～高齢者	H23. 5.27～H24. 2.24	18.5	838	890	1,728
	手作りセミナー	一般・女性	H23. 6.21～H24. 1.16	21.5	2	137	139
	いき生き生活セミナー	一般・高齢者	H23. 6.15～H24. 1.18	20	79	125	204
	家庭教育セミナー	一般・児童・生徒・保護者	H23. 8. 3～H23.12. 3	20	52	55	107
	伝統文化プラン	一般	H23. 5.27～H24. 2.24	4	136	130	266
	未来まちづくりプラン	一般	H23. 5.27～H24. 2.24	115	1,286	1,309	2,595
	スポーツ健康教室	一般	H23. 5.27～H24. 2.24	2	18	5	23
校区行事	すみの夏まつり	校区住民	H23. 7.17	5	1,000	1,100	2,100
	文化祭	校区住民	H23.11. 6	8	1,980	2,200	4,180
	芸能祭	校区住民	H23.11.19	8	210	220	430
	とうどおくり	校区住民	H24. 1.15	3	60	60	120
その他	地域清掃	校区住民 一般	H23. 7.17	3	74	54	128

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 別子銅山峰を訪ねて（家庭教育セミナー）



(イ) 住友鉄道跡を訪ねて（家庭教育セミナー）



「身近な産業遺産や史跡を訪ねて、歴史を肌で感じよう！」という企画で、昔住んでいた方や歴史に詳しい方に貴重な話を伺いながら歴史を巡る講座を開催した。

昔の繁栄を肌で感じ、知っていそうで知らない、校区に残る身近で貴重な産業遺産や史跡を後世に語り伝えることを目的として、今後に繋げる事業としている。

(ウ) 環境緑化推進・園芸教室（未来まちづくりプラン）



子どもたちの未来のために、自然の理にかなう生活様式へ変革を求められている。角野公民館では、身近に無理のない方法での節電に目を向け、楽しみながら手軽に出来る「ゴーヤカーテンづくり」の教室を取り入れ、窓辺が緑に覆われ、日差しを遮り、やわらかな日差しに心が癒され、実の収穫も出来る。このような教室に多くの方が訪れ、公民館園芸部が立ち上がった。また、春にはバンジーの育て方や土作りの講座も開催し、環境に配慮したまちづくりを目指していく。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民が中心となって活動できるような魅力のある学習内容を取り入れ、意欲を高める。
- (イ) 各種団体等を中心に地域の連携をより一層深める。
- (ウ) 地域住民全体が、子どもたちや青少年の健全育成に積極的に取り組む。
- (エ) 次世代を担う人材の発掘と育成に努める。

別子山公民館

(1) 平成23年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る
- 5 世代間交流の充実強化

(2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間 (実施年月日)	時間数	学級生数		延べ 参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教室講座	校区住民	H23.12.13～H24. 2.15	6	17	10	27
	ふれあい体験学習	幼児・児童・生徒・PTA	H23. 7.24～H23.11. 5	13	51	44	109
	教養講座	校区住民	H23. 7.14～H23. 8. 5	6	13	15	43
	いきいきまちづくり	校区住民	H23. 8. 9～H23. 9. 4	19.5	119	62	181
	まちづくり支援事業	校区住民	H23. 4.17	3	51	44	95
校区行事	秋季大運動会	校区住民	H23. 9.11	8	75	55	130
	産業文化祭	校区住民	H23.11.13	9	250	250	500
その他							

(3) 特色ある事業紹介

(ア) 魚つかみ大会



毎年度、別子小中学校との共催で実施している。

今年度は、台風の影響による河川の増水のため、個人の養魚場で実施したが、例年は銅山川でアメゴのつかみ捕りを行っている。

(イ) 料理教室



今年度は、地元の食材を活かした料理に挑戦してもらった。

別子山産のそば粉を使った手打ち蕎麦教室や桜の木から取った灰汁で作る手作りこんにゃく教室を行い、初挑戦の参加者は悪戦苦闘しながらも楽しく料理をしていた。どちらも美味しく作ることができて大成功であった。

以前は、各家庭で季節になるとよくされていた料理も、最近ではあまりする人がいなくなってきたようであり、若い人たちに昔ながらの郷土料理を知ってもらう良い機会になっている。

(4) 平成23年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
- (イ) 地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
- (ウ) 地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
- (エ) 地域の連携を一層深める。

青少年センターの主な施策と実績

1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成23年度）

第1回 平成23年5月23日

第2回 平成24年2月13日

2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年集団早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

(1) 実施の状況（平成23年度）

街頭補導回数	従事補導委員延人数	補導した少年延人数
594 回	2,780 人	56 人

(2) 行為別内容（平成23年度）

（単位：人）

区 分	児 童 生 徒	そ の 他	計
飲 酒 喫 煙 怠 学 ・ 怠 業 盛 り 場 徘 徊 夜 遊 び 暴 走 行 為 ゲ ー ム セ ン タ ー 無 灯 火 ・ 重 乗 等 そ の 他	4 1 4 23 1	11 10 2	15 1 4 33 3
計	33	23	56

3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいるが、いじめや非行などが減少しない傾向にある。

この問題解決には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめなどで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っって支援をし、必要な場合は関係諸機関とも連絡し、相談、助言、指導を行っている。

ア 相談の日 毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時（祝日・年末年始の休日を除く）

イ 相談の方法 来所相談・電話相談・招致相談

ウ 平成23年度少年相談の状況

項目	来所相談	電話相談	招致相談	合計
相談件数	0	11	0	11

○相談対象者

学 識	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談件数	1	3	3	4	11

○相談内容

相 談 内 容	ぐ 犯 ・ 不 良 行 為	触 刑 罰 法 令 に 對 して	そ の 他	合 計
相談件数	3	0	8	11

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行集団少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて学校に出向いて表彰を伝達した。

【善行表彰受賞者（平成23年度）】

高校生2名

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7月1日～7月31日の期間を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月1日～11月30日の期間を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、青少年健全育成のための活動を展開している。

ア 青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒・喫煙防止、不健全図書等販売店への協力依頼のためのチラシ配布

イ 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

最優秀(3点)、優秀(5点)、佳作(12点)作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

最優秀作品

○おはようで たのしいいちにち はじまるよ	惣開小1年	山田陸斗
○やめなよと 言える勇気が やさしさだ	泉川中1年	西尾麗奈
○「助けて」と 言えない君を 助けたい	商業高3年	石川未沙輝

優秀作品

○はじまりは え顔のあいさつ 元気よく	大生院小3年	河野未来
○あいさつで 知らない人も いいえがお	惣開小4年	石川聖真
○勇気だし とめよう一言 やめんかい	中萩小6年	八木愛宙
○立ち止まれ 今していること 正しいか	角野中3年	堤智章
○言葉とは 違う表情 気付いてる？	商業高3年	岡林菜優

生涯学習センターの主な施策と実績

生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画(生涯学習推進員・大学運営スタッフ)に努めた。

生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

(ア) 生涯学習大学講座内容

(平成23年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H23. 5.14～H23.11.12	8	16	25	68	595
松山大学公開講座	市民	H23. 5.21～H23.12.14	8	16	40	42	460
新居浜高専市民講座	市民	H23. 5.21～H23.12. 3	7	14	38	16	272
新居浜高専おもしろ実験・ものづくり講座	市民	H23. 7. 9～H23.12.10	5	10	3	3	27
科学博物館講座	市民	H23. 5.11～H23.11. 9	8	16	36	14	295
遍路学事始め	市民	H23. 5.31～H23.10.25	5	10	55	34	361
別子銅山ミステリー	市民	H23. 5.27～H23.10.28	6	12	25	22	218
多喜浜塩田史の魅力を知ろう	市民	H23. 7. 2～H23.11.26	6	12	16	5	88
新居浜の“水”	市民	H23. 5.13～H23.10. 7	5	10	26	7	143
自然探訪	市民	H23. 5.17～H23.11.15	4	8	19	27	141
漢詩人・子規と漱石と	市民	H23. 6. 9～H23.10. 6	6	12	14	11	125
にいほま若者塾	市民	H23. 8. 2～H23. 8.10	4	8	21	22	170
法律楽々講座	市民	H23. 5.10～H23.11. 8	5	10	12	26	143
食が育てる心とからだ	市民	H23. 6. 7～H23.12. 6	6	12	3	35	197
創ってみま専科	市民	H23. 5.20～H23.12. 9	6	12	0	31	169
安全・安楽な介護	市民	H23. 6. 3～H23.12. 2	6	12	6	14	102
身近な国際交流	市民	H23. 6. 4～H23.10.29	5	10	13	19	117
旅行に役立つハンゲル講座	市民	H23. 5.12～H23. 6.30	8	16	1	23	172
懐かしの心の唄講座	市民	H23. 6. 1～H23.11. 2	8	16	21	140	997
ミュージックセラピー(音楽療法)	市民	H23. 5.24～H23.12. 8	8	16	5	42	223
出前講座・こども広場	市民	H23. 7. 6～H23.10.22	5	10	12	16	139
雑談しま専科	市民	H23. 6. 1～H24. 3. 7	10	20	5	26	208
新居浜環境講座	市民	H23. 5.21～H23.12. 3	7	14	14	4	132
チケット受講生	市民				延べ(39)	延べ(75)	114
修業のつどい	市民	H24. 1.21	1	3			651
計			147	295	410	647	6,259

(イ) 講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成23年度 「修業のつどい」講演会	平成24年1月21日(土)	四国ハーモニカ連盟会長 宇佐美 進 「たかがハーモニカ されどハーモニカ」 (文化センター中ホール)	400人

高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね50歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

(ア) 生きがい創造学園講座内容

(平成23年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
1 高齢者社会を賢く生きる	H23. 6. 7～H23.11. 1	6	12	30	56	469
2 心と体の健康管理	H23. 6.14～H23.11. 8	6	9	26	28	283
3 郷土を歩く	H23. 5.19～H23.11.17	6	36	18	27	229
4 男の料理教室	H23. 5.11～H24. 3. 7	8	24	23	0	160
5 趣味の料理教室	H23. 5.13～H24. 3. 9	8	24	5	19	161
6 家庭菜園教室	H23. 5.10～H23.12.13	8	16	28	10	253
7 川柳教室	H23. 5.10～H23.12.13	8	16	12	6	118
8 茶道教室	H23. 5.20～H24. 3. 2	16	32	0	7	100
9 生け花教室	H23. 5.27～H24. 2.24	8	16	0	10	72
10 書道教室	H23. 5.11～H24. 2.22	16	32	7	21	371
11 絵手紙教室	H23. 5.17～H24. 3. 6	16	32	3	27	411
12 写真教室	H23. 5.12～H24. 2. 9	8	16	19	8	160
13 陶芸教室	H23. 5.25～H24. 2.15	8	16	7	13	128
14 コーラス教室	H23. 5. 9～H24. 3.12	16	32	7	24	350
15 山野草栽培教室	H23. 6. 6～H24. 1.16	8	16	10	15	165
16 四季の組み木教室	H23. 5.12～H23.12. 8	8	16	7	8	111
17 ピアノ教室	H23. 5.18～H24. 3. 7	16	32	3	10	199
18 グラウンドゴルフ教室	H23. 5. 9～H23.10.31	10	20	17	12	255
19 ラージボール卓球	H23. 5.16～H23.12.12	10	20	19	16	270
計		190	417	241	317	4,265

(イ) サークル活動等

【サークル活動】

講演終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする54サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延回収 1,375回 男 10,704人 女 21,583人 計 32,287人

【代表者会】

- 目的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。
- 構成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。
- 組織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・図書委員会で構成される。
- 行事 学園祭・グラウンドゴルフ大会・研修会等

学校教育課の主な施策と実績

平成23年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実に努めた。

夢を育む学校づくり

小学校14校が「夢広がる学校づくり推進事業」に取り組み、地域の実情や学校・児童の実態に応じて、各学校の創意工夫を生かし、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進した。

平成23年度夢広がる学校づくり推進事業実施状況

学校名	実施テーマ	学校名	実施テーマ
新居浜小学校	伝えよう、広げよう、元気な新小	垣生小学校	地球大好き！ みんなで楽しくエコアクション！
宮西小学校	人とつながり 未来へはばたく みやにし	神郷小学校	スクールエコ運動を通して、21世紀をたくましく生きていける子どもを育てる
金栄小学校	金栄 いきいき つながり プロジェクト ～ 地域の方々との交流を通して ～	多喜浜小学校	郷土の誇り 多喜浜塩田再発掘
高津小学校	ふるさと発見	泉川小学校	地域とともに育つ泉川っ子 ～ つなげよう石山の教え ～
浮島小学校	大好き！ わたしたちのふるさと『浮島』	船木小学校	児童の心が豊かに育つ環境づくり
惣開小学校	「日本のよさを見直そう」	大生院小学校	伝え合おう つながるために ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
若宮小学校	広げよう とともに 生きる力	角野小学校	チャレンジ・ザ・スポーツ 角野っ子スタジアム

生徒指導

最重要課題として「いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくり」を掲げ、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽してその防止・解決に努めた。不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなる教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

国際・情報化

3名のALTと英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実に努めた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

- (1) 重点目標
豊かな人間性や生きる力の育成
- (2) 最重要課題
いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくり
- (3) 研修の内容
 - ① 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実
 - ア 基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。
 - イ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
 - ウ 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。
 - エ 学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。
 - オ 体験的・問題解決的な学習を重視し、ティームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。
 - カ 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。
 - ② 人権・同和教育の充実
 - ア 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
 - イ 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。
 - ウ 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。
 - エ 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける同和問題学習の推進に努める。
 - オ 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和問題解決の力量を高める。
 - ③ 生徒指導の徹底
 - ア いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。
 - イ 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。
 - ウ 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。
 - エ 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。
 - オ 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。
- (4) 研修の日程と協議内容
 - ア 小・中学校長研修会
 - 4月12日 東予教育事務所 平成23年度基本方針の説明
新居浜市教育委員会 平成23年度基本方針の説明
平成23年度 校長研修会計画
 - 11月21日 「教職員のメンタルヘルス及び健康な職場環境づくりを行うために、校長としてどのように取り組み、指導力を発揮すればよいか」
講師 臨床心理士 大久保雅代 氏
演題 教職員のメンタルヘルス
 - 3月14日 「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」
 - イ 小・中学校教頭研修会
 - 5月31日 「教職員一人一人の危機管理意識を高めるために、教頭としてどのように取り組んでいるか。」
「グランドデザインに基づいた小中学校の連携推進のために、教頭としてどのように取り組んでいるか。」
 - 8月18日 「いじめや不登校を生まない楽しい学校づくりを進める中、小中連携に対する学校運営のために、教頭としてどのように取り組んでいるか。」
 - ウ 小・中学校教務主任研修会
 - 5月10日 「新学習指導要領の完全実施において、確かな学力の向上を図るために、教務主任としてどのように取り組んでいるか。」
 - 8月25日 「新居浜市の最重要課題である「いじめや不登校を生まない楽しい学校づくり」のために、教務主任としてどのように取り組んでいるか。」

- エ 小・中学校生徒指導主事研修会（連絡協議会）
 4月26日「不登校の未然防止について」
 8月22日「不登校児童生徒への理解と対応について」
 2月16日「Q-Uを使ったいじめ・不登校の未然防止について」
- オ 交通安全指導担当者研修会
 4月15日「自校の交通安全指導について」
- カ 人権・同和教育主任研修会
 4月28日 5月23日 7月25日 8月29日 1月19日 2月14日
 平成23年度人権・同和教育の推進について
- ・校区別人権・同和教育懇談会の取組について
 - ・地区別人権・同和教育研究協議会の取組について
 - ・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について
 - ・人権作文の取組について
 - ・共通教材について
 - ・平成23年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
- キ 教科・教科外研修会（新居浜市教育研究所中間発表会と兼ねる。）
 6月27日(火) 教科研修会において授業研究を行った。
 11月24日(木) 教科外研修会において授業研究を行った。
- ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催
 平成23年11月9日(水)
 小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。
- 【研究主題】「差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動を通して、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」
- 小学校 〔会場〕 A群 泉川小学校
 B群 金栄小学校
 C群 角野小学校
 D群 中萩小学校
- 中学校 〔会場〕 A群 大生院・泉川中学校
 B群 西・別子中学校
 C群 東中学校

2 教育研究所の歩み

19期の2年次として、「教科研究」を中心に授業実践を通じた研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、わかる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。教育研究所員については、19期において次の体制のもとに実践研究を行った。

- ① 全小・中学校の研修主任とする。
- ② 原則1年とし再任を妨げない。
- ③ 19期教育研究所の期間は、平成22年4月～25年3月(3年間)とする。

研究成果を、冊子にまとめ、研究成果の共有を図った。

【主な活動】

- 5/16 (月) 第1回 社会科副読本編集委員会
- 5/20 (金) 第1回 教育研究所員会
- 7/26 (火) 第2回 社会科副読本編集委員会
- 8/ 5 (金) 第3回 社会科副読本編集委員会
- 8/23 (火) 第2回 教育研究所員会
- 8/26 (金) 第4回 社会科副読本編集委員会
- 10/24 (月) 第5回 社会科副読本編集委員会
- 11/17 (木) 第6回 社会科副読本編集委員会
- 11/26 (月) 第7回 社会科副読本編集委員会
- 1/24 (火) 第8回 社会科副読本編集委員会
- 2/10 (金) 第3回 教育研究所員会
- 2/20 (月) 第9回 社会科副読本編集委員会

3 適応指導教室(あすなろ教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

〔入級児童・生徒数〕

年 度	人 数 (名)	備 考
平成14年度	11	うち 児童1名
平成15年度	13	うち 児童1名
平成16年度	12	うち 児童1名
平成17年度	23	うち 児童3名
平成18年度	23	うち 児童0名
平成19年度	34	うち 児童4名
平成20年度	16	うち 児童2名
平成21年度	23	うち 児童4名
平成22年度	20	うち 児童5名
平成23年度	19	うち 児童2名

4 教育における国際化への対応

(1) ALT(外国語指導助手)による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「JETプログラム」(語学指導を行う外国青年招致事業)の事業目的に則りALT(外国語指導助手)として、3名を招致した。

ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒に、ALTによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

イ 訪問期間

平成23年4月(1学期初め)～平成24年3月(3学期末)

ウ 訪問(派遣)方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。1校への訪問期間は原則として、1週間を単位とし、市内12中学校を2名が順次指導訪問する。また、市内17小学校を1名が順次指導訪問する。

エ ALTの職務

(ア) 英語教師の授業補助(ティームティーチング)

(イ) 英語担当の教員の研修(現職教育)

(ウ) 英語クラブ等課外活動の指導

(エ) 教材作成の援助

(オ) その他、学校長に指示された職務

オ 成 果

「ALTとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなALTとのティームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

(2) 第22回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味を持たせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとに開催された。

ア 主 催 新居浜市教育委員会 新居浜ライオンズクラブ

イ 日 時 平成23年9月29日(木) 14:00～16:20

ウ 会 場 新居浜市市民文化センター 中ホール

エ 弁 士 12名

オ 題 材 自由(5分以内)

(3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員が市内の全小学校を訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

5 中学生による国際交流事業

(1) 趣 旨

21世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和61年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成19年度からは中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣することになった。

(2) 実施状況

年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
61		中国 (泰安・済南・徳州)	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23～7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11人 中高生 20人
62		東南アジア (シンガポール・バンコク)	東南アジア 友好のかけ橋 '87団	7/23～7/29	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 25人
63		韓国	'88日韓友好団	8/1～8/8	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 30人
元		アメリカ (ロサンゼルス)	太平洋横断 夢の使節 '89団	7/30～8/8	団長(助役) 教師等 6人 中高生 30人
2		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Hello. Australia 希望とふれあい '90	7/26～8/3	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 30人
3		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Friendship with Australians 青春・発見・感動 '91	7/25～8/1	団長(教育委員長) 教師等 8人 中高生 30人
4		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Good day with Aussie '92	7/27～8/3	団長(収入役) 教師等 8人 中高生 30人
5		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	A good will mission to Australia '93	7/29～8/5	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
6		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Jump into the life of Australia '94	7/28～8/4	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
7		オーストラリア (シドニー・メルボルン)	Let's make wonderful friendships in Australia '95	7/26～8/3	団長(助役) 教師等 6人 中高生 25人
8		オーストラリア (シドニー・キャンベラ)	Let's go to Australia to find the same smiles! '96 — 同じ笑顔を探して —	7/29～8/6	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人

年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
9		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Making new friends in the land of the Southrn Cross — 南十字星の下で 友情を誓って —	7/28 ~ 8/5	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
10		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Put our Hearts Together into One — 深いきずなをこの一時で —	7/27 ~ 8/4	団長(市長) 教師等 6人 中高生 25人
11		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	In Australia, Let's Shine Together! 1999 ☆ — みんな輝いて —	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
12		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Spread Your Wings. Let's Go To A New Age — 翔け 未来へ —	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
13		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Building Bridges. Let's Make Borderless Countres. — 国境をこえて… —	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員) 教師等 5人 中高生 25人
14		韓国(ソウル)	韓国訪問団友好新風	8/21 ~ 8/25	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 45人
15			中 止		
16		韓国(ソウル)	「日韓友好輝団'04」 — 輝く自分を見つけて —	8/9 ~ 8/13	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
17		韓国(ソウル)	「日韓栄光親善団'05」 — 全ての隔たりを越えて —	8/8 ~ 8/12	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
18		韓国(ソウル)	「日韓新世代交流団'06」 — 未来へ生かすこの時を —	8/1 ~ 8/6	団長(中学校長会長) 教師等 6人 中高生 41人
19		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Dream Chaser 2007 — 笑顔は世界の共通語 —	10/31 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
20		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Let's Make Friends 2008 — 国境を越えた仲間づくり —	10/28 ~ 11/7	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
21			中 止		
22		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendship Link 2010 — 世界はひとつ 友情の輪 —	10/30 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 19人
23		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Imagine What We Can Do Together — みんな友達 —	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 教師等 2人 中学生 19人

6 奨学金等

(1) 新居浜市入学準備金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

高等学校又は高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

ア 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者

イ 高等学校又は高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350万円

【貸付け金額】

50,000円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して5月据え置き31月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者(人)	貸 付 額	年 度	貸付者(人)	貸 付 額
14	1	50,000	19	0	0
15	0	0	20	1	50,000
16	0	0	21	1	50,000
17	0	0	22	2	100,000
18	0	0	23	1	50,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校(専門課程)に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア 学業が優秀で性行の善良な者

イ 身体の健康な者

ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

ア 高等学校の生徒 …………… 卒業まで毎月8,000円

イ 高等専門学校の学生 …………… 1年から3年まで毎月10,000円
4年から5年まで毎月18,000円

ウ 大学(短期大学を含む。)の学生

又は専修学校(専門課程)の生徒 …… 毎月26,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年度	高等学校		高等専門学校		大学		計	
	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額
14	3	288,000	0	0	26	7,956,000	29	8,244,000
15	3	288,000	1	120,000	29	8,736,000	33	9,144,000
16	3	288,000	0	0	24	7,488,000	27	7,776,000
17	1	96,000	0	0	25	7,800,000	26	7,896,000
18	1	96,000	0	0	20	6,240,000	21	6,336,000
19	2	192,000	0	0	17	5,304,000	19	5,496,000
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学(修業年限4年以上)へ入学した者で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

ア 学業が優秀で性行が善良な者

イ 身体の健康な者

ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000万円

【貸付け・給付金額】

卒業まで毎月32,000円(うち16,000円は貸付金、16,000円は給付金とする。)

※平成5年度以前決定した者については、毎月20,000円(うち10,000円は貸付金、10,000円は給付金)

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大 学		備 考
		貸付者(人)	貸付額	
14		4	1,536,000	うち給付金 768,000
15		4	1,536,000	うち給付金 768,000
16		3	1,152,000	うち給付金 576,000
17		4	1,536,000	うち給付金 768,000
18		4	1,536,000	うち給付金 768,000
19		4	1,536,000	うち給付金 768,000
20		4	1,536,000	うち給付金 768,000
21		4	1,536,000	うち給付金 768,000
22		4	1,536,000	うち給付金 768,000
23		4	1,536,000	うち給付金 768,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院(修士課程・博士課程)に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者
- イ 留学生は、高等学校卒業で30歳未満の者
- ウ 学資が乏しく修学困難な者
- エ 身体が健康な者
- オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間で限度として毎月30,000円（うち20,000円は貸付金、10,000円は給付金とする。）

【返還方法】

卒業後満1年後から10年以内は無利子で半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分		備 考
	大学院・留学生		
	貸付者(人)	貸付額	
14	4	1,440,000	うち給付金 480,000
15	3	1,080,000	うち給付金 360,000
16	1	360,000	うち給付金 120,000
17	1	360,000	うち給付金 120,000
18	3	1,080,000	うち給付金 360,000
19	1	360,000	うち給付金 120,000
20	0	0	うち給付金 0
21	2	720,000	うち給付金 240,000
22	3	1,080,000	うち給付金 360,000
23	1	360,000	うち給付金 120,000

7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

【設 置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

【基金の額】

現金 1,000万円

【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

- ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業
- イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰
- ウ その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で教育委員会が承認する事業

【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、学校音楽教育振興資金に充てるものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会 平成23年7月16日(土) マリンパーク新居浜

8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

【設置】

故 工藤圓治氏の寄附金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として平成5年度に設置した。

【基金の額】

1,000万円

【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書券又は文具券を支給

【支給状況】

(単位：人)

年度	区分	小学校			中学校			計
		対象者	図書券	文具券	対象者	図書券	文具券	
19		6	6	0	7	6	1	13人 39,000円
20		6	5	1	4	4	0	10人 30,000円
21		3	3	0	7	7	0	10人 30,000円
22		1	1	0	5	4	1	6人 18,000円
23		0	0	0	6	6	0	6人 18,000円

9 就学援助制度

【趣旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品購入費、新入学児童・生徒学用品費等、通学用品購入費

【就学援助の状況】

(単位：円)

年度	区分	小学校		中学校		計	
		対象者	援助金	対象者	援助金	対象者	援助金
14		333	19,477,509	170	14,548,616	503	34,026,125
15		375	22,774,376	189	15,289,085	564	38,063,461
16		422	23,717,398	207	16,507,050	629	40,224,448
17		476	27,028,561	219	17,453,354	695	44,481,915
18		541	30,263,504	236	20,125,180	777	50,388,684
19		528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20		550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21		568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22		549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23		552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794

10 幼稚園就園奨励事業

【目的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分		年度	17	18	19	20	21	22	23
対象園児 (人)	市立		4	3	9	7	5	12	9
	私立		965	916	893	851	852	860	841
	(計)		969	919	902	858	857	872	850
補助金額 (減免額) (千円)	市立		75	48	164	134	98	240	180
	私立		34,483	32,597	31,846	29,479	29,795	30,359	30,117
	(計)		34,558	32,645	32,010	29,613	29,893	30,599	30,297

【平成23年度所得階層別内訳】

(単位：円)

	所得階層区分	補助(減免)単価 (年額)	対象園児	補助金額 (減免額)
市立	市民税所得割非課税世帯 (生活保護世帯を含む。)	20,000	9	180,000
私立	市民税非課税世帯 (生活保護世帯を含む。)	90,000	39	3,315,000
	市民税所得割非課税世帯	70,000	41	2,764,900
	市民税所得割課税額 183,000円以下	32,000	761	24,036,600
	計			30,116,500
合計				30,296,500

11 私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

9園 4,677,840円

12 学校保健

(1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気(生活習慣病)が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

(2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組む。

昭和60年度から市内小・中1校ずつ指定校を置き、学校保健委員会を設立し、学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

(3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へは、原則全員加入している。

体位測定表

(平成23年度)

		人 数	身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	
			平 均	平 均	平 均	
幼 稚 園	4 歳	男	41	102.3	16.4	57.9
		女	37	101.8	15.8	57.3
	5 歳	男	45	110.2	19.5	62.0
		女	44	109.4	18.8	61.7
小 学 生	6 歳	男	538	116.0	21.1	64.6
		女	536	115.2	20.9	64.5
	7 歳	男	597	122.6	24.1	67.7
		女	540	121.5	23.7	67.3
	8 歳	男	560	127.5	26.7	69.9
		女	526	127.2	26.7	69.8
	9 歳	男	604	133.0	30.2	72.3
		女	586	132.9	29.6	72.4
	10 歳	男	598	137.8	33.1	74.4
		女	574	140.0	33.8	75.7
	11 歳	男	581	144.8	37.9	78.6
		女	613	146.7	38.7	79.1
中 学 生	12 歳	男	606	151.3	43.4	80.3
		女	558	151.3	44.1	81.8
	13 歳	男	584	159.0	48.9	84.3
		女	607	154.2	47.0	83.1
	14 歳	男	589	163.8	53.1	87.0
		女	580	155.8	49.6	84.4

歯科検診成績

(平成23年度)

区 分	検 査 人 員	む し 歯		その他歯・口腔 疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼 稚 園	155 人	25 人	63 人	17 人
小 学 校	6,795	2,005	2,631	399
中 学 校	3,451	1,104	895	443
計	10,401	3,134	3,589	859

脊柱側弯症検診

(平成23年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,173 人	23 人
中 学 校	1,133	54
計	2,306	77

- 検査対象は小学校5年生、中学校1年生全員
モアレ写真撮影による（一次検診）

血液検査結果

(平成23年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小 学 校	1,376 人	503 人	86 人
中 学 校	1,282	374	38
計	2,658	877	124

- 検査対象者は小学校4年生、中学校1年生全員
(小学校5・6年生、中学校2年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

13 学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上記録会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、東中学校の女子が通算8度目、角野中学校の男子が通算3度目の全国大会に出場し、東中学校の女子は全国優勝という快挙を成し遂げた。

行事実績

新居浜市小学校体育連盟

小学校教職員ソフトボール大会	5/7	河川敷ソフトボール場	
小学校教職員バレーボール大会	6/18	市民体育館他	400人
小学校体育実技講習会	6/13・8/19・11/18	山根公園屋内プール他	100人
小学校水泳記録会	7/21	宮西小・角野小	400人
小学校陸上記録会	10/20	河川敷陸上競技場	400人
小学校親善球技大会	2/1	各小学校(会場)	600人

新居浜市中学校体育連盟

市長旗争奪中学校選手権大会	4/23・24・29	市営野球場他	1,400人
中学校教職員ソフトボール大会	6/25	河川敷ソフトボール場	200人
中学校総合体育大会	6/7・8・11	市営野球場他	2,300人
中学校新人体育大会	10/4・5	市営野球場他	2,300人
中学校駅伝競走大会	11/3	河川敷陸上競技場周辺	400人

14 人権・同和教育実践の状況

(1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

- ア 期 日 平成23年11月9日 (水)
 イ 会 場 A群 泉川小学校 B群 金栄小学校
 C群 角野小学校 D群 中萩小学校
 ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動をとおして、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	分科会	会 場	教科等	題 材 名
A	低 1年	泉川小学校	道徳	くまさんのなみだ
	中 3年	泉川小学校	道徳	わかり合う心「橋」
	高 6年	泉川小学校	社会	世界に歩み出した日本 「生活や社会の変化」
B	低 1年	金栄小学校	道徳	こころはっぱ
	中 4年	金栄小学校	道徳	勇気を出して
	高 6年	金栄小学校	社会	世界に歩み出した日本
C	低 2年	角野小学校	道徳	おれたものさし
	中 3年	角野小学校	道徳	二つの声
	高 6年	角野小学校	道徳	「解放令」反対一揆（明六一揆）
D	低 2年	中萩小学校	道徳	おれたものさし
	中 4年	中萩小学校	道徳	勇気を出して
	高 6年	中萩小学校	社会	世界に歩み出した日本 「生活や社会の変化」

(2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

- ア 期 日 平成23年11月9日 (水)
 イ 会 場 A群 大生院・泉川中学校
 B群 西・別子中学校
 C群 東中学校
 ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題等について正しい認識を深め、全教育活動をとおして、人権意識を高め、差別をなくそうとする児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	分科会	会 場	教科等	題 材 名
A	1年	大生院中学校	道徳	洪染一揆
	2年	大生院中学校	特別活動	「水平社宣言」に学ぶ
	3年	泉川中学校	道徳	峠
B	1年	西中学校	道徳	洪染一揆
	2年	西中学校	特別活動	大阪人権博物館見学から学んだこと
	3年	西中学校	道徳	峠
C	1年	東中学校	道徳	山の粥
	2年	東中学校	道徳	三月三日の風
	3年	東中学校	道徳	娘からの手紙

発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援の中核的機関として設立した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士等による幼稚園、保育所、小、中学校への巡回相談や発達検査の継続実施、個別の支援計画の作成運用など関連施設や機関とのネットワークの強化を図りながら発達支援の諸事業を展開した。関係諸機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、発達支援システムや今後の新居浜市の地域療育について検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業の運営を開始し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導、療育を行い早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する連続講座、一般市民を対象にした特別支援教育に関する講演会等の開催により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

1 学校特別支援教育支援員の配置

障がいや発達課題のある児童が在籍する小・中学校において、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図った。

種 別	目 的	人数	配 置 学 校
特別支援学級等指導員	特別支援学級等において、学級運営上特別な教育的支援が必要な状況が発生したり、生徒指導上困難な状況が続いたりするなど学級運営に支障がある学級に特別支援学級指導員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、学級の運営を円滑にすることを目的とする。	小学校 (3人)	浮島
生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、市立幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校の指導体制の現状では、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、生活介助員を配置し、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園 (3人)	神郷・王子
		小学校 (34人)	宮西・高津・浮島・神郷・泉川・船木・中萩・大生院
		中学校 (16人)	東・西・泉川・中萩・角野・川東
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校支援員を配置し、児童や教員(担任)を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図ることを目的とする。	小学校 (9人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・惣開・若宮・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

2 就学指導委員会の開催状況

児童等の心身の障がい並びに発達課題の種類及び程度に応じ必要な調査及び検討を行い、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒について適正な就学指導を行った。

開催回数	判断依頼数
5回	166件

3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	6人
---------	----

4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、地域療育の施策や考え方、発達支援システムの流れ、特別支援学校との連携方策、障害者自立支援法及び児童福祉法の一部改正への対応など今後の新居浜市の発達支援の諸課題について検討を進めた。

開催日	協議内容
7月12日	就学指導委員会について、特別支援学校との連携について
2月9日	平成24年度の事業概要について、障害者自立支援法及び児童福祉法の一部改正の概要について

5 総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもの育児や発達、就学について保護者の方々が抱えている不安や疑問について相談にのり、適切な支援へつなげていった。また、必要に応じて、学校や園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実施件数と内訳	相談内容
幼児 実件数 170件 延件数 299件 ・ 1歳児 8件 ・ 2歳児 21件 ・ 3歳児 22件 ・ 4歳児 42件 ・ 5歳児 76件 ・ 6歳児 1件	障がい、発達障がい、子ども理解、就学相談、入園相談、不適応
小学生 実件数 194件 延件数 685件 ・ 1年生 36件 ・ 2年生 38件 ・ 3年生 35件 ・ 4年生 27件 ・ 5年生 33件 ・ 6年生 25件	障がい、発達障がい、不登校 その他（担任不信、いじめ等）
中学生 実件数 75件 延件数 315件 ・ 1年生 34件 ・ 2年生 18件 ・ 3年生 23件	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談 不適応
高校生 実件数 26件 延件数 133件 成人 実件数 20件 延件数 72件	適応相談、進路相談、障がいの理解と支援 人間関係

6 巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、発見後の具体的支援方策の協議、相談を通しての現場の教職員のスキルアップ、保護者や関係機関との情報の共有、信頼関係の構築が図られた。

実施件数と内訳	相談形式とその後の経過（重複あり）
保育所：149件 ・ 5歳児 37件 ・ 4歳児 35件 ・ 3歳児 44件 ・ 2歳児 24件 ・ 0～1歳児 9件	保護者へのサポート 23件 （その後の経過） ・ 定期相談へ 10件 ・ ことばの教室など関係機関へ 8件 ・ 就学先への支援の引継ぎ 17件
幼稚園：62件 ・ 5歳児 14件 ・ 4歳児 43件 ・ 3歳児 5件	保護者へのサポート 17件 （その後の経過） ・ 定期相談へ 8件 ・ 関係機関へ 2件 ・ 就学先への支援の引継ぎ 4件
小学校：163件 ・ 1年生 29件 ・ 2年生 29件 ・ 3年生 39件 ・ 4年生 37件 ・ 5年生 23件 ・ 6年生 6件	保護者へのサポート 1件 （その後の経過） ・ 就学先への支援の引継ぎ 4件
中学校：19件 ・ 1年生 14件 ・ 2年生 4件 ・ 3年生 1件	保護者へのサポート 3件 （その後の経過） ・ 定期相談へ 2件

7 早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況

心身に障がいのある未就学児及び心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育等を行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭における養育上の諸問題についての相談指導を行った。

(1) 事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	火・水・木・金	88人	構音訓練、個別療育、個別SST
育ちの教室	水・木・金	40人	小集団療育、集団SST
どんぐり教室	火(H24.1～・隔週)	7人	個別相談、個別療育支援

(2) 事業実施状況

(延利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ことばの教室	48	83	97	101	84	112	105	73	102	89	115	98
育ちの教室	34	39	81	80	75	89	94	78	66	77	106	72
どんぐり教室										6	8	4

8 講演会等の開催状況

講演会や連続講座の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援のあり方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

(1) ダウン症とともに生きる講演会

- 日時 平成23年6月19日(日) 13時～16時30分
 場所 新居浜市総合福祉センター 第1研修室
 目的 ダウン症に関する地域理解の促進と地域における支援体制の充実
 参加者 80名
 内容 第1部 講演会「トライアスリート 阪野翔生さんの挑戦」
 ・講師 Team SAKANO (阪野翔生さん家族)
 第2部 講演会「ダウン症について知っておきたいこと」
 ・講師 愛媛県子ども療育センター 副所長 森本 武彦

(2) 第1回 特別支援教育研修会

- 日時 平成23年7月2日(土) 9時30分～15時30分
 場所 新居浜市別子銅山記念図書館 ホール
 目的 発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつなげることができるようにする。
 参加者 40名(幼稚園教諭、保育士、関係機関職員)
 内容 講演1「発達障害概論・気づき・アセスメント」
 ・乳幼児を取り巻く社会環境(少子化、核家族化、経済悪化等)と課題
 ・保育カウンセリングの意義と基本姿勢
 ・トラウマを抱えた子どもたちへの支援
 講演2 グループワーク(5～6人)
 ・各園の事例を通して情報の洗い出し、支援について討議
 ・富田先生による指導、助言
 事例1:保護者へのフィードバックの仕方
 事例2:保育士と保護者間の連携の大切さ

- 事例3：微細運動に課題のある幼児への支援
 事例4：関係性がとりにくい保護者のアプローチ
 事例5：行動に落ち着きのない幼児への支援

講師 千葉大学教授 富田 久枝

(3) 第2回 特別支援教育研修会

日時 平成23年8月4日(木) 13時30分～15時45分
 場所 新居浜市市民文化センター 大ホール
 目的 アスペルガー症候群当事者と保護者から学ぶことで、自閉症スペクトラムの理解を深め、特別でない特別支援教育を推進する資質を養う。
 参加者 520名(小中高等学校教職員、幼稚園教諭、保育士、教育福祉関係職員、保護者など)
 内容 第1部 講演会 演題「うわわ手帳～娘のアスペルガー症候群～」
 講師 高橋 尚美(保護者)
 第2部 ギター演奏会 奏者 高橋 紗都

(4) 発達支援スキルアップ連続講座(前期)

日時 平成23年8月24日(水)～25日(木) 10時～15時
 場所 新居浜市別子銅山記念図書館 ホール
 目的 発達障がいの子どもの支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
 内容 1日目「生徒指導提要进行を踏まえた擬態的な支援 その1」
 2日目「生徒指導提要进行を踏まえた擬態的な支援 その2」
 参加者 85名(教職員、保育士、幼稚園教諭、関係機関職員等)
 講師 愛媛大学教育学部准教授 吉松 靖文

(5) 発達支援スキルアップ連続講座(後期)

日時 平成24年1月5日(木)～6日(金) 10時～15時
 場所 新居浜市市民文化センター 4階大会議室
 目的 前期と同じ。
 内容 1日目「乳幼児期からの認知、社会性、言語の発達段階理解と支援方法」
 2日目「発達障がいと愛着障がいの関連を考えた学級経営と強化指導のポイント」
 参加者 165名(教職員、保育士、幼稚園教諭、関係機関職員等)
 講師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

(6) 早期療育通園事業「ひなたぼっこ」学習会

日時	平成23年10月8日(土)	午前	特性理解	12人
	11月5日(土)	午前	物理的構造化	12人
	12月3日(土)	午前	スケジュール	12人
	1月7日(土)	午前	コミュニケーション	14人
	2月4日(土)	午前	自立課題	12人

場所 新居浜市こども発達支援センター
 目的 発達障がい等の特性理解や適切な支援方法を学び、個別支援の実践力の向上を図る。
 参加者 幼稚園教諭、保育士
 講師 心理相談員 平山 真美江

9 ソーシャルスキル支援事業

日時 月1回 日曜日 13時30分～15時30分
 場所 新居浜市総合福祉センター
 目的 主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。

講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座苅田知則研究室 准教授 苅田 知則
 参加者 68名(延)

10 聴覚障がい児相談事業

日 時 年9回 10時～15時
 場 所 新居浜市こども発達支援センター
 目 的 聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心を持って自立した生活ができることを目指す。
 内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育(手話等)に関すること
 保護者への支援及び通所機関への助言と支援
 相談員 愛媛県立松山聾学校教諭 佐伯 秋浩
 相談件数 12名(延)

11 特別支援教育就学奨励費

【目 的】

市町村が特別支援学級に就学する児童または生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

【対 象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品購入費、新入学児童・生徒学用品費等、通学用品購入等

【就学奨励の状況】

年度	区分	小 学 校		中 学 校		計	
		対象者	奨 励 金	対象者	奨 励 金	対象者	奨 励 金
14		36	1,144,827	17	710,075	53	1,854,902
15		42	1,319,556	11	378,775	53	1,698,331
16		36	1,080,939	8	335,512	44	1,416,451
17		37	1,113,729	11	457,135	48	1,570,864
18		40	1,085,946	12	502,556	52	1,588,502
19		38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20		37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21		37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22		50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23		51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464

学校給食課の主な施策と実績

1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験を持ち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

2 学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。

学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の喫食率は、平成23年度90%と前年度に比べ2ポイント向上した。

4 主な主催行事

- (1) 学校給食研修会
平成23年7月29日(金) 於) 女性総合センター
[内容] ・県教育委員会保健体育課「学校における食育推進の観点について」
・新居浜市労働基準監督署安全衛生課「労働災害の防止について」
- (2) 新規給食献立調理実習試食会
平成23年8月8日(月) 於) 泉川公民館
- (3) 調理員部会、栄養士会合同勉強会
平成23年8月26日(金) 於) 学校給食センター
- (4) 衛生管理研究会
平成23年10月4日(火) 於) 別子小学校
[内容] 調理場視察、研究協議
- (5) 学校給食研究大会
平成24年1月31日(火) 於) 金栄小学校
[内容] 公開授業、全体会
- (6) 学校給食会各専門部会研究発表会
平成24年2月14日(火) 於) 学校給食センター

5 給食の状況

(1) 実施状況

(平成23年度)

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
小 学 校	18 校	6,860 人	校	人	大島小学校休校
中 学 校	11	3,202	1	18	ひびき分校未実施
計	29	10,062	1	18	

(ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施)

(2) 一食当たり単価 (完全給食)

(単位：円)

区 分	平成2年～	平成6年～	平成21年9月～
小 学 校	200	220	240
中 学 校	220	260	280

スポーツ文化課の主な施策と実績

1 市民体育・スポーツの振興

- (1) 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「第42回市民体育祭」を成功させることができた。
- (2) 新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。
- (3) 重点目標にもある「生涯スポーツ」の普及振興のため、全市的には、各種目競技大会及び地区においては、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- (4) 少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催により指導者の資質の向上を図り、スポーツ教室の開設により底辺の拡大を図り、スポーツ大会の開催により競技力の向上に努めた。また、愛媛国体に向けて各種目スポーツの競技力の向上を図った。
- (5) 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会等へ選手派遣のために、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すことのできるように努めた。

2 市民体育振興事業

4/3	市民歩け歩け大会	山根市民グラウンド	200名
6/7	クロッケー大会	山根市民グラウンド	57名
7/3	スマイルボーリング・シャフルボード大会	山根総合体育館	126名
9/15~11/27	市民体育祭	各会場	6,712名
12/11	市民綱引き大会	市民体育館	118名

3 競技力向上事業

4/24	第40回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	400名
5/8	第31回全国招待少年剣道大会	市民体育館	2,100名
7/22~24	第24回国領サッカーフェスティバル	市営サッカー場他	250名
7/24~10/8	少年スポーツ大会	各会場	933名
11/3	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	38チーム
3/10~11	第21回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	延400名
年間	各種目競技大会(各種目協会)		

4 講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

5/6、5/17、6/1、6/2、6/9、7/7、7/14、9/6 延8回 延693名

体力づくり指導者講習会

5/18、6/15、6/24、7/8、8/12、11/16 6回 延405名

5 野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

6 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「学校出前コンサート」、「芸術文化出前講座」を行った。

さらに、市民に芸術に触れる機会を提供するためNHK松山放送局と「民謡をたずねて」公開録音を三井住友海上文化財団の助成をうけて、地域住民のためのコンサート「NHK交響楽団トップメンバーによる室内楽名曲コンサート」を実施した。

7 文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化遺産に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり、文化財パトロール等を実施した。

- ・滝の宮遺跡発掘調査
- ・市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助
- ・文化財めぐりの実施 42名 旧山内家下屋敷長屋、土佐山内家宝物資料館、岡豊城跡、土佐国分寺

8 体育文化施設の充実

体育文化施設の充実を図るために武徳殿、河川敷テニスコート、市民文化センター等の改修を行った。また、(財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育文化施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育文化の振興に努めた。

9 総合文化施設建設計画

総合文化施設建設資金の確保

平成24年3月31日現在の文化振興基金積立金額 1,831,397,014円

10 総合体育施設建設計画

体育施設建設資金の確保

平成24年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 691,885,803円

11 総合型地域スポーツクラブ設立

平成20年6月8日に金子地域文化スポーツクラブを設立し、活動を行っている。

また、船木校区においても総合型スポーツクラブ設立に向けて準備している。

12 (財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行なうこと
によって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを
目的に、昭和61年8月1日に設立され、平成18年4月からは各施設の指定管理者となっている。

所在地 繁本町8番65号

T E L 33-2180

組織 理事9人 監事2人 評議員9人

事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民・山根総合・多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、
市民・山根公園テニスコート、東雲市民・山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙
練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合セン
ター

(2) 文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会、外

(3) 体育事業の企画及び実施に関すること

綱引き大会、市民クロッケー大会、市民軽スポーツ大会、小学生バレーボール講習会、

外

13 銅山の里自然の家利用状況

月 \ 年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4	452人	82人	81人	52人	69人
5	694	662	449	708	372
6	272	36	191	153	177
7	607	679	759	464	641
8	739	663	955	1,092	1,240
9	141	97	165	138	299
10	192	114	160	138	217
11	182	46	331	109	62
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	14	18	22	12
合計(延人数)	3,279	2,393	3,109	2,876	3,089

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態 1泊2日

14 体育施設・文化施設年度別利用状況

施設名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
市民体育館		88,952人	87,321人	86,727人
山根総合体育館		55,993	55,734	53,673
多喜浜体育館		16,624	17,657	18,519
東雲市民プール		47,757	56,666	51,515
山根公園屋内プール		27,617	27,121	25,756
別子山市民プール		256	300	276
市営野球場		23,005	24,329	14,290
武徳殿		24,480	27,700	27,030
弓道場		4,810	4,590	4,400
重量挙練習場		7,880	8,800	9,700
文化振興会館		23,462	22,451	22,462
山根市民グラウンド		78,990	92,286	84,255
別子山市民グラウンド		118	153	0
市民テニスコート		41,348	40,915	35,909
山根公園テニスコート		43,628	48,164	57,179
東雲競技場		36,611	42,410	44,232
市営サッカー場		34,710	38,140	34,476
合計		556,241	594,737	570,399

施設名	年度 項目	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
		回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
市民文化センター	大ホール	259	74,956人	291	84,497人	327	100,080人
	中ホール	313	46,286	325	49,247	314	50,018
	本館会議室等	922	33,518	—	—	—	—
	別館会議室等	2,554	67,766	3,524	106,711	3,604	105,300
小計		4,048	222,526	4,140	240,455	4,245	255,398
ふるさと館			1,126		1,296		2,422
合計		4,048	223,652	4,140	241,751	4,245	257,820

15 平成23年度 体育施設等月別利用状況

施設名 月	市民体育館	東雲市民 プ ー ル	市民テニ スコート	山根公園 テニスコート	山根公園 屋内プール	山根市民 グラウンド	山根総合 体 育 館	市営野球場	東雲競技場
4	7,039	0	4,080	4,147	1,568	4,617	4,985	1,320	3,810
5	10,757	0	3,688	4,422	2,072	4,629	5,814	2,695	3,555
6	8,398	5,307	2,591	5,217	2,898	4,132	5,184	1,988	3,678
7	6,319	24,983	3,663	5,252	4,022	5,331	4,741	1,660	3,810
8	6,398	21,225	4,016	4,710	3,945	4,380	3,794	2,039	3,295
9	6,781	0	1,843	4,661	2,259	4,807	3,964	1,432	2,755
10	8,070	0	2,543	5,501	1,813	39,025	5,189	878	4,946
11	7,580	0	2,074	5,055	1,645	3,411	4,303	870	3,030
12	6,617	0	2,707	4,655	1,351	3,615	3,675	80	2,722
1	5,809	0	2,584	4,196	1,362	2,672	3,518	70	4,520
2	6,459	0	2,120	3,851	1,297	2,289	3,822	0	5,359
3	6,500	0	4,000	5,512	1,524	5,347	4,684	1,258	2,752
小 計	86,727	51,515	35,909	57,179	25,756	84,255	53,673	14,290	44,232

(山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ)

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市 営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市 民プール	文 化 振興会館	計
2,700	450	800	69	0	1,609	0	0	4,432	41,626
2,500	400	700	372	0	1,613	0	0	1,092	44,309
2,600	350	750	177	3,420	1,511	0	0	1,575	49,776
230	350	750	641	5,410	1,840	0	57	1,867	70,926
2,000	360	900	1,240	4,320	1,478	0	219	1,285	65,604
2,200	320	900	299	3,670	1,342	0	0	1,757	38,990
2,500	400	800	217	4,310	1,678	0	0	1,336	79,206
2,500	350	800	62	2,960	1,609	0	0	2,254	38,503
2,400	360	900	0	3,522	1,225	0	0	1,958	35,787
2,600	340	800	0	3,850	1,248	0	0	1,685	35,254
2,400	360	800	0	2,754	1,293	0	0	1,532	34,336
2,400	360	800	12	260	2,073	0	0	1,689	39,171
27,030	4,400	9,700	3,089	34,476	18,519	0	276	22,462	573,488

16 平成23年度 月別利用状況（市民文化センター）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和室
4	5,174	0	3,256	1,615	3,540	782	38
	(30)	(0)	(21)	(25)	(128)	(81)	(10)
5	10,575	0	2,691	2,120	3,667	590	116
	(33)	(0)	(19)	(23)	(120)	(55)	(14)
6	7,194	0	5,215	1,905	3,376	670	25
	(21)	(0)	(35)	(24)	(135)	(67)	(6)
7	8,620	0	6,143	1,670	4,007	681	110
	(37)	(0)	(31)	(23)	(145)	(62)	(12)
8	8,530	0	5,095	1,790	3,288	655	85
	(33)	(0)	(33)	(28)	(140)	(63)	(16)
9	2,666	300	3,889	2,195	4,208	695	73
	(21)	(1)	(23)	(30)	(166)	(66)	(12)
10	7,502	0	2,490	1,230	3,260	558	66
	(31)	(0)	(19)	(16)	(127)	(62)	(10)
11	21,515	0	5,201	1,620	4,117	603	75
	(32)	(0)	(32)	(19)	(157)	(66)	(8)
12	7,079	0	4,860	1,030	3,087	595	120
	(24)	(0)	(23)	(14)	(117)	(61)	(12)
1	3,617	300	3,452	1,410	4,869	531	75
	(14)	(1)	(25)	(20)	(158)	(56)	(12)
2	7,122	0	2,250	1,450	9,896	592	55
	(28)	(0)	(23)	(25)	(197)	(68)	(12)
3	9,886	0	5,476	1,605	7,036	638	67
	(21)	(0)	(30)	(23)	(161)	(68)	(6)
累計	99,480	600	50,018	19,640	54,351	7,590	905
	325	2	314	270	1,751	775	130

上段：人数
下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
995	70	176	229	0	85	15,960	15,960
(15)	(4)	(8)	(13)	(0)		335	
1,035	235	276	265	0	392	21,962	37,922
(14)	(8)	(8)	(17)	(0)		311	
1,060	192	373	159	394	152	20,715	58,637
(16)	(8)	(12)	(11)	(23)		358	
1,700	224	316	282	245	270	24,268	82,905
(23)	(9)	(10)	(22)	(21)		395	
1,210	70	276	204	109	306	21,618	104,523
(21)	(5)	(11)	(16)	(28)		394	
1,290	180	316	188	0	157	16,157	120,680
(19)	(7)	(10)	(13)	(0)		368	
1,158	145	276	266	0	213	17,164	137,844
(17)	(7)	(9)	(20)	(0)		318	
976	154	291	374	0	351	35,277	173,121
(14)	(9)	(9)	(16)	(0)		362	
1,220	214	344	301	0	145	18,995	192,116
(16)	(10)	(13)	(16)	(0)		306	
1,085	167	181	260	0	110	16,057	208,173
(16)	(9)	(8)	(18)	(0)		337	
1,048	120	302	188	0	107	23,130	231,303
(17)	(7)	(11)	(17)	(0)		405	
1,050	94	326	205	0	134	26,517	257,820
(16)	(6)	(11)	(14)	(0)		356	
13,827	1,865	3,453	2,921	748	2,422	257,820	257,820
204	89	120	193	72		4,245	

郷土美術館の主な施策と実績

1 展示内容と開設教室

(1) 常設展示

新居浜の地質、出土品、むかしの暮らし、日本のおもちゃ、太鼓台等の展示

(2) 企画展

〈企画展〉

にいほま郷美コレクション2011
～新居浜市ゆかりの芸術家たち～ 7月 2日(土)～ 7月10日(日) 664人

〈特別企画展〉

平山郁夫展 11月26日(土)～ 12月25日(日) 6,603人

〈企画展〉

文化教室成果発表会 3月 1日(木)～ 3月11日(日) 758人

(3) 主催展

第44回春の市民文化祭(美術の部)前期 4月 9日(土)～ 4月14日(木) 1,202人

第44回春の市民文化祭(美術の部)後期 4月16日(土)～ 4月21日(木) 1,440人

第61回新居浜市美術展覧会(秋の市展)前期 10月22日(土)～ 10月27日(木) 1,860人

第61回新居浜市美術展覧会(秋の市展)後期 10月29日(土)～ 11月 3日(木) 1,534人

第31回新居浜こども美術展 2月 4日(土)～ 2月14日(火) 2,784人

(4) 共催展

第10回楽描会展 5月10日(火)～ 5月15日(日) 492人

第20回新居浜南高等学校美術・書道展 7月29日(金)～ 7月31日(日) 252人

別子銅山記憶の継承展 8月10日(水)～ 8月17日(水) 836人

第60回秋季県展新居浜移動展 11月 9日(水)～ 11月20日(日) 5,587人

別子銅山パネル展 1月 6日(金)～ 1月15日(日) 818人

第25回高齢者趣味の作品展 1月18日(水)～ 1月20日(金) 357人

第36回東予地区高等学校 美術・工芸・書道展 1月26日(木)～ 1月29日(日) 490人

(5) 一般展

第32回水墨画白樺会展 5月18日(水)～ 5月22日(日) 757人

第 5 回書楽会合同展 5月25日(水)～ 5月29日(日) 305人

サンシャイン写真展 5月31日(火)～ 6月 5日(日) 649人

第21回方墨会水墨画展 6月 8日(水)～ 6月12日(日) 466人

第53回グループどんぐり絵画展 6月14日(火)～ 6月19日(日) 789人

加藤清忠ふるさと風景展 6月22日(水)～ 6月26日(日) 513人

第65回同美会展 7月13日(水)～ 7月17日(日) 427人

金子みすゞ ～いのちこだます～ 8月 2日(火)～ 8月 7日(日) 706人

尾崎眞吾のみすゞギャラリー

住友化学愛媛社友会作品展 9月 7日(水)～ 9月11日(日) 1,023人

第34回みなづき会写真展 9月14日(水)～ 9月18日(日) 862人

松田一個展 9月28日(水)～ 10月 9日(日) 871人

サンシャイン写真展 2月21日(火)～ 2月26日(日) 610人

第20回書神会新居浜支部書道展 3月15日(木)～ 3月18日(日) 483人

第10回水墨画宣山会展 3月22日(木)～ 3月25日(日) 604人

シルバー会員作品展 3月29日(木)～ 4月 1日(日) 394人

(5) 年度別・月別入館者数

月別 \ 年度別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
4 月	2,106 人	2,396 人	2,840 人	2,719 人	2,663 人	3,381 人
5 月	988	1,857	1,606	1,733	2,237	2,240
6 月	1,969	1,897	2,891	3,042	1,993	2,770
7 月	225	2,128	1,828	2,351	2,346	1,907
8 月	3,347	943	4,284	2,100	5,192	2,562
9 月	2,525	2,553	1,610	1,387	2,262	2,821
10 月	2,930	2,761	3,543	3,517	2,894	3,918
11 月	5,560	6,738	7,784	7,452	7,999	8,127
12 月	1,366	2,827	1,171	2,193	2,066	6,113
1 月	1,795	3,598	3,951	3,780	3,945	2,368
2 月	3,381	5,190	2,968	6,570	1,931	3,858
3 月	1,584	1,300	1,421	1,872	1,911	2,667
計	27,776	34,188	35,897	38,716	37,439	42,732

2 文化教室

書道教室（漢字部門）	4月1日～3月31日	月2回	年24回	講師：越 智 秀 園
書道教室（かな部門）	”	”	”	講師：神 野 俊 山
水墨画教室	”	”	”	講師：西 山 悦 兆
銅アート教室	”	”	”	講師：井 上 文 子
自然写真教室	”	”	”	講師：北 添 伸 夫
自然散歩の集い	5月22日	年1回		講師：田 尾 邦 雄
夏休み親子野外教室	7月31日	年1回		講師：新居浜市小中学校 理科同好会

広瀬歴史記念館の主な施策と実績

1 展示内容等

(1) 展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

(2) 旧広瀬邸(国指定重要文化財)の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷計といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。

2 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

3 平成23年度事業実績

(1) 特別企画展

① 特別企画展 「伊庭貞剛と別子銅山の環境対策」

と き 平成23年4月29日(金)～5月29日(日)

② 記念講演会 「別子銅山の開発と環境対策」

と き 平成23年5月25日(水)

講 師 末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館名誉館長）

参加人数 1,000名

(2) 第5回 台所喫茶店

と き 平成23年11月19日(土)・20日(日)

4 平成23年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数						
		一 般				小 計 ①	中学生以下 ②	人 数 (①+②)
		個 人	個人減額	団 体	免 除			
平成23年 4月	26	461	54	129	316	960	81	1,041
5月	25	409	31	275	600	1,315	40	1,355
6月	26	171	1	31	43	246	39	285
7月	26	214	10	172	6	402	55	457
8月	26	256	8	60	12	336	94	430
9月	24	227	4	99	113	443	29	472
10月	25	339	5	55	35	434	414	848
11月	24	244	7	79	653	983	157	1,140
12月	23	137	9	0	166	312	19	331
平成24年 1月	23	148	6	22	0	176	19	195
2月	26	134	6	94	1	235	26	261
3月	26	153	8	24	0	185	63	248
計	300	2,893	149	1,040	1,945	6,027	1,036	7,063

図書館の主な施策と実績

1 図書館の利用状況

(1) 貸出図書

(23.4.1～24.3.31)

ア 本館

開館日数 297日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	7,029	14,470	27,143	25,427	33,096	55,541	11,138	57,311	4,524	218,329	8,076	92,976	42	32,811	587,913

イ 移動図書館

運行日数 162日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	927	1,322	2,588	847	3,308	3,317	569	8,337	541	23,107	574	14,096	0	262	59,795

ウ 角野分館

開館日数 233日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	411	642	2,414	1,062	3,019	3,460	620	4,298	327	18,696	536	9,418	1	1,755	46,659

エ 合計

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 冊数	8,367	16,434	32,145	27,336	39,423	62,318	12,327	69,946	5,392	260,132	9,186	116,490	43	34,828	694,367

オ AV資料

	館内	館外	計
C T		13	13
V T	1,202	4,802	6,004
C D	0	12,877	12,877
DVD	2,077	11,877	13,954
L D	0		0
計	3,279	29,569	32,848

(2) 登録者数

(24.3.31現在)

区分	児童 (小学生以下)	一般 (中学生以上)	団体	計
登録者	9,838	64,338	238	74,414

(3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100冊以内、貸出期間は4週間。

平成23年度貸出冊数 22,487冊

(4) 心身障害者に対する図書貸出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は1級～3級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数5冊以内、貸出期間は30日間。

(5) 開架図書冊数

(24. 3. 31現在)

館別	区分	一 般	児 童	計
本 館		123,907	38,249	162,156
移 動 図 書 館		3,098	9,450	12,548
角 野 分 館		3,791	9,305	13,096
計		130,796	57,004	187,800

(6) リクエスト

(23. 4. 1～24. 3. 31)

館別	区分	窓 口	館内OPAC	Web OPAC	携帯OPAC	合 計
本 館		9,461	1,732	9,313	115	20,621
角 野 分 館		1,587	62			1,649
移 動 図 書 館		1,157				1,157
合 計		12,205	1,794	9,313	115	23,427

注（OPAC：オンライン蔵書目録）

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(23. 4. 1～24. 3. 31)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
401	145	274	13

2 主な事業

(1) 学校図書館支援推進事業

学校図書館を子どもたちが自主的に利用し、調べ物や読書が活発に行えるよう支援することを目的に、平成20年度から学校図書館支援員4人を市立図書館に配置し、学校図書館に派遣。小学校を中心に継続的な環境整備、読書指導、計画的な学校図書館活用指導、教職員と連携しながら授業や調べ学習における資料や情報の提供に取り組んでいる。平成23年度、学校図書館活性化推進校に指定した船木小・多喜浜小では、重点的に学習支援を実施。

(2) 移動図書館運営事業

平成21年4月より小学校6校へ昼休みに移動図書館「青い鳥号」を乗り入れ開始。それにともない、ステーション停車時間の見直しを行い、6ステーション追加。（うち小学校13校、中学校2校）市内33ステーションを運行。

(3) 地域活性化支援・行政支援

ビジネスや住民活動に関する新刊図書、関係機関からの配布資料等を集めた「地域活性化支援(ビジネス支援)コーナー」を設置。

図書館入り口に行政の事業等をパネル展示し、関連資料の展示や図書リストの配布等により市民に情報提供。

「保健センター検診案内ロビー展」等 計10回

(4) 健康支援

市民の多様なニーズに応えていくために、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。（健康支援図書コーナーを設置）

「尿もれで困っていませんか」 平成23年4月22日(金)

「リハレクしましょう」 平成23年8月19日(金)

「家庭でできる感染予防」 平成23年12月13日(金)

(5) 図書館子ども探検隊・手作りおもちゃ教室&夏休み体験一日図書館員

平成23年7月28日(木)

図書館子ども探検隊・手作りおもちゃ教室 10:00~12:00

書庫等の見学、本が書架に並ぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介

牛乳パックと布を使ったバスケット 講師 松山明子

参加者(小学生1~3年生23名 保護者12名)

夏休み体験一日図書館員 13:30~16:00

分類講座、読み聞かせ体験、カウンター体験、書架整理体験

参加者(小学生4~6年生30名 保護者3名)

(6) 夏の夜のちよつと怖いお話会(夏休みお話会企画)

平成23年8月5日(金) 19:15~20:00 回転木馬

子どもと大人対象の怖いお話、語り等

参加者(子ども83名、大人79名)

(7) 「別子銅山コーナー」の開設と別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」の開講

別子銅山・住友関係資料(貸出可能)約120冊を「別子銅山コーナー」としてロビー正面に開設。また別子銅山に関する本の開設講座「別子銅山を読む」を開講。

第1回「別子開坑二百五十年史話」 平成23年9月17日(土) 参加者(大人59名)

第2回「幽翁」 平成23年11月12日(土) 参加者(大人50名)

第3回「別子銅山目論見書」1部・2部 平成24年2月18日(土) 参加者(大人63名)

- (8) 図書館まつり（えひめ教育月間）
平成23年11月23日（水） 9:00～16:00
日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催
総参加数約 758名
「ブックリサイクル」 9:00～
図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約10,834冊を市民に無償で提供した。
参加者（来場者約 633人）
「図書館見学」 13:00～13:30
図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学
参加者（大人10名）
「篠笛の調べと民話の語り」 13:40～15:30
新居浜市在住・篠笛奏者 阿部一成さんと「松山おはなしの会」の語り手2人で、篠笛と民話の語りのコラボレーション。
参加者（大人 115名）
- (9) 「赤ちゃんとパパ・ママおはなしであそぼ！」
平成24年 3月22日（木） 10:30～11:30
わらべうたで親子でからだあそび、大型絵本の読み聞かせ、パネルシアター、広告紙でつくる紙飛行機と紙鉄砲の制作・あそび。
講師 吉岡泰子・相原美也子（砥部まほうのつえ）
参加者（37組の乳幼児と保護者）
- (10) ブックスタート事業
毎月第1・2火曜日、保健センターの5か月児健康相談（対象1,060名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートバックを手渡す。
1,031名 配布率(97.3%)
- (11) 出前講座
学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「おはなし会」を行い、本やお話に親しんでもらったり、図書館のPRも行った。
職員、協力（ボランティア）回転木馬 計 13回
参加者（子ども 587名、大人 76名）
- (12) おはなし会
本館 毎月第1木曜日（乳幼児0～3歳対象）
毎月第2・4水曜日（幼児対象）
毎月第4土曜日（小学生対象）
角野分館 毎月第1・3水曜日（幼児対象）
紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング等を行った。
協力（ボランティア）回転木馬、民話の里すみの
参加者（子ども 1,122名、大人 703名）

新居浜市の教育

平成24年度版

平成24年7月発行

編集発行 新居浜市教育委員会

〒792-8585

新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL (0897) 65-1300

FAX (0897) 65-1306
